

FMPR 5000
series

B1WY-4521-02

FMPR5000series

取扱説明書

水平漢字プリンタ-15 FMPR5300/5300E

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。

特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ESC/Pは、セイコーエプソン（株）の登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

VCCI適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて



この装置は、国際エネルギースター プログラムの基準に適合しております。

国際エネルギースター プログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。

対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

はじめに

このたびは、漢字プリンタ-15 (FMPR5300/5300E) をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、プリンタが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

「FMプリンタシーケンス リファレンスマニュアル
(シリアルプリンタ編)」(別売)について

「FMプリンタシーケンス リファレンスマニュアル(シリアルプリンタ編)」(マニュアルコード: 80HP-0700-「」)では、プログラムを作成する方のために、本プリンタで使用できるFMモードのコマンドについて詳しく説明しています。

2003年12月

本文中の略語について

Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0は、本文中ではWindows NT4.0と表記しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版をWindows 98、Microsoft® Windows® 95 operating system日本語版をWindows 95と表記しています。両方を同時に示す場合は、Windows 98/95と表記しています。

警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。

! 警告



風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

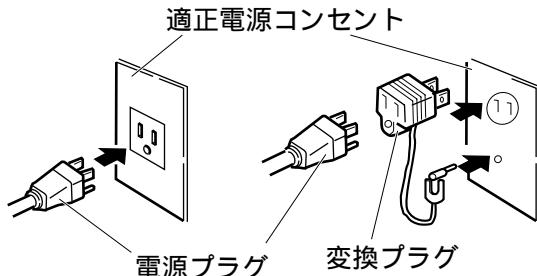
感電・火災の原因となります。



本プリンタに添付されている平行3ピンの電源コードを使用してください。3ピンの電源コンセントが近くにない場合は、添付の変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。



近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。



注意



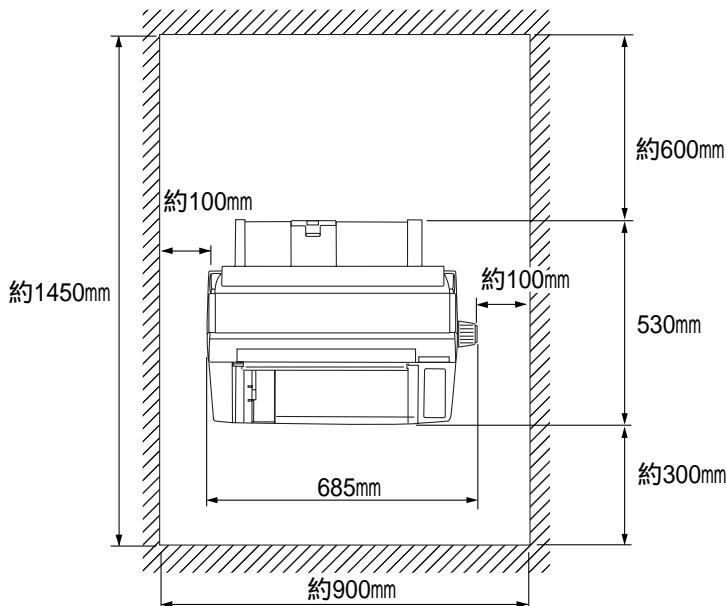
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から100mm以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使い、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な600mm以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。



注意



プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

本プリンタは重量が約30kgありますので、運搬の際は2人以上で作業してください。

プリンタの落下などによりけがの原因となります。

台車などで移動する際には、輸送金具を装着して、衝撃を与えないで運搬してください。

プリンタの故障の原因となります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理はハードウェア修理相談センター（157ページ）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

故障の修理は、ハードウェア修理相談センター（157ページ）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。 内部の点検、修理はハードウェア修理相談センター（157ページ）にご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



警告



電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、ハードウェア修理相談センター（157ページ）に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（157ページ）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（157ページ）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、異常を発見された場合は直ちに電源を切り、ハードウェア修理相談センター（157ページ）にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

⚠ 注意



1ヶ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかりと差し込まれていますか。
- ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありますか。
- ・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- ・電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。
- ・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はハードウェア修理相談センター（157ページ）にご連絡ください。



長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

本書の構成

本書では、本プリンタをお使いになる前の準備、日常の操作のしかた、また、日常の保守のしかたなどについて順を追って説明します。

目 次	内 容
第1章 お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第2章 プリンタドライバのインストール	パソコンにプリンタドライバをインストールする操作手順と設定内容について、OSの種類ごとに説明します。
第3章 プリンタの機能と使いかた	操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタの持つ機能と、その使いかたについて説明します。
第4章 用紙のセット	用紙のセットのしかたを、連続帳票用紙と単票用紙に分けて説明します。
第5章 用紙について	本プリンタで使用できる用紙や、印字領域などについて説明します。
第6章 保守と点検	リボンカセットの交換や、用紙づまりのときの対処のしかたなど、プリンタを使用している上で必要になることがらについて説明します。
第7章 オプション	本プリンタのオプションの取り付け、および取り外しについて説明します。
付 錄	プリンタの仕様、インターフェース仕様、コマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

目 次

はじめに	i
本文中の略語について	i
安全上のご注意	ii
本書の構成	x

第1章 お使いになる前に

主な特長	2
製品の内容	4
使用上のお願い	6
設置場所について	6
電源について	7
使用方法について	7
用紙について	7
各部の名称とはたらき	8
プリンタを設置する	10
輸送用固定材と緩衝材の取り外し	10
リアスタッカの取り付け	12
パソコンとの接続	13
電源コードの接続	14
リボンカセットの取り付け	15
電源の投入と切斷	22
電源を入れる	22
電源を切る	24

第2章 プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのインストール	26
Windows 98/95 のとき	26
Windows NT4.0 のとき	35
代替ドライバとネットワークインストール	39
代替ドライバのインストール	39
ネットワークインストール	40
プリンタドライバの設定	42
Windows 98/95 の設定画面	42
Windows NT4.0 の設定画面	49

用紙サイズと印刷の向き	58
用紙サイズ	58
印刷の向き	60
余白領域	61

第3章 プリンタの機能と使いかた

操作パネルの機能	64
ランプ	65
スイッチ	65
機能設定を変える	68
設定項目の一覧	68
機能の解説	73
機能設定の変えかた	79
調整する	82
調整メニュー	82
調整のしかた	83
現在の設定を印刷する	84
初期値に戻す	84

第4章 用紙のセット

連続帳票用紙をセットする	86
セットのしかた	87
連続帳票用紙の置きかた	91
単票用紙をセットする	93
連続帳票用紙を外さずに単票用紙をセットする	97
用紙厚を調整する	98

第5章 用紙について

連続帳票用紙	102
一般連続帳票用紙	102
はがき用紙	108
タック用紙	111
封筒用紙	114
宅配伝票	117
単票用紙	118
事務用上質紙	118
はがき	123

封筒	126
宅配伝票	128
カットシートフィーダ/トラクタユニットで使用できる用紙	129
カットシートフィーダで使用できる用紙	129
トラクタユニットで使用できる用紙	130
プレプリント用紙を使用するとき	134
取り扱い上のご注意	136

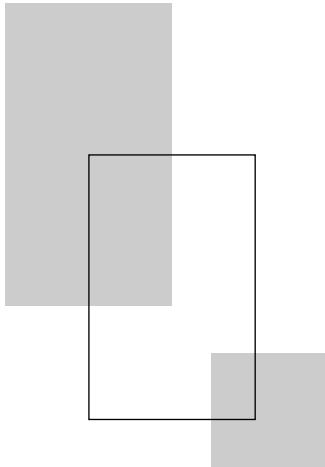
第6章 保守と点検

リボンカセットを交換する	140
つまつた用紙を取り除く	145
連続帳票用紙がつまつたとき	145
単票用紙がつまつたとき	147
プリンタがうまく動かないとき	148
エラーメッセージが表示されている	148
プリンタが動かない	150
印字ができない	150
印字が欠ける、薄い	150
思いどおりに印字ができない	151
うまく用紙送りができない	152
テスト印字をする	153
HEXダンプで印字する	154
清掃のしかた	155
プリンタを輸送するとき	156
アフターサービス	157

第7章 オプション

オプションの種類	160
カットシートフィーダの取り付けと取り外し	161
取り付け	161
取り外し	162
トラクタユニットの取り付けと取り外し	163
取り付け	163
取り外し	166

付 錄	167
プリンタの概略仕様	168
サプライ用品	172
テスト印字サンプル	173
インターフェース仕様	175
初期状態	179
ESC/P モード	179
FM モード (FMPR5300 の場合のみ)	180
コマンド一覧表	181
ESC/P モードコマンド一覧表	181
FM モードコマンド一覧表 (FMPR5300 の場合のみ)	185
キャラクタコード一覧表	190
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	190
FM モードキャラクタコード一覧表 (FMPR5300 の場合のみ)	192
非漢字一覧表	193
JIS⁻⁹⁰第一水準漢字一覧表	200
JIS⁻⁹⁰第二水準漢字一覧表	203
ご注意	206
索 引	209



第1章

お使いになる前に

この章では、プリンタで印字する前に必要なことがらについて説明します。

主な特長	2
製品の内容	4
使用上のお願い	6
設置場所について	6
電源について	7
使用方法について	7
用紙について	7
各部の名称とはたらき	8
プリンタを設置する	10
輸送用固定材と緩衝材の取り外し	10
リアスタッカの取り付け	12
パソコンとの接続	13
電源コードの接続	14
リボンカセットの取り付け	15
電源の投入と切断	22
電源を入れる	22
電源を切る	24



主な特長

多彩な給紙、排紙方法

連続帳票用紙、単票用紙とともに、プリンタの前方からセットすることができます。（連続帳票用紙を後方から給紙するには、トラクタユニット（オプション）が必要です。）

また、単票の排出方向を前後に設定でき、後方にスタックします。

ガイド

オプションのカットシートフィーダとトラクタユニットは、同時に取り付けることができます。

各種の制御コードに対応

FMPR5300/5300E はそれぞれ次の制御コードに対応しています。

FMPR5300 : FM、ESC/P

FMPR5300E : ESC/P

優れた印字品質

- ・ ピン径0.2mmの24ピン印字ヘッドは、日本語の表現に適した見やすく優れた印字品質を実現します。
- ・ 明朝体のフォントを標準装備しています。

印字処理時間の短縮

- ・ 同一行内に漢字とANK文字が混在したときは、自動的に速度を切り替えて高速度で印字します。
- ・ 自動的に正逆方向の最短距離を判別して印字します。
- ・ 印字中に新しいデータを受信するダブルバッファ方式を採用し、印字処理時間の短縮をはかっています。
- ・ ドットの間引き印字（高速印字モード）により更に高速度で印字できます。

さまざまな印字機能

- ・ JIS第一水準および第二水準漢字を印字できます。
- ・ 漢字、ANKの標準文字のほかに拡大文字、縮小文字なども印字できます。
- ・ グラフィック印字が可能です。

優れた操作性

- ・ 用紙の自動吸入機能(オートローディング)で単票用紙を簡単にセットできます。
- ・ 連続帳票用紙をスイッチ操作で後退させることができるので、連続帳票用紙をセットしたまま、単票用紙に印字できます。

パワーセーブ機能

本プリンタは、国際エネルギー評議会(EPA)の基準に適合しており、待機状態が約10分続くと、パワーセーブ機能により、余分な消費電力をカットし、消費電力の低減を図ります。

- ・ パワーセーブ中は、表示パネルに「パワーセーブ」と表示されます。このとき、表示パネルの光量が落ちます。
- ・ パソコンから印刷データが送られるか、操作パネルの何らかのスイッチを押すと、パワーセーブ状態は自動的に解除されます。
- ・ パワーセーブ時15W以下の省エネルギー設計です。

広範囲な用紙をサポート

一般的な単票用紙や連続帳票用紙のほかに、官製はがき、ラベル紙、封筒、複写伝票、宅配伝票等の特殊用紙を使用できます。また、最小長さ70mmの短小用紙まで印字できます。

高い複写能力

通常モードで6枚の複写紙を使用できます。さらに、高複写モードにすることにより最大8枚の複写紙を使用できます。

Windows プリンタドライバの対応

Windows 95、Windows 98、Windows NT4.0 プリンタドライバを提供しています(標準添付)。

複写紙対応のカットシートフィーダ(オプション)

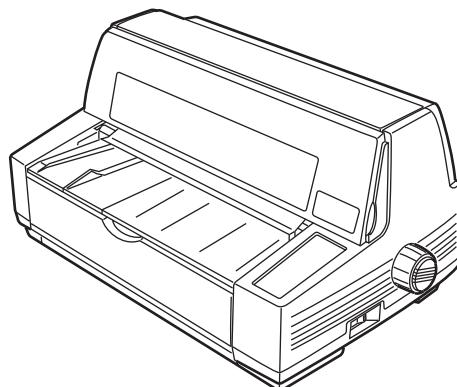
オプションのカットシートフィーダは、装置の前方に搭載して、最大5枚までの複写紙を使用できます。



製品の内容

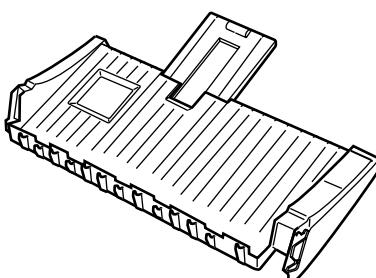
お使いになる前に、以下の物が揃っていることを確認してください。
なお、プリンタが入っていた箱は、プリンタの保管・輸送の際に必要になりますので捨てないでください。

プリンタ本体

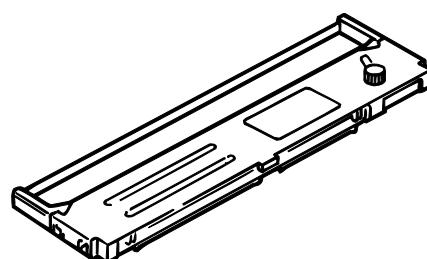


添付品

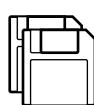
添付品箱



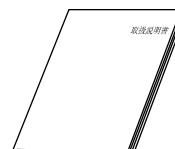
リアスタッカ



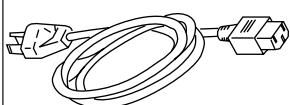
リボンカセット



ドライバディスク（2枚）



取扱説明書



電源コード



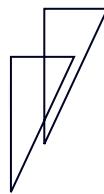
変換プラグ



保証書（梱包箱に貼り付け）

お願い

- ・ 本プリンタにプリンタケーブルは含まれていません。プリンタケーブルは、別途用意してください。なお、不明な点については、販売店、または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口(157ページ)までお問い合わせください。
- ・ 保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- ・ 保証書は大切に保管してください。

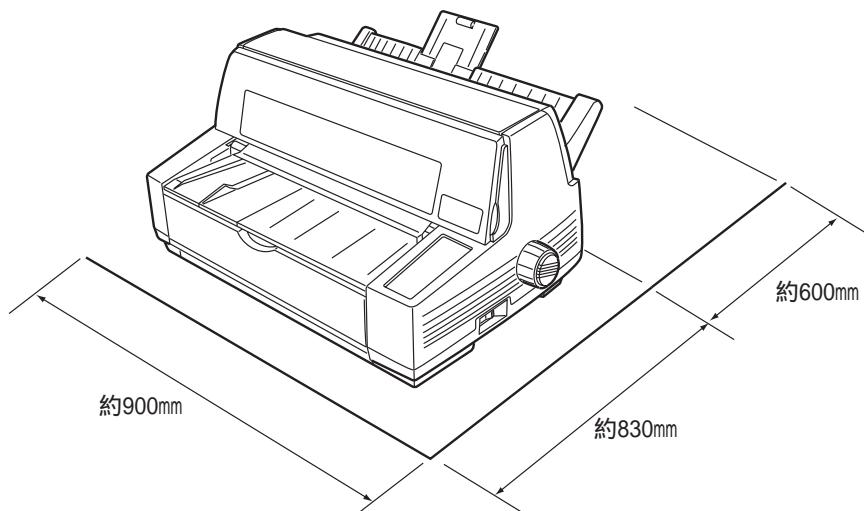


使用上のお願い

このプリンタを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。不明な点については、お買い上げの販売店、または富士通パーソナルパーソナル製品に関するお問合せ窓口(157ページ)にご相談ください。

設置場所について

- ・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。
温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。
 - ・周囲温度：5 ~ 35
 - ・周囲湿度：30% ~ 80%（結露しないこと）
- ・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。
- ・磁石はもちろん、テレビやスピーカなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。
- ・プリンタを設置するときに必要なスペースは下図のとおりです。



十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある設置場所を確保してください。

連續帳票用紙を使用する場合は、用紙が机の角に当たらない位置にしてください。また、前後で連續帳票用紙を使用する場合は、奥行きが約45cmの机を使用してください。推奨の机については、「連續帳票用紙の置きかた」(91ページ)を参照してください。

電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を使用してください。

- ・電源電圧 : AC100V ± 10%
- ・電源周波数 : 50/60 ± 1Hz

使用方法について

- ・用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。印字ヘッドやプラテンが傷む原因となります。
- ・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。プリンタの故障の原因となります。

用紙について

お使いになる用紙については、「第5章 用紙について」の内容を事前に確認してください。また、次のような用紙を使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、用紙づまり、用紙折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

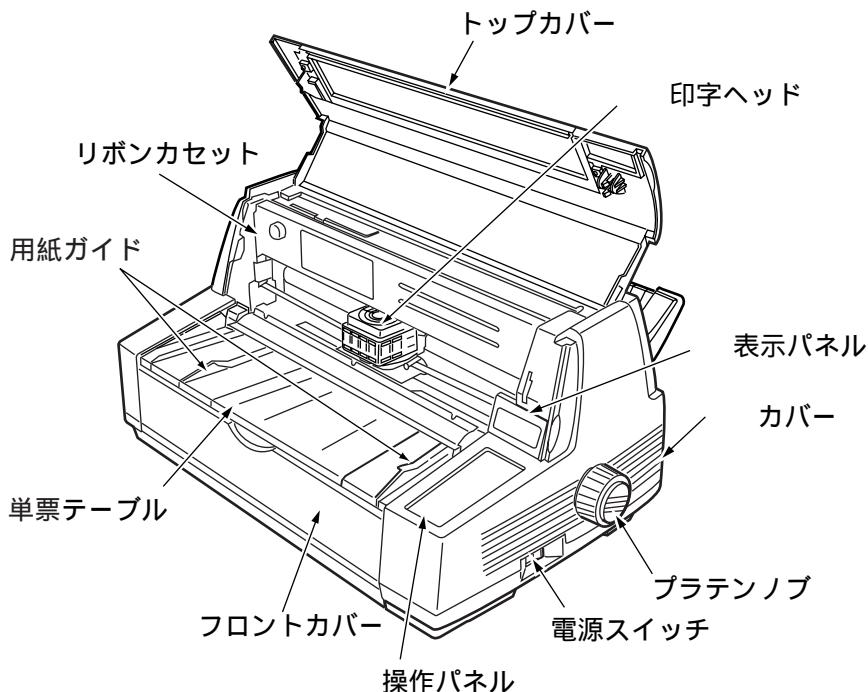
- ・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・切り抜き部分や窓のある紙
- ・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
- ・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
- ・浮き彫りのある紙
- ・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- ・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙
- ・端または角が破れていたり、折れている紙
- ・束のりとじの用紙は、とじ力が弱いので使用を避けてください。



各部の名称とはたらき

プリンタの各部の名称とそのはたらきを、正面、背面に分けて示します。

正面(カバーを開けたところ)



各部の名称	はたらき
リボンカセット	印字するためのインクリボンを収納したカセットです。
トップカバー	印字ヘッドをホコリやチリから守ります。
印字ヘッド	用紙に印字する部分です(高温注意)。
表示パネル	プリンタの状態を表示します。
カバー	プリンタ内部の機構を保護しています。
プラテンノブ	プラテンを動かすノブです。
電源スイッチ	「 」側を押すと電源が入り、「」側を押すと電源が切れます。
操作パネル	プリンタの状態を示すランプ、プリンタを操作するためのスイッチがあります(詳細は「操作パネルの機能」(64 ページ) 参照)。
フロントカバー	カットシートフィーダ(オプション)を取り付けるところです。また、連続帳票用紙をセットするとき、およびつまつた用紙を取り除くときに、開閉して使用します。

各部の名称	はたらき
単票テーブル	単票用紙をセットします。また、カットシートフィーダ(オプション)を取り付けるとき、連續帳票用紙をセットするとき、およびつまつた用紙を取り除くときに、開閉して使用します。
用紙ガイド	単票用紙の左右端の位置を決める支えです。

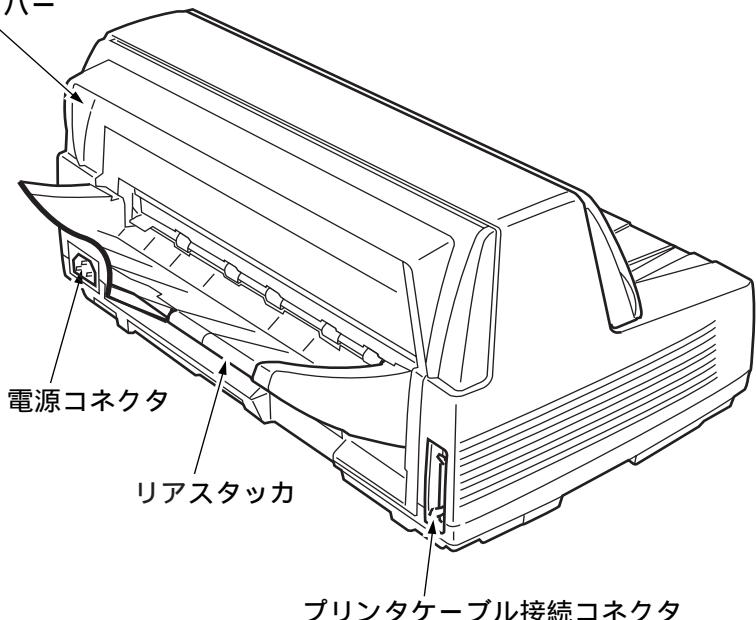
⚠ 注意

やけど

- 印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 印字直後は印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

背面

リアカバー



各部の名称	はたらき
リアカバー	フロントトラクタの用紙をカットするのに使用します。
電源コネクタ	電源コードを接続します。
リアスタッカ	印字済みの用紙をスタッカします。
プリンタケーブル接続コネクタ	パソコンとプリンタをつなぐケーブルを接続します。



プリンタを設置する

プリンタが届いたら、箱から出して輸送用固定材と緩衝材を取り外し、リアスタッカを取り付け、パソコンや電源と接続します。

輸送用固定材と緩衝材の取り外し

輸送中の振動などによる破損を防ぐため、キャリッジ部を固定しています。プリンタを使用する前に、輸送用固定材と緩衝材を手前に引き抜きます。

お願い

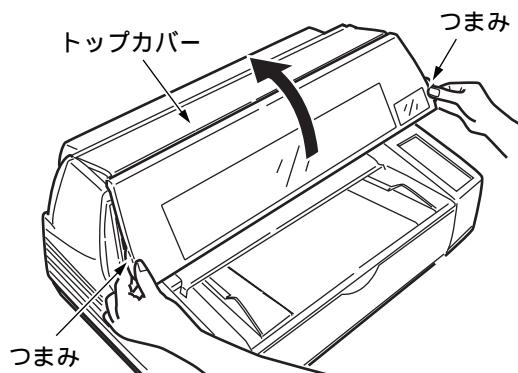
取り外した輸送固定材は、装置脇の保管袋に保管しておき、再びプリンタを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

輸送する場合は、以下の点に注意してください。

- ・ プリンタを斜めに傾けないでください。
- ・ 重量が約 30kg ありますので、2人以上で作業してください。
- ・ 台車などで移動する際には、輸送金具を装着して、衝撃を与えないで運搬してください。

1 トップカバーを開く

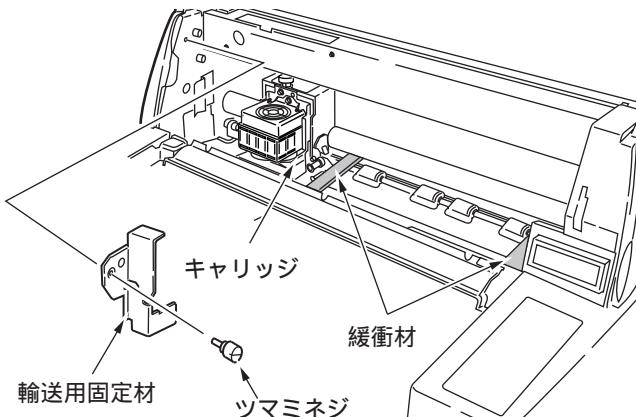
トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。



2 輸送用固定材と緩衝材を取り外す

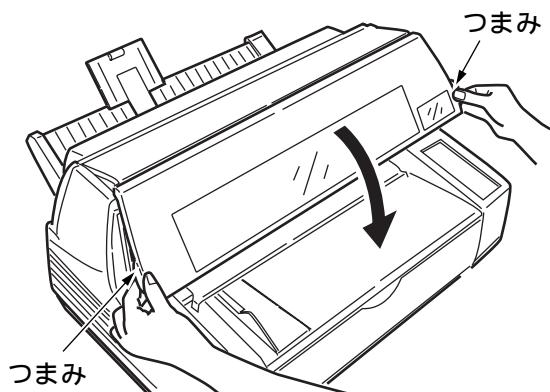
ツマミネジを外し、輸送用固定材を引き抜きます。

左右の緩衝材は、いったん奥に押し込んでから手前に引き抜きます。



3 トップカバーを閉じる

トップカバーの左右のつまみを両手で持って閉じます。



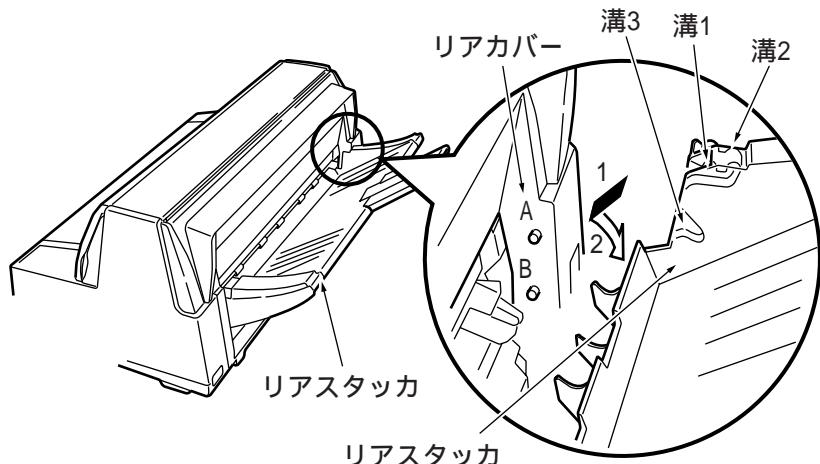
リアスタッカの取り付け

リアスタッカは、プリンタのリアカバーに差し込みます。

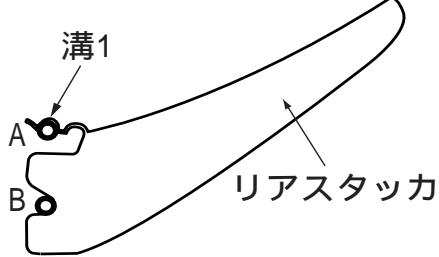
リアスタッカは、取り付け方法により取り付け角度を変えられます。

1 リアスタッカの溝1をリアカバーの突起Aに差し込む

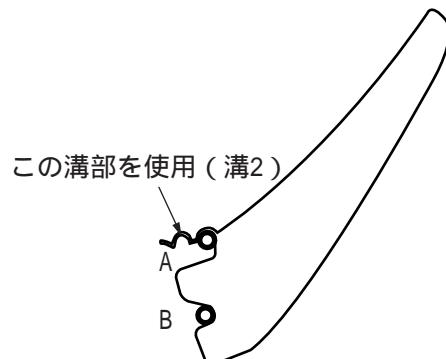
2 リアスタッカを回転させて溝3を突起Bに入れる



通常使用状態



設置箇所が狭い場合
薄手のA4サイズの用紙



おもに薄手のA4サイズの用紙や、オプションのトラクタユニットを使用する際に可能です。

お願い

溝2の状態で使用する場合、用紙の種類によっては用紙送りが不安定になります。このときは、「通常使用状態」(溝1)でお使いください。

パソコンとの接続

このプリンタは、セントロニクス仕様のパラレルインターフェースを備えています。

パソコンと接続するときの注意事項については、「使用上のお願い」(6ページ)を参照してください。

ガイド

プリンタケーブルは、接続するパソコンによって異なります。別途、用意してください。

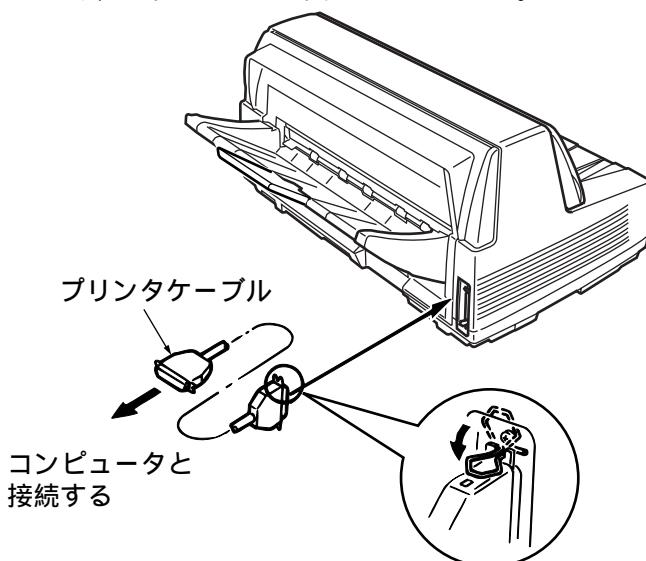
パソコンとの接続は、次の手順で行います。

1 プリンタとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタケーブルを差し込む

プリンタケーブルの一方を、プリンタ背面のプリンタケーブル接続コネクタに差し込み、上下のロック金具でロックします。



3 ケーブルのもう一方をパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。

お願い

プリンタケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってください。

電源コードの接続

電源コードの接続は、次の手順で行います。

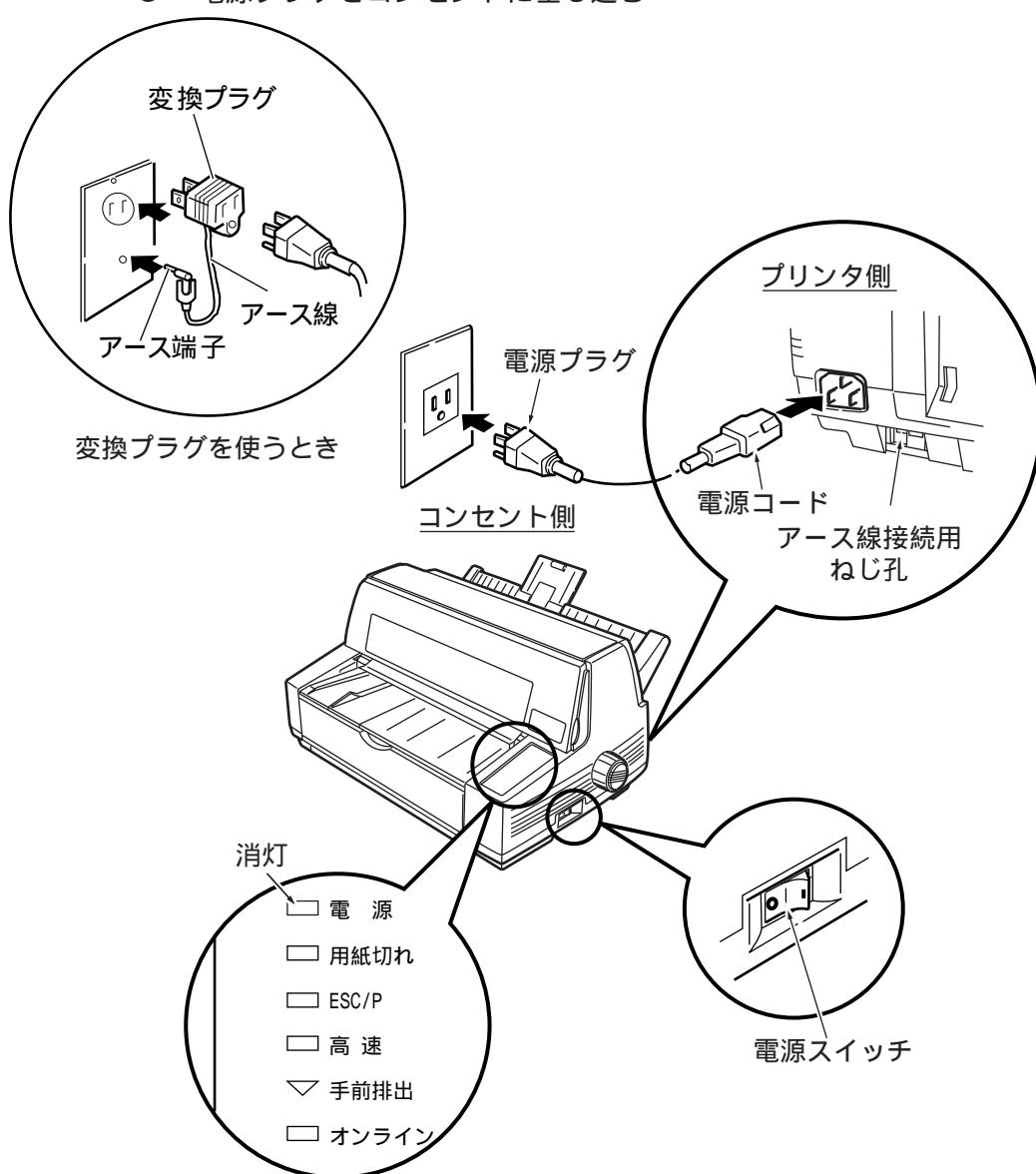
1 プリンタとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタに電源コードを差し込む

電源コードを、プリンタ背面の電源コネクタに差し込みます。

3 電源プラグをコンセントに差し込む





リボンカセットの取り付け

本プリンタのインクリボンは、リボンカセットに収容されています。インクリボンを詰め替えれば、リボンカセットを繰り返し（最大5回）使用できます。

お願い

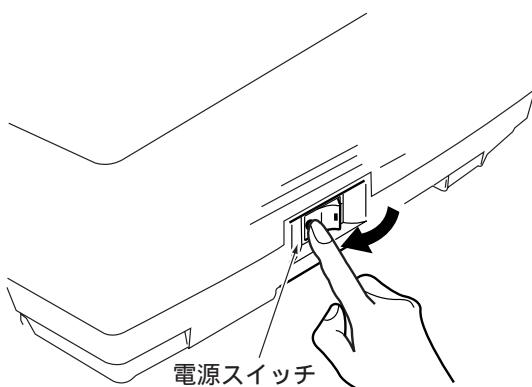
インクリボンは必ず指定品を使用してください。
指定以外のものを使用した場合、故障の原因となります。

リボンカセット SDM-6 黒 : 0325250
サブカセット SDM-6 黒 : 0325260（詰め替え用）

リボンカセットは、次の手順でプリンタに取り付けます。

1 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

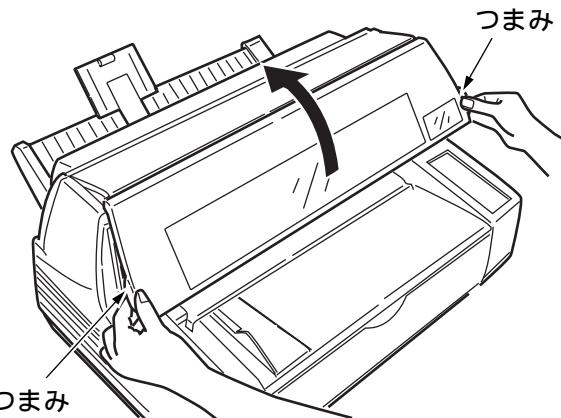


△注意

ケガ プリンタが突然動作して、ケガをするおそれがあります。必ず電源スイッチを「」側にしてください。

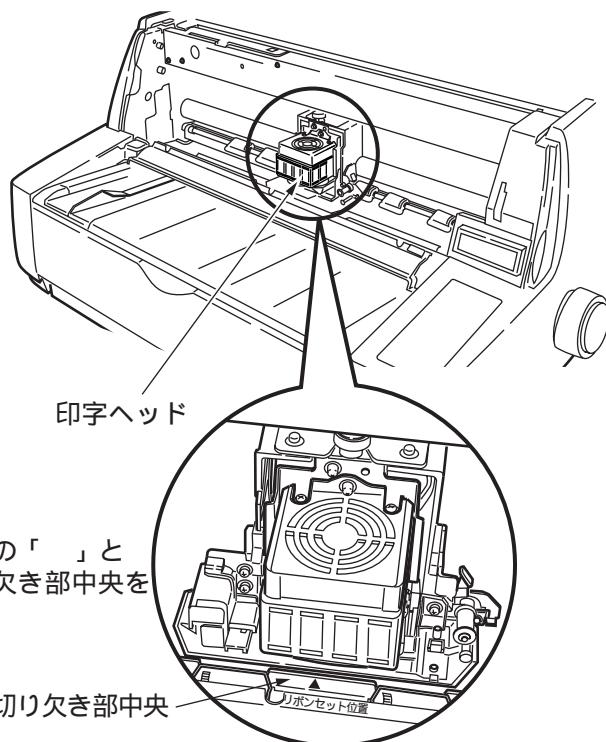
2 トップカバーを開く

トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。



3 印字ヘッドを「リボンセット位置」と表示されている場所に手動で移動させる

印字ヘッドの両端をつまんでゆっくり横方向へ移動させます。

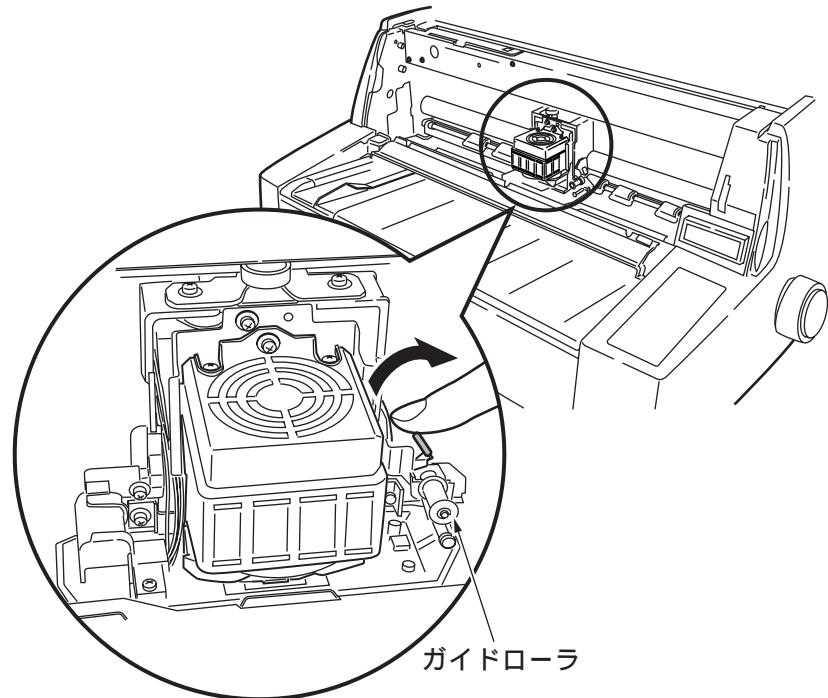


リボンセット位置の「」と
印字ヘッドの切り欠き部中央を
合わせます。

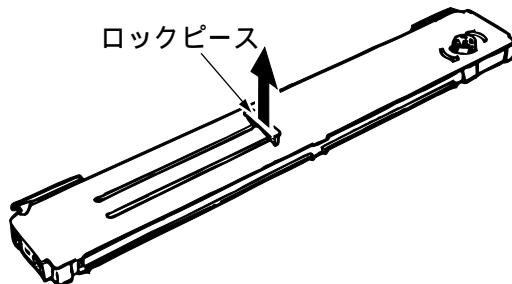
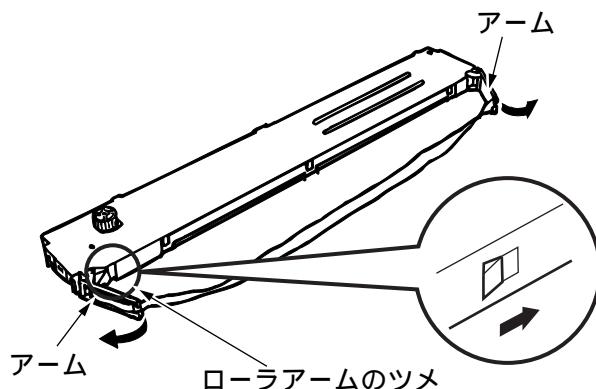


やけど 印字直後は、印字ヘッドが熱くなっていますので
冷めるまで触らないでください。
やけどのおそれがあります。

4 印字ヘッドの右側のガイドローラの青い取っ手部を外側に倒す

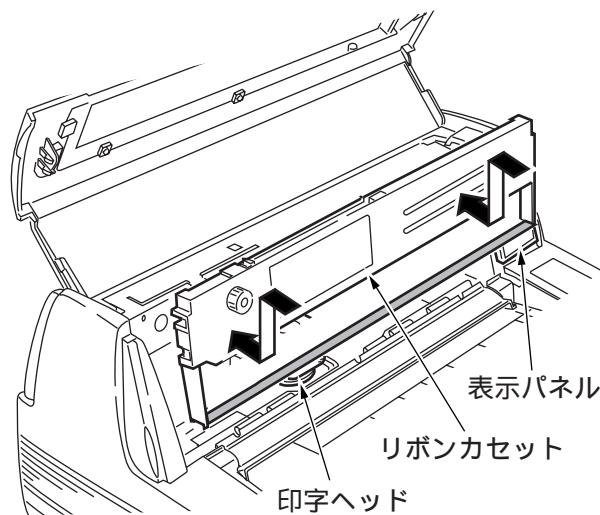


5 リボンカセットの包装紙を取り除き、ロックピースを引き抜く

6 左右のアームを真っすぐになるように（止まるまで）開く
次に、ローラアームのツメを外して、ロックを解除する

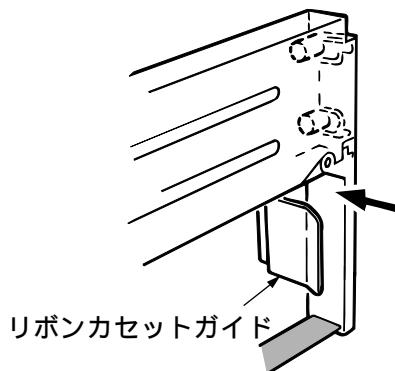
7 リボンカセットを取り付ける

表示パネルの上方からリボンカセットを入れて、印字ヘッドの上側にリボンカセットをセットし、リボンカセットの両端を止まるまで押し込みます。

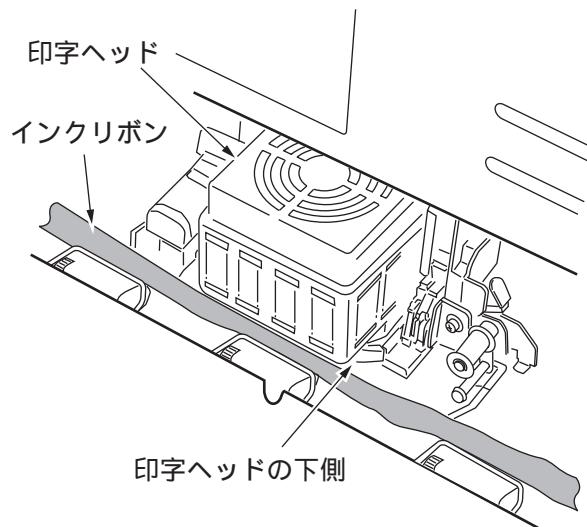


ガイド

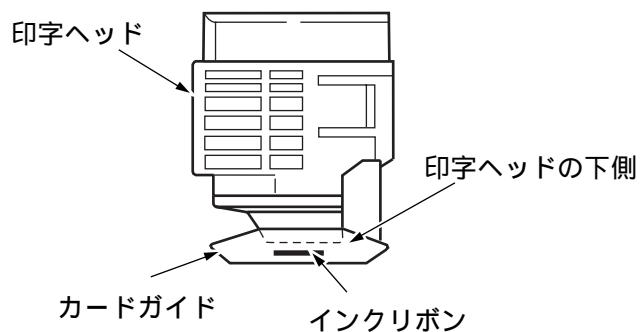
リボンカセットの左右をリボンカセットガイドの上方(矢印部)に突き当てる押し込むと容易にセットできます。



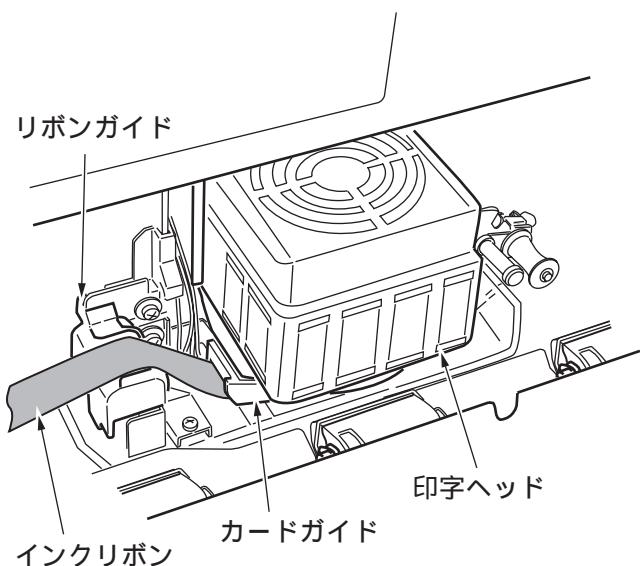
8 印字ヘッドの下側にインクリボンを通す



真横から見た図



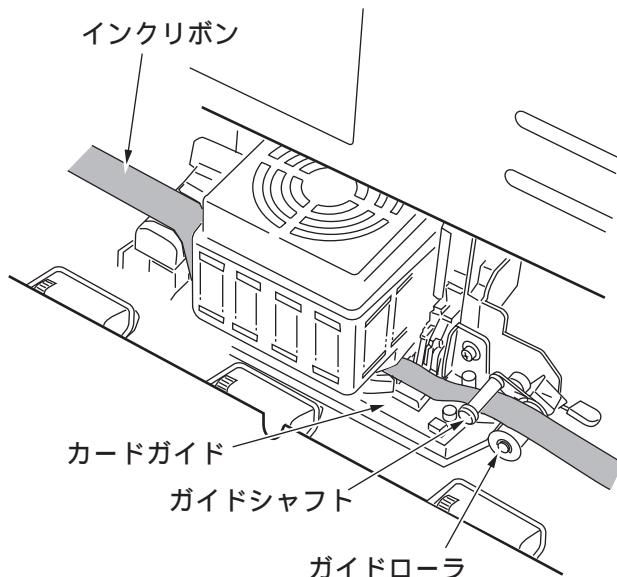
9 左側のリボンガイドの上にインクリボンをのせる



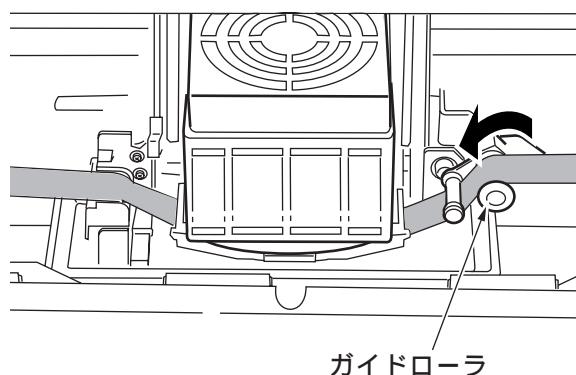
10 右側のガイドローラとガイドシャフトの間にインクリボンを通す

11 印字ヘッドの先端にインクリボンをセットする

カードガイドを軽く押し下げながら、インクリボンを指で滑り込ませます。



12 印字ヘッドの右側のガイドローラの青い取っ手部を元に戻す

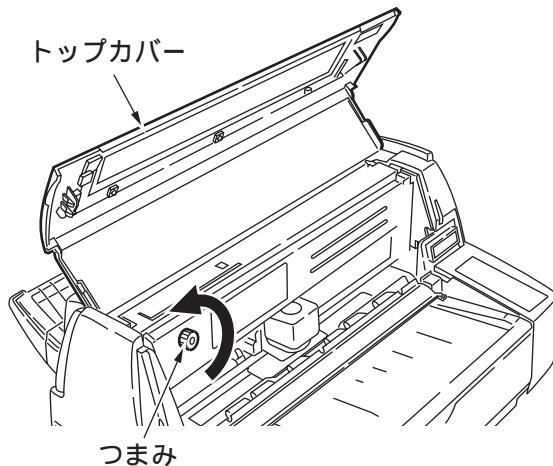


お願い

ガイドローラを戻さずにプリンタを印字させると、リボンが外れて印字できなくなる場合があります。

必ずガイドローラを戻してください。

13 つまみを矢印方向に回してインクリボンのたるみを取る

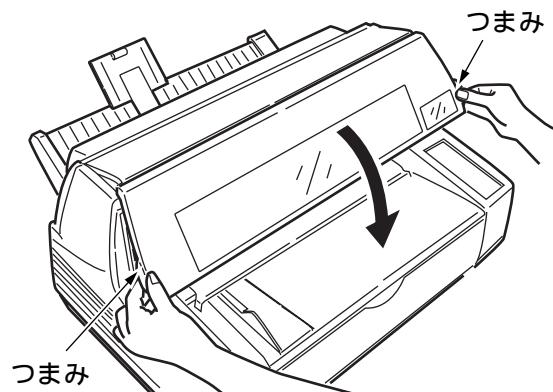


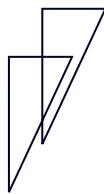
お願い

- 印字ヘッドとリボンプロテクタのすき間にインクリボンを通した際、よじれや折れ、リボンカセット左右のアームから外れがないことを確認してください。
- つまみを矢印と反対方向に回さないでください。リボンがからまる原因となります。

14 トップカバーを閉じる

トップカバーの左右のつまみを両手で持って閉じます。





電源の投入と切斷

プリンタの電源の入れ方と切り方について説明します。

お願い

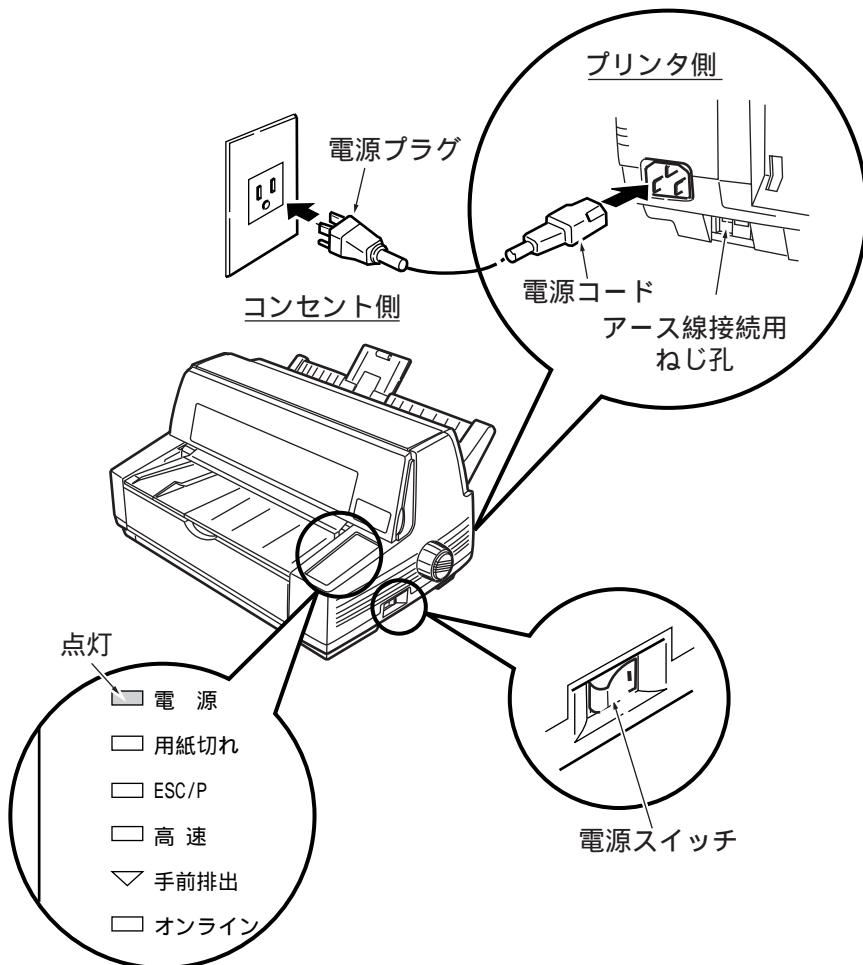
購入後初めてプリンタに電源を入れるときは、次の点を確認してください。

- ・輸送用固定材が取り外してあること
- ・電源コンセントの電源電圧が100V、周波数が50～60Hzであること

電源を入れる

電源の投入は、パソコン 他の機器 プリンタの順で行います。

プリンタの電源を入れるときは、プリンタ右側面の電源スイッチを「|」側に押します。



電源投入時のランプ表示

電源を入れたときの操作パネルのランプ表示は、次の表のようになります。

ランプ表示は、オプションの装着状態や連続帳票／単票の設定、用紙のセット状態により異なります。

オプション	未装着		装 着		
連続帳票／単票の設定(*1)	連帳側	単票側(*2)	連帳側	単票側	
用紙のセット	なし	あり	なし	あり	なし あり
ランプ表示 「電源」ランプ					
「オンライン」ランプ	×	×	×		(*3)
「用紙切れ」ランプ	×	×	×	×	×

*1 連続帳票／単票は、操作パネルの「用紙モード」スイッチで設定します(「スイッチ」(65 ページ) 参照)。

*2 機能設定で「テサシ PAPER END」を「オンライン」に設定すると、用紙のあり／なしに関係なく、「電源」ランプと「オンライン」ランプは点灯し、「用紙切れ」ランプは消灯します(「機能設定を変える」(68 ページ) 参照)。

*3 用紙を排出してから点灯します。

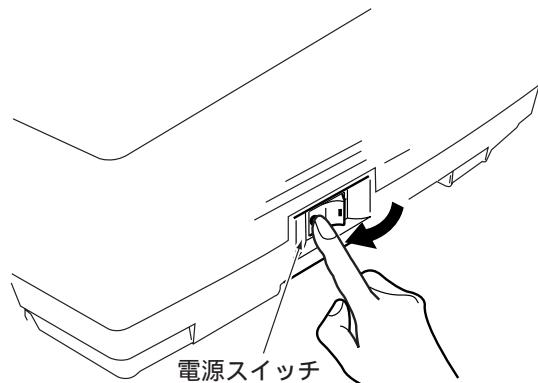
電源を切る

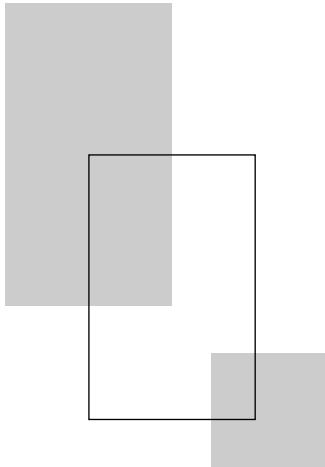
電源の切断は、プリンタ 他の機器 パソコンの順序で行います。

お願い

- 電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源コンセントを抜いて電源を切ると、プリンタ内の回路を傷めたり、印字データを壊したりする場合があります。
- 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れる場合は、4秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

プリンタの電源を切るときは、プリンタ右側面の電源スイッチを「」側に押します。



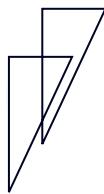


第2章

プリンタドライバのインストール

この章では、プリンタドライバのインストールと設定方法について説明します。

プリンタドライバのインストール	26
Windows 98/95 のとき	26
Windows NT4.0 のとき	35
代替ドライバとネットワークインストール	39
代替ドライバのインストール	39
ネットワークインストール	40
プリンタドライバの設定	42
Windows 98/95 の設定画面	42
Windows NT4.0 の設定画面	49
用紙サイズと印刷の向き	58
用紙サイズ	58
印刷の向き	60
余白領域	61



プリンタドライバのインストール

本プリンタに添付されているプリンタドライバには、Windows 98/95用とWindows NT4.0用があります。プリンタを接続するパソコンのOSに合わせて、使い分けてください。

ここでは、本プリンタに添付されているプリンタドライバのインストール方法について説明します。

【プリンタドライバと動作モードについて】

本プリンタドライバは、ESC/Pモードで動作します。プリンタのモード設定を必ず「ESC/P モード」にしてご使用ください。

Windows 98/95のとき

ここでは、Windows 98/95が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

インストール手順は、Plug&Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。また、Plug&Playでプリンタが検出されない場合は、通常のインストールでプリンタドライバをインストールしてください。

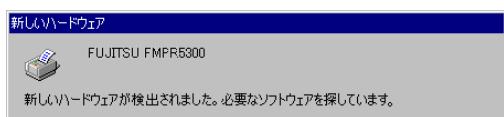
ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされているWindows 98/95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 画面の例ではプリンタ名を「FUJITSU FMPRXXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールを行うプリンタ名と読み替えてください。

Plug&Playによるインストール

プリンタドライバのPlug&Playによるインストールは、次の手順で行います。

添付のプリンタドライバディスクを準備してください。画面例はWindows 98で説明しています。



1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態でWindows 98/95を起動する

パソコン起動時に「FUJITSU FMPRXXXX 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」(FMPRXXXXはプリンタ名)と表示されます。

ガイド

Plug&Playはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ行われます。

プリンタが検出されない場合は、「通常のインストール」(29ページ)でインストールしてください。



2 「新しいハードウェアの追加」ウィザードが表示されたら、[次へ]をクリックする



3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して[次へ]をクリックする



4 プリンタドライバディスクをセットして「検索場所の指定」をチェックし、「A:」のみとして〔次へ〕をクリックする



5 プリンタドライバが見つかったことを確認し、〔次へ〕をクリックする



6 画面の指示に従って、インストールを続ける

プリンタドライバのインストールが完了すると、追加したプリンタのアイコンが「プリンタウィンドウ」に表示されます。

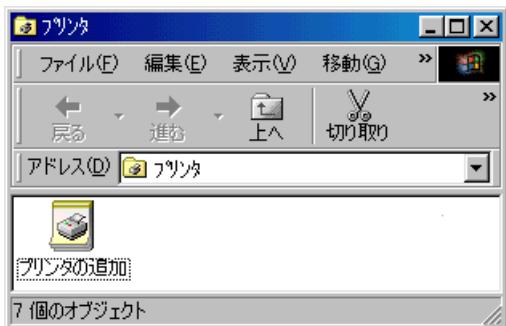
注) パソコンの環境によっては、ファイルのコピー中にOSのメッセージ「バージョンの競合」が表示されることがあります。この場合は、〔はい〕を選択し、既存ファイルをそのまま使用してください。

通常のインストール

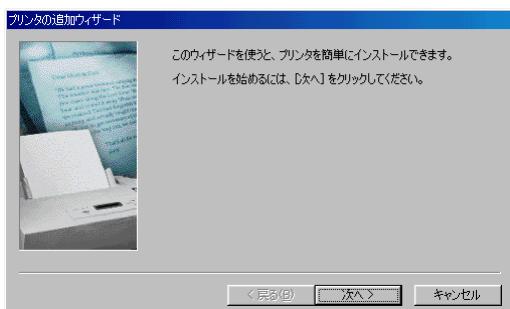
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

添付のプリンタドライバディスクを準備してください。画面例はWindows 98で説明しています。

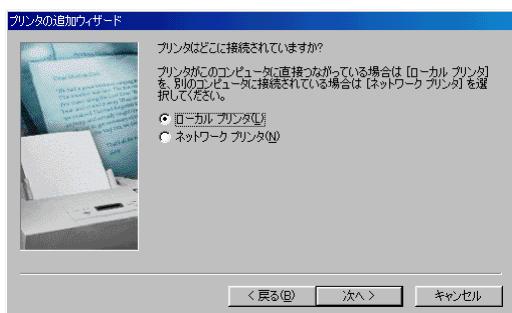
1 Windows 98/95を起動する



2 マイコンピュータの[プリンタ]をクリックし、[プリンタの追加]をクリックする



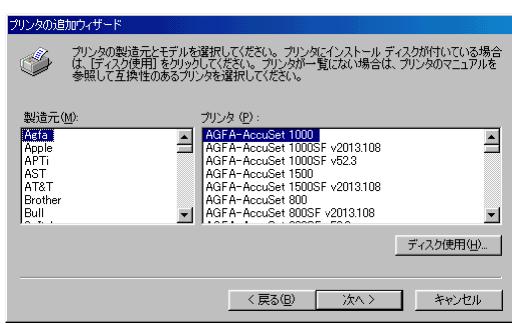
3 [次へ]をクリックする



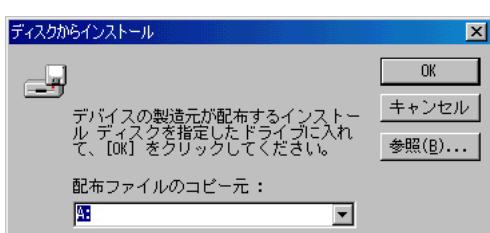
4 「ローカルプリンタ」を選択して〔次へ〕をクリックする
この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。

ガイド

- ・スタンダード（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- ・「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
「代替ドライバとネットワークインストール」（39ページ）を参照してください。



5 [ディスク使用] をクリックする



6 添付のプリンタドライバディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブにセットする

7 <配布ファイルのコピー元：>を「A:」のみとする

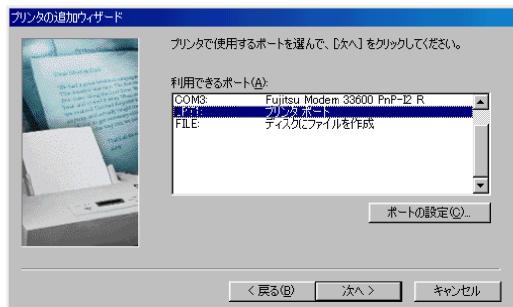
注) 上記はフロッピーディスクドライブがA:のときの入力例です。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



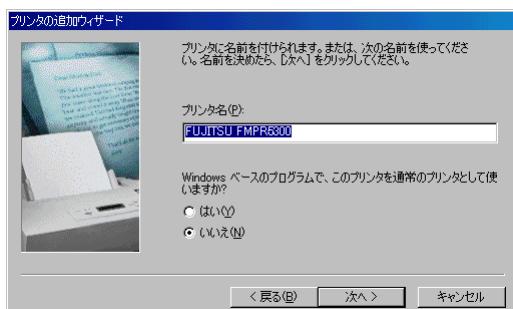
8 プリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

実際の画面では、インストール可能なプリンタ名が表示されます。



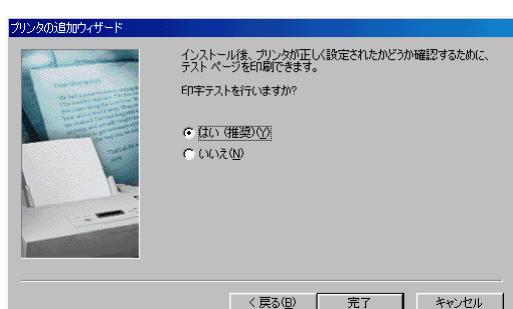
9 使用するポートを選択して〔次へ〕をクリックする

使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。



10 <プリンタ名: >にプリンタの名前を入力し、「通常のプリンタ」に設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に〔通常のプリンタ〕に設定されます。



11 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする

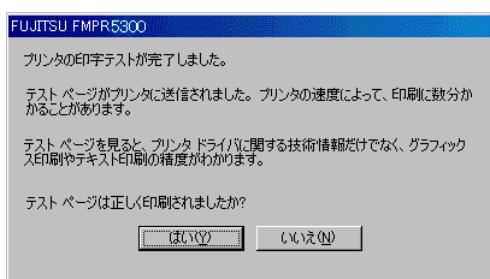
手順9で仮のポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

ファイルのコピーが開始されます。

注) パソコンの環境によっては、ファイルのコピー中にOSのメッセージ「バージョンの競合」が表示されることがあります。この場合は、「はい」を選択し、既存ファイルをそのまま使用してください。

コピーが終了すると、[プリンタ]フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。

「印字テストを行いますか？」で「はい(推奨)」を選択した場合は以下の操作を行います。



12 テストページが正しく印刷されたら[はい]をクリックし、インストールを終了する
手差し单票の場合は、用紙をセットしてオンラインスイッチを押しオンライン状態にすると、「用紙をセットしてください」というメッセージが表示されます。[OK]をクリックしてください。

ネットワークインストール

Windows NT4.0 上の共有プリンタを Windows 98/95 のパソコンから利用する場合、ネットワークインストールによって簡単に Windows 98/95 のパソコンにプリンタドライバをインストールすることができます。プリンタドライバのネットワークインストールは、次の手順で行います。

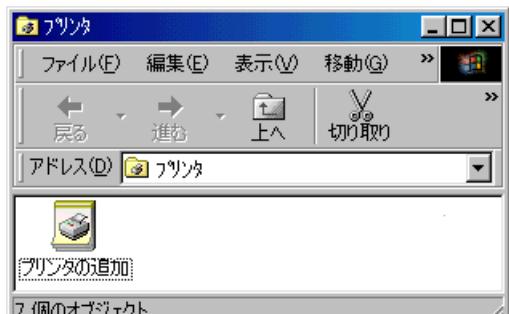
ガイド.....

ネットワークインストールを行う前に、サーバに Windows 98/95 のプリンタドライバを代替インストールしておく必要があります。

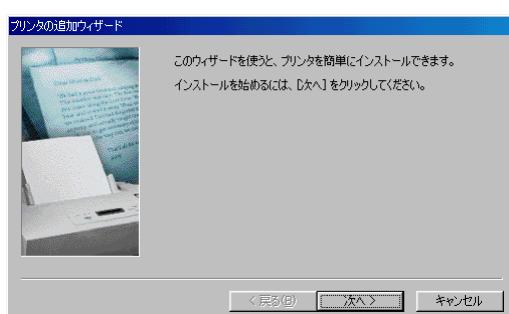
代替インストールの方法については、「代替ドライバとネットワークインストール」(39 ページ) を参照してください。

1 Windows 98/95 を起動する

2 マイコンピュータの[プリンタ]をダブルクリックし、[プリンタの追加]をダブルクリックする



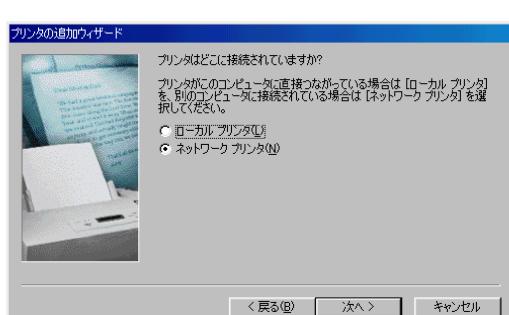
3 [次へ] をクリックする

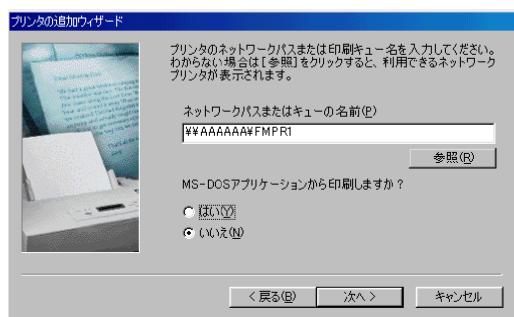


4 「ネットワークプリンタ」を選択して [次へ] をクリックする

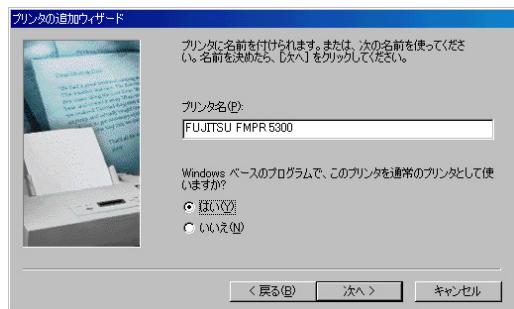
この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。

この画面が表示されないときは、[キャンセル] をクリックしてインストールを中断し、ネットワークの設定を確認してください。

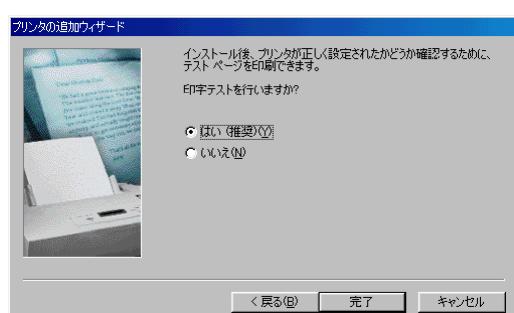




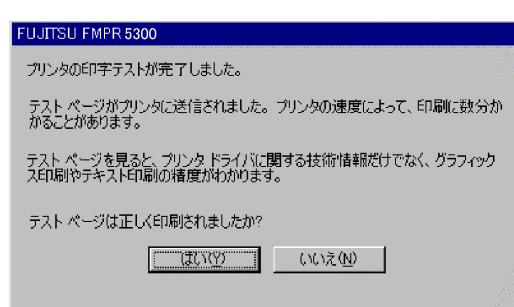
5 [参照] をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力する
入力形式は「¥¥ サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。
入力が終わったら [次へ] をクリックします。



6 本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は「はい」を選択し、[次へ] をクリックする
他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に「通常のプリンタ」に設定されます。



7 テストページを印刷するか、しないかを選択して [完了] をクリックする



8 テストページが正しく印刷されたら [はい] をクリックし、
インストールを終了する
単票用紙の場合は、用紙をセットしてオンラインスイッチを押しオンライン状態にすると、「用紙をセットしてください」というメッセージが表示されます。[OK]をクリックしてください。

Windows NT4.0 のとき

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows NT4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
- 画面の例ではプリンタ名を「FMPRXXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールを行うプリンタ名と読みかえてください。

インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

添付のプリンタドライバディスクを準備してください。

1 Windows NT4.0 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする

2 マイコンピュータの[プリンタ]をダブルクリックし、[プリンタの追加]をダブルクリックする



3 「このコンピュータ」を選択して[次へ]をクリックする
[ネットワークプリンタサーバー]を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。詳細は、「代替ドライバとネットワークインストール」(39ページ)を参照してください。





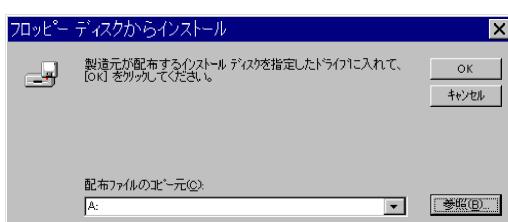
4 プリンタを接続したポートを選択して〔次へ〕をクリックする

利用可能なポートから、プリンタを接続したポートを選択します。まだ、ポートを作成していない場合は、仮のポートを選択してください。ただし、この場合は正しいポートを設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。



5 [ディスク使用] をクリックする

6 添付のプリンタドライバディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブにセットする



7 <配布ファイルのコピー元: >を「A:¥Winnt40」とする 注)上記はフロッピーディスクドライブがA:のときの入力例です。

8 該当するプリンタを選択して〔次へ〕をクリックする

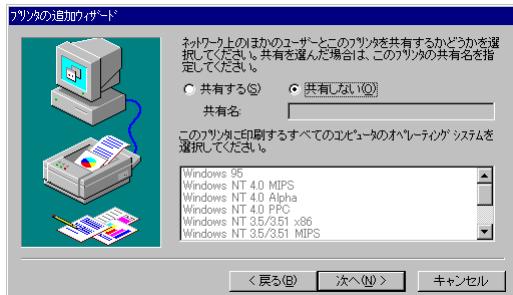
実際の画面では、インストール可能なプリンタ名が表示されます。





9 <プリンタ名: >にプリンタの名前を入力し、「通常のプリンタ」に設定する場合は、「はい」を選択し、[次へ]をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に「通常のプリンタ」に設定されます。



10 「共有しない」を選択し、[次へ]をクリックする

プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できます。ここでは「共有しない」を選択します。



11 テストページを印刷するかしないかを選択して[完了]をクリックする

手順4で仮のポートを選択した場合は「いいえ」を選択してください。



1 [ディスクの挿入]のウィンドウが表示されたら、Windows NT4.0セットアップディスクをCD-ROM ドライブにセットし、[OK]をクリックします。

2 <コピー元: >に「D:\¥i386」と入力します。または[参照]をクリックして「D:\¥i386」を選択します。

入力が終わったら[OK]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



ファイルのコピーが終了すると、[プリンタ] フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。

「テストページを印刷しますか？」で「はい(推奨)」を選択した場合は、次へ進みます。

12 テストページが正しく印刷されたら、[はい] をクリックし、インストールを終了する



代替ドライバとネットワークインストール

プリンタを共有するサーバ(Windows NT4.0)に代替ドライバをインストールしておくと、クライアントのプリンタドライバのインストールが簡単に実行できるようになります。

例えば、Windows NT4.0上の共有プリンタをWindows 98/95のパソコンから利用したい場合に、Windows NT4.0のパソコンにあらかじめWindows 98/95用のプリンタドライバを代替ドライバとしてインストールしておけば、Windows 98/95のパソコンにプリンタドライバをインストールする際に添付のプリンタドライバディスクが不要となります。

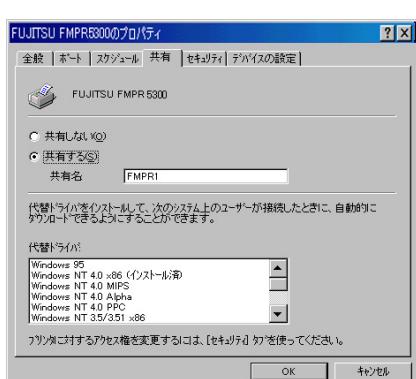
代替ドライバのインストール

代替ドライバのインストールは次の手順で行います。

添付のプリンタドライバディスクを準備してください。

ここでは、Windows NT4.0上の共有プリンタに、Windows 98/95の代替ドライバをインストールするときの手順を説明します。

- 1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックする
- 3 代替ドライバをインストールするプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択し、共有タブで「共有する」を選択する



- 4 代替ドライバのリストからクライアントのOSを選択し、〔OK〕をクリックする
クリックした部分が反転表示されます。

ガイド

Windows 98の代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択します。なお代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。



5 添付のプリンタドライバディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブにセットし、[OK]をクリックする

6 <コピー元 : >を「A:」のみとする

注)上記はフロッピーディスクドライブがA:のときの入力例です。

入力が終わったら[OK]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

ネットワークインストール

プリンタドライバのネットワークインストールは、次の手順で行います。

ガイド

管理者権限でログオンしても、ネットワークインストールしたプリンタは同じパソコンにログオンした他のユーザからは使用できませんので、ユーザごとにインストールする必要があります。



1 Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする

2 マイコンピュータの[プリンタ]をダブルクリックし、[プリンタの追加]をダブルクリックする



3 「ネットワークプリンタサーバ」を選択して〔次へ〕をクリックする



4 <共有プリンタ:>リストから接続する共有プリンタを選択する、または<プリンタ:>にネットワークパスを入力する

入力形式は「¥¥ サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」です。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



5 本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は「はい」を、設定しない場合は「いいえ」を選択し、〔次へ〕をクリックする



6 〔完了〕をクリックする



プリンタドライバの設定

ここでは、プリンタドライバの設定画面について説明します。

Windows 98/95 の設定画面

Windows 98/95でのプリンタドライバの設定は、「プリンタのプロパティ」で行います。

プリンタのプロパティを表示するには、次の2つの方法があります。
表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定(プリンタドライバの設定を含む)を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。

アプリケーションソフトからの設定画面 (プリンタ設定のプロパティ)



アプリケーションソフトから印刷を実行するときに表示できる設定画面です。

用紙サイズや解像度などを印刷時に設定できます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
〔既定値に戻す〕(Windows 95のときは〔標準に戻す〕)のあるダイアログでは、これをクリックすると現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

〔スタート〕からの設定画面(プリンタのプロパティ)



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]から、[設定]([プリンタ])の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[プリンタ]フォルダの[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 [OK]をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。[キャンセル]をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
 [既定値に戻す](Windows 95のときは[標準に戻す])のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

ダイアログ一覧 (Windows 98/95)

(注)とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」にのみ表示されます。

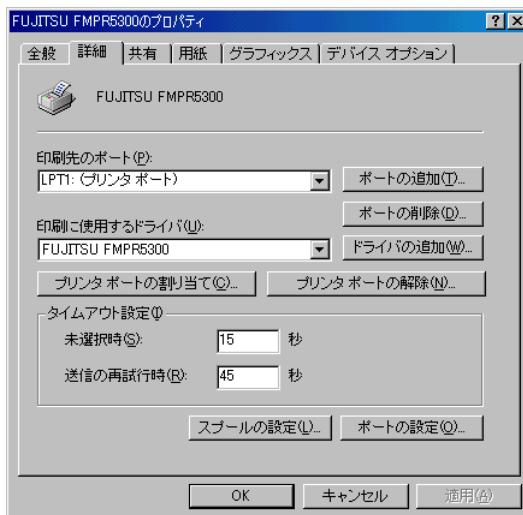
[全般](または[情報])(注)



プリンタに関するコメントの入力や区切りページの指定、テストページ印刷を行います。

区切りページは、印刷を行うパソコンにプリンタが直接接続されている場合のみ使用できます。また、B5サイズより小さいサイズの用紙では、周囲の一部が欠けて印刷されます。

〔 詳細 〕(注)



印刷先のポートに関する設定や、使用しているプリンタドライバの表示を行います。

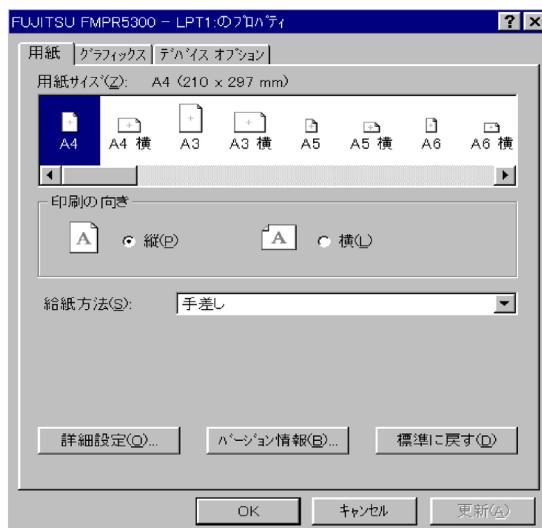
〔 共有 〕(注)



プリンタの共有に関する設定を行います。

このダイアログは、ネットワークの設定でプリンタを共有に設定したときのみ表示されます。

〔用紙〕



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。
用紙サイズ 用紙サイズを選択します。

- ・特別なサイズの用紙を使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。[ユーザー定義サイズ]ダイアログの画面上に表示されている印字範囲で設定してください。
- ・用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。
- ・複数のユーザー定義サイズの用紙を使いたい場合は、プリンタドライバをユーザー定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

給紙方法 「手差し」「カットシートフィーダ」「前トラクタフィーダ」「後トラクタフィーダ」の中から給紙方法を選択します。

給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を取り出してください。

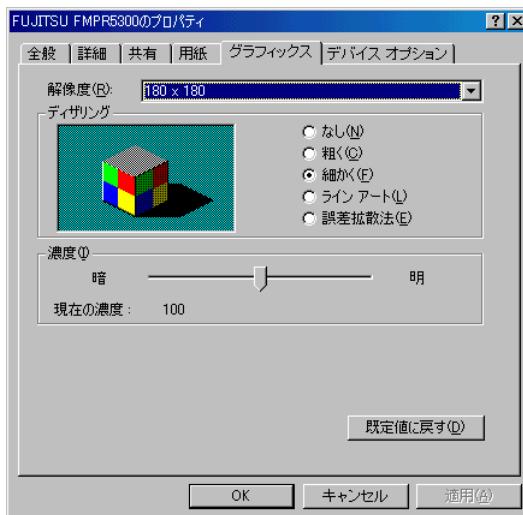
余白の編集 用紙サイズごとに余白量を設定します。クリックすると表示される[余白の編集]ダイアログで、上下左右それぞれの余白量を入力します。

アプリケーションからプロパティを開いた場合は、表示されません。

詳細オプション ... 単票用紙の排出方法を指定します。

- ・自動排出：プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。
- ・手前排出：単票テーブルに排出します。
- ・後方排出：リアスタッカに排出します。

[グラフィックス]



解像度やディザパターンなどを設定します。

解像度 印刷するデータの解像度を次の中から指定できます。

180 × 180dpi (既定値) 120 × 180dpi

ディザリング ... ディザリングとは、中間色をドットの組み合わせで表現することです。選んだディザリングの設定によって、グラフィックイメージがどの程度に細かく印刷されるかが決まります。

なし ディザリングを行いません。

粗く グラフィックイメージを粗いパターンで表現します。

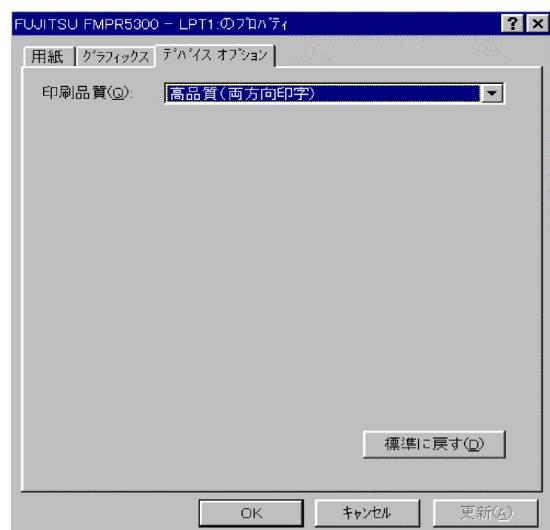
細かく グラフィックイメージを細かいパターンで表現します。(既定値)

ラインアート ... グラフィックイメージを線の太さで表現します。印刷をするグラフィックイメージの、黒・白・グレーの間にはっきりした境界線がある場合に指定してください。

誤差拡散法 ... はっきりした境界のない写真や絵を印刷するときに指定します。

濃度 濃度を変えると、印刷濃度が調整できます。

[デバイスオプション]



印刷品質を設定します。

印刷品質 印刷の品位を選択します。

- ・ 高品質 (片方向印字): 片方向で高密度に印刷します。
- ・ 高品質 (両方向印字): 両方向で高密度に印刷します。

Windows NT4.0 の設定画面

Windows NT4.0 でのプリンタドライバの設定は、次の 3 つのプロパティで行います。

- ・ プリンタの設定プロパティ
- ・ ドキュメントの規定値
- ・ プリンタのプロパティ

プロパティによって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。

ガイド

- ・ 一般ユーザは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。
また、サーバ共有のプリンタのすべての設定値をクライアントから変更するには、サーバとクライアントの両方で管理者権限が必要です。
- ・ アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。

アプリケーションからの設定画面（プリンタ設定のプロパティ）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。
印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

- 1 ワードパッドの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
設定を変更した後、〔詳細〕ダイアログの「FUJITSU FMPR5300 ドキュメントの設定」を選択すると、〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンが表示されます。これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

〔スタート〕からの設定画面（ドキュメントの既定値）



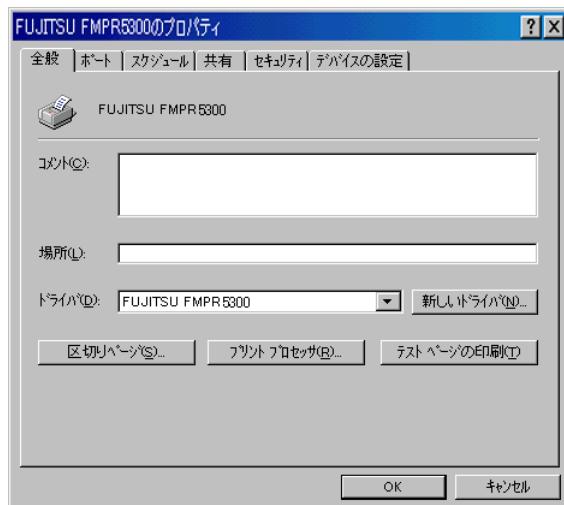
用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。

アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔ドキュメントの既定値〕を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
 〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
 設定を変更した後、〔詳細〕ダイアログの「FUJITSU FMPR5300 ドキュメントの設定」を選択すると、〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンが表示されます。これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
 [OK]をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
 [キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
 設定を変更した後、[デバイスの設定]ダイアログの「FUJITSU FMPR5300 ドキュメントの設定」を選択すると、[変更したオプションを元に戻す] ボタンが表示されます。これをクリックすると、[デバイスの設定]ダイアログの内容を標準値に戻します。

ダイアログ一覧

(注1)とあるダイアログは「プリンタ設定のプロパティ」または「ドキュメントの既定値」でのみ表示されます。

(注2)とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

[ページ設定](注1)



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

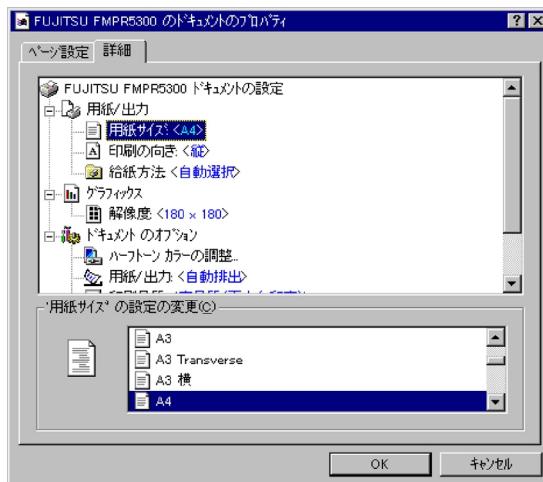
給紙方法 「手差し」「カットシートフィーダ」「前トラクタフィーダ」「後トラクタフィーダ」「自動選択」の中から給紙方法を選択します。

- ・「自動選択」のまま印刷すると、[デバイスの設定]タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。

ガイド.....

用紙サイズおよび印刷の向きについては、「用紙サイズと印刷の向き」(58ページ)を参照してください。

〔詳細〕(注1)



次の項目の設定が行えます。

用紙 / 出力

用紙サイズ 用紙サイズを選択します。

印刷の向き 印刷の向きを指定します。

給紙方法 給紙方法を選択します。

グラフィックス

解像度 解像度を設定します。

ドキュメントのオプション

ハーフトーンカラーの調整 ハーフトーンカラーを設定します。

用紙 / 出力 単票用紙の排出方法を指定します。

- ・自動排出：プリンタの操作パネルで指定した排出方法になります。

- ・手前排出：単票テーブル側に排出します。

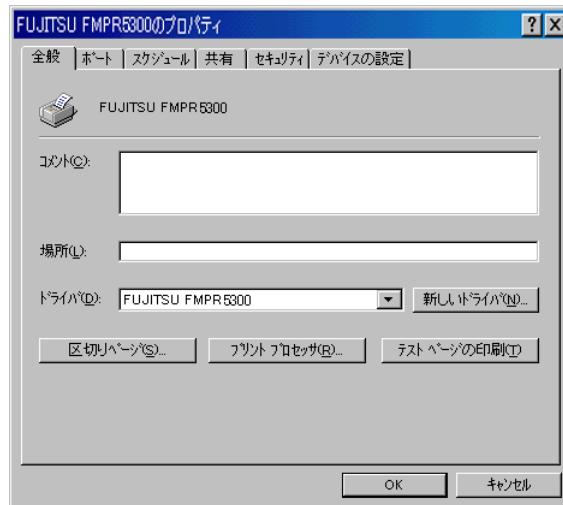
- ・後方排出：リアスタッカに排出します。

印刷品質 印字圧の設定を行います。

テキストをグラフィックスとして印刷 ... テキストデータをグラフィックで印刷します。

メタファイルスプーリング 印刷データをメタファイルとしてスプールします。

〔全般〕(注2)



プリンタに関するコメントの入力や区切りページの指定、テストページ印刷を行います。

〔ポート〕(注2)



印刷先のポートに関する設定を行います。

〔スケジュール〕(注2)



プリンタの利用可能時間やスプールに関する設定を行います。

〔共有〕(注2)



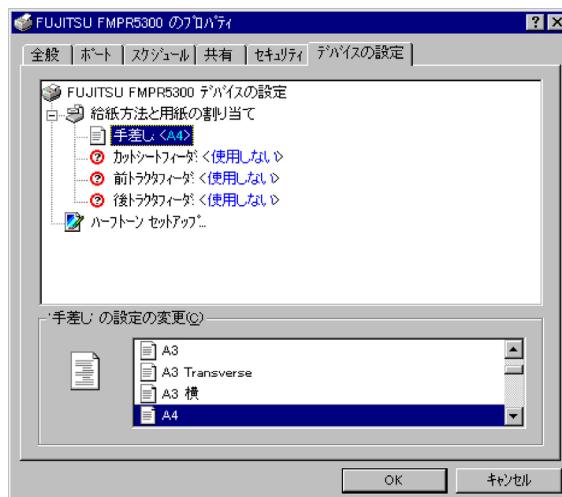
プリンタの共有に関する設定や代替ドライバのインストールを行います。

〔セキュリティ〕(注2)



プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

〔デバイスの設定〕(注2)



給紙方法と用紙の割り当て、ハーフトーンの設定を行います。

給紙方法と用紙の割り当て … 紙給方法に対して、用紙を割り当てます。

給紙方法で「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。



用紙サイズと印刷の向き

このプリンタドライバで使用できる用紙サイズおよび印刷範囲は、次のようになっています。

用紙サイズ

単位：mm

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
B4 (JIS)	257.00	364.00	364.00	257.00
B5 (JIS)	182.00	257.00	257.00	182.00
Letter	215.90	279.40	279.40	215.90
Legal	215.90	355.60	355.60	215.90
官製はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき	200.00	148.00	148.00	200.00
封筒 長形4号 横			205.00	90.00
封筒 長形3号 横			235.00	120.00
封筒 角形3号 横			277.00	216.00
封筒 角形2号 横			332.00	240.00
名刺 (55 × 90mm)	55.00	90.00		
10 × 11inch	254.00	279.40		
12 × 11inch	304.80	279.40		
15 × 3inch	381.00	76.20		
15 × 4inch	381.00	101.60		
15 × 4.5inch	381.00	114.30		
15 × 5inch	381.00	127.00		
15 × 6inch	381.00	152.40		
15 × 7inch	381.00	177.80		
15 × 8inch	381.00	203.20		
15 × 9inch	381.00	228.60		
15 × 10inch	381.00	254.00		
15 × 10.5inch	381.00	266.70		
15 × 11inch	381.00	279.40		
15 × 12inch	381.00	304.80		

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
15 × 13inch	381.00	330.20		
15 × 14inch	381.00	355.60		
ユーザー定義サイズ(注)	55.00	70.00		

注)この値は初期値です。設定可能範囲は、次のとおりです。

用紙幅 : 55.00 ~ 420.10mm

用紙長 : 70.00 ~ 420.10mm

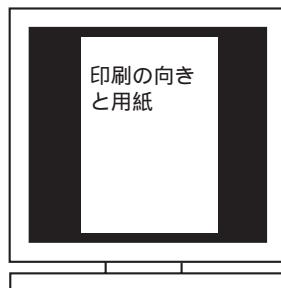
ガイド.....

ユーザー定義サイズは、プリンタにセット可能な最大用紙幅まで指定できますが、「第5章 用紙について」(101ページ)を参照し、印刷可能範囲内で使用してください。

印刷の向き

印刷方向は、プリンタドライバの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようにになります。

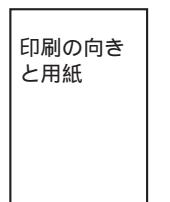
「A4」選択時の印刷方向



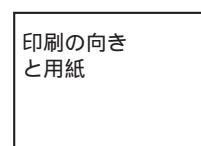
「A4 横」選択時の印刷方向



印刷の向き : 縦(P) 横(L)



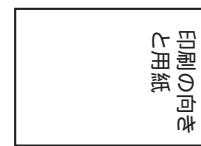
印刷の向き : 縦(P) 横(L)



印刷の向き : 縦(P) 横(L)



印刷の向き : 縦(P) 横(L)



●: チェックした状態

○: チェックしていない状態

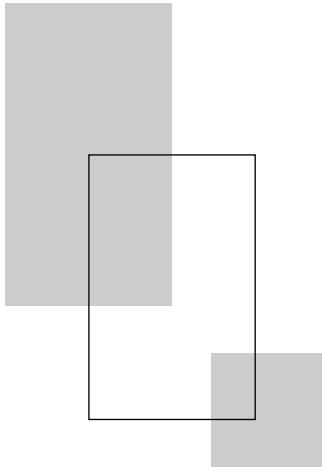
余白領域

単位 : mm

用紙	余白(既定値)			
	上端	下端	左端	右端
A4、A4 横	6.77	6.91	4.94	4.94
A3	6.77	6.91	4.94	4.94
A3 横	6.77	6.91	35.00	39.65
A5、A5 横	6.77	6.91	4.94	4.94
A6、A6 横	6.77	6.91	4.94	4.94
B4 (JIS)	6.77	6.91	4.94	4.94
B4 横 (JIS)	6.77	6.91	4.94	13.62
B5 , B5 横 (JIS)	6.77	6.91	4.94	4.94
Letter	6.77	6.91	4.94	4.94
Legal	6.77	6.91	4.94	4.94
官製はがき、はがき横	6.77	6.91	4.94	4.94
往復はがき、往復はがき横	6.77	6.91	4.94	4.94
封筒 長形4号 横(注1)	6.77	6.91	4.94	4.94
封筒 長形3号 横(注1)	6.77	6.91	4.94	4.94
封筒 角形3号 横(注1)	6.77	6.91	4.94	4.94
封筒 角形2号 横(注1)	6.77	6.91	4.94	4.94
10 × 11inch	0.00	0.00	0.00	0.00
12 × 11inch	0.00	0.00	0.00	0.00
15 × 11inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 3inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 4inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 4.5inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 5inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 6inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 7inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 8inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 9inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 10inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 10.5inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 11inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 12inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 13inch	0.00	0.00	0.00	35.56
15 × 14inch	0.00	0.00	0.00	35.56
ヨ-ザ-定義サイズ(連帳)(注2)	0.00	0.00	4.94	4.94
ヨ-ザ-定義サイズ(単票)(注2)	6.77	6.91	4.94	4.94

注1 : 封筒を使用する場合の余白量については、「第5章 用紙について」(101ページ)の用紙規格に合わせて調整してください。

注2 : 前項「用紙サイズ」のガイド(59ページ)を参照してください。



第3章

プリンタの機能と 使いかた

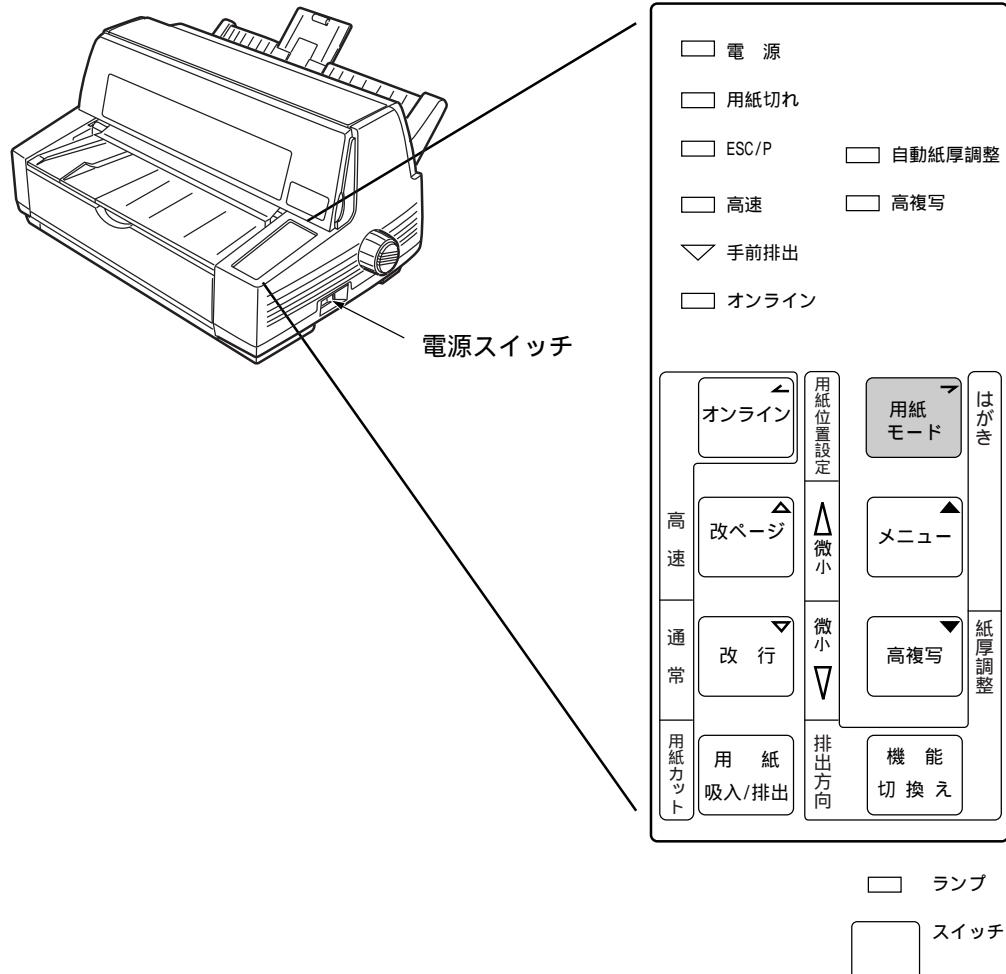
この章では、操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。

操作パネルの機能	64
ランプ	65
スイッチ	65
機能設定を変える	68
設定項目の一覧	68
機能の解説	73
機能設定の変えかた	79
調整する	82
調整メニュー	82
調整のしかた	83
現在の設定を印刷する	84
初期値に戻す	84



操作パネルの機能

操作パネルには、プリンタの状態を示すランプとプリンタを操作するためのスイッチが付いています。



ランプ

各ランプの機能は、下表のとおりです。

ランプ名称	色	機能
電源	緑	電源が入ると点灯します。
用紙切れ	赤	用紙がなくなると点灯します。
ESC/P	緑	消灯／点灯／点滅により、動作モードを示します。 消灯：FM モード (FMPR5300 の場合) 点灯：ESC/P モード 動作モードの切り替えについては、「機能設定を変える」(68 ページ) を参照してください。
高速	緑	高速印字モードのときに点灯します。
手前排出	緑	手前排紙モードのときに点灯します。
オンライン	緑	オンライン状態で点灯します。
自動紙厚調整	緑	自動紙厚調整モードのときに点灯します。
高複写	緑	高複写モードのときに点灯します。

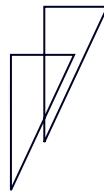
スイッチ

各スイッチの機能は、下表のとおりです。

スイッチ名称	機能
オンライン	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。 ・オンライン状態のときは、「オンライン」ランプが点灯します。
改ページ	用紙を 1 ページ分送ります。 ・オフライン状態のときに使用できます。 ・トラクタユニットを使用しているときは、用紙を印字開始位置に送ります。 ・「機能切換え」スイッチと組み合わせると、1/180 インチずつ正方向に用紙が送られます。(微小改行)
改行	1 回押すたびに、1/6 インチずつ用紙が送られます。 ・オフライン状態のときに使用できます。 ・押し続けると、連続して用紙が送られます。 ・「機能切換え」スイッチと組み合わせると、1/180 インチずつ正方向に用紙が送られます。(微小改行)

スイッチ名称	機能
用紙吸入／排出	オフライン状態のときに使用できます。
	連帳モードのとき ・用紙がセットされていないときは、用紙を印字開始位置まで送ります。 ・用紙がセットされているときは、用紙の先頭を用紙トラクタの位置まで後退させます。
	単票モードのとき ・用紙なし状態のときは、用紙ガイドに置かれた用紙を印字開始位置まで送ります。 ・用紙あり状態のときは、用紙を排出します。
用紙モード	オフライン状態のときに使用できます。 ・給紙方法を切り替えます。 ・給紙方法は次の4つがあります。 テサシ : 単票用紙を単票テーブルから使用する場合 CSF : 単票用紙をカットシートフィーダ(オプション)から使用する場合 フロントトラクタ : 前方(操作パネル側)から給紙する連続帳票用紙を単票テーブルから使用する場合 リアトラクタ : トラクタユニット(オプション)を使い、後方から給紙する連続帳票用紙を使用する場合
メニュー	機能設定を起動します。機能設定については、「機能設定を変える」(68ページ)を参照してください。 ・オフライン状態のときに使用できます。
高複写	プリンタを高複写モードにします。 高複写モードは、枚数の多い複写紙に印字する場合(高い複写能力を必要とするとき)に利用するモードです。 ・オンライン状態のときに使用できます。
機能切換え	オフライン状態で他のスイッチと同時に押すことにより、そのスイッチの機能を、横に刻字された機能で使用することができるようになります。
高速 (改ページ)	プリンタを高速印字モードにします。 ・高速印字モードのときは、「高速」ランプが点灯します。 ・オンライン状態のときに有効です。 注) 高速印字モードは間引き印字を行うので、通常印字モードに比べて文字構成の密度が粗くなります。用途や目的に応じて使い分けてください。

スイッチ名称	機能
通常	プリンタを通常印字モードにします。
(改行)	<ul style="list-style-type: none"> 通常印字モードのときは、「高速」ランプが消灯します。 オンライン状態のときに有効です。
用紙カット (用紙吸入/排出)	連帳モードのときに、用紙を切断しやすい位置まで送ります。 <ul style="list-style-type: none"> オンライン状態のときに有効です。 もう一度押すと、用紙が印字開始位置に戻ります。
はがき (機能切換え + 用紙モード)	单票モードのときに、はがきモードにします。 <ul style="list-style-type: none"> オフライン状態のときに使用できます。
紙厚設定 (機能切換え + 高複写)	用紙厚に応じて印字ヘッドの間隙を調整します。 <ul style="list-style-type: none"> 用紙厚の調整については、「用紙厚を調整する」(98ページ)を参照してください。 オフライン状態のときに使用できます。
用紙位置設定 (機能切換え + オンライン)	連続帳票用紙、单票用紙(手差し)の頭出し位置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 用紙なし状態のときに使用できます。 連続帳票用紙のときにスイッチを押すと、トラクタから給紙します。 「改行」「微小改行」スイッチで頭出し位置を調整します。頭出し位置が決定したら、「オンライン」または「用紙吸入/排出」スイッチを押し、設定を終了します。それぞれのスイッチを押したとき、プリンタは次の状態になります。 「オンライン」：電源を切断しても、ここで設定した頭出し位置で以後給紙します。 「用紙吸入/排出」：電源を切断すると、デフォルトの頭出し位置になります。
微小 (機能切換え + 改ページ)	用紙を順方向に1/180インチずつ送ります。 <ul style="list-style-type: none"> オフライン状態のときに有効です。 押し続けると、連続して順方向に微小改行します。
微小 (機能切換え + 改行)	用紙を逆方向に1/180インチずつ送ります。 <ul style="list-style-type: none"> オフライン状態のときに有効です。 押し続けると、連続して逆方向に微小改行します。
排出方向 (機能切換え + 用紙吸入/排出)	单票用紙の排出方向を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> オフライン状態のときに有効です。 手前排出モードのときは、「手前排出」ランプが点灯します。



機能設定を変える

ここでは、動作モード (FM、ESC/P) ごとに、設定できる機能の内容と、機能設定の変えかたについて説明します。

対応する動作モードは、機種ごとに異なります。

FMPR5300 : FM、ESC/P

FMPR5300E : ESC/P

設定項目の一覧

機能設定で変更できる項目の一覧を次の表に示します。

各設定の内容については「機能の解説」(73ページ)を、設定方法については「機能設定の変えかた」(79ページ)を参照してください。

ガイド

表中の初期設定とは、ご購入時にすでに設定してある値をいいます。

*印の付いている設定項目が初期設定です。

ESC/P モードの設定項目

ESC/P モードのときは、次の項目を設定できます。（*は、初期設定値です。）

モード	設定項目	設定値
コマンドキノウ	ホストインタ	AT*
セッティ	フェース	RSV1
	(注1)	RSV2
	モードセッティ	ESC/Pモード*
	(注1)	FMモード
		RSV3
	ANKコードヒョウ	グラフィックコード
		カタカナコード*
	ANKモジヒンイ	LQ ANK*
		ドラフトANK
	CRキノウ	フッキノミ*
		フッキ+カイギョウ
	ゼロフォント	0*
		Ø

注1 : FMPR5300E では、表示されません。

モード	設定項目	設定値
コマンドキノウ	ANKフォント	ケーリエ*
セッティ		ローマン
		サンセリフ
		OCR-B
DC1/DC3		ムコウ*
		ユウコウ
FFキノウ		ハイシユツ*
		ページチョウオクリ
タンピヨウボトム		ジドウハイシユツ*
		FFコード
インジモード	タテカクダイインジ	リョウホウコウインジ*
セッティ		カタホウコウインジ
	イメージインジ	リョウホウコウインジ*
	ホウコウ	カタホウコウインジ
テイシンドウモード	ムコウ*	
		ユウコウ

モード	設定項目	設定値	モード	設定項目	設定値
インジモード	PowOnカンジモード	セッティ	テサシモード	テサシT0Fイチ	ユーザーシティイチ
セッティ		カイジョ*	セッティ		0.3mm~20.3mm (初期値は6.8mm)
	コウフクシャインジ	ムコウ*			
		ユウコウ			
ハードウェア	ジュシンパッファ	シヨウスル*	オートローディング	0.5sec	
セッティ		シヨウシナイ			1.0sec*
	パイタイキリカエ	カットオクリナシ*			2.0sec
	ドウサ	カットオクリアリ			ムコウ
	カールナラシ	ムコウ	テサシキュウシソクド	ツウジョウ*	
	ドウサ	ユウコウ*			テイソク
	チョウヒヨウオクリ	ツウジョウ*	テサシスキュー	ムコウ	
	ソクド	テイソク	ケンシュツ	ユウコウ*	
	リボンマスクホゴ	ムコウ*	テサシハイシュツ	テマエハイシュツ*	
		ユウコウ	ホウコウ	コウホウハイシュツ	
	ソウホウコウイ/F	ムコウ	テサシPAPER END	オンライン	
		ユウコウ*			オフライン*
	AUTO FEED XT	ムコウ*	テサシカミアツ	オート*	
		ユウコウ	センタク	マニュアル1レンジ	
	SLCT IN	ムコウ*		マニュアル2レンジ	
		ユウコウ		マニュアル3レンジ	
	エラーサンゴウ	ムコウ		マニュアル4レンジ	
	セイギョ	ユウコウ*		マニュアル5レンジ	
	I/Fタイミング	A-B-A*		マニュアル6レンジ	
		A-B		マニュアル7レンジ	
	ブザー	ユウコウ*		マニュアル8レンジ	
		ムコウ		マニュアルAレンジ	
	ヘッドコウカン	ユウコウ*		マニュアルBレンジ	
	ヒヨウジ	ムコウ		マニュアルCレンジ	
	ヘッドカウンタ	xxx		マニュアルDレンジ	
ヨウシセンタク	ページショウ	279.4mm(11")*	テサシカミアツイチ	45mm(1.8")*	
モード		304.8mm(12")		101.6mm(4")	
	ミシンメスキップ	0mm*	CSFモード	CSF T0Fイチ	ユーザーシティイチ
		25.4mm(1")	セッティ		0.3mm~20.3mm (初期値は6.8mm)
	カタンヨハクリョウ	1.5mm*			
		4.6mm			
		13.1mm			
	カミハバセイギョ	ムコウ	CSFスキュー	ムコウ*	
		ユウコウ*		ケンシュツ	ユウコウ
	インジハバ	80ヶタ(203.2mm)	CSFハイシュツ	テマエハイシュツ	
		106ヶタ(269.2mm)		ホウコウ	コウホウハイシュツ*
		132ヶタ(335.3mm)			
		136ヶタ(345.4mm)*			

モード	設定項目	設定値
CSFモード	CSFギャップドウサ セッティ	マイカイ ツウジョウ*
	CSFカミアツセンタク	オート*
		マニュアル1レンジ
		マニュアル2レンジ
		マニュアル3レンジ
		マニュアル4レンジ
		マニュアル5レンジ
		マニュアル6レンジ
		マニュアル7レンジ
		マニュアル8レンジ
		マニュアルAレンジ
		マニュアルBレンジ
		マニュアルCレンジ
		マニュアルDレンジ
		マニュアルEレンジ
	CSFカミアツイチ	45mm(1.8")* 101.6mm(4")
フロントモード	フロントT0Fイチ セッティ	ユーザーシティイチ 0.3mm~20.3mm (初期値は6.8mm)
	フロントカット	シュドウ*
	モード	ジドウ
	フロントP0w0n	ゲンザイイチ*
	ヨウシイチ	カットイチ
	フロントP0Eイチ	1.5mm 4.6mm*
	フロントカミアツ センタク	オート* マニュアル1レンジ マニュアル2レンジ マニュアル3レンジ マニュアル4レンジ マニュアル5レンジ マニュアル6レンジ マニュアル7レンジ マニュアル8レンジ マニュアルAレンジ マニュアルBレンジ マニュアルCレンジ マニュアルDレンジ マニュアルEレンジ

モード	設定項目	設定値
フロントモード	フロントカミアツ	45mm(1.8")*
セッティ	イチ	101.6mm(4")
リアモード	リアT0Fイチ	ユーザーシティイチ
セッティ		0.3mm~20.3mm (初期値は6.8mm)
リアカットモード	シュドウ*	ジドウ
	リアP0w0n	ゲンザイイチ*
	ヨウシイチ	カットイチ
	リアP0Eイチ	1.5mm 4.6mm*
	リアカミアツセンタク	オート* マニュアル1レンジ マニュアル2レンジ マニュアル3レンジ マニュアル4レンジ マニュアル5レンジ マニュアル6レンジ マニュアル7レンジ マニュアル8レンジ マニュアルAレンジ マニュアルBレンジ マニュアルCレンジ マニュアルDレンジ マニュアルEレンジ
	リアカミアツイチ	45mm(1.8")* 101.6mm(4")

FM モードの設定項目

FMモードのときは、次の項目を設定できます。（＊は、初期設定値です。）

モード	設定項目	設定値	モード	設定項目	設定値
コマンドキノウ	ホストインタ	AT*	テサシモード	テサシT0Fイチ	ユーザーシティイチ
セッティ	フェース	RSV1	セッティ		0.3mm~20.3mm (初期値は20.3)
		RSV2			
	モードセッティ	ESC/Pモード*	オート		0.5 Sec
		FMモード	ローディング		1.0 Sec*
		RSV3			2.0 Sec
	FFキノウ	ハイシユツ*	ムコウ		
		ページジョウオクリ	テサシキュウシ		ツウジョウ*
インジモード	タテカクダイインジ	リョウホウコウインジ*	ソクド		ティソク
セッティ		カタホウコウインジ	テサシスキー		ムコウ
	イメージインジ	リョウホウコウインジ*	ケンシユツ		ユウコウ*
	ホウコウ	カタホウコウインジ	テサシハイシユツ		テマエハイシユツ*
	テイシンドウモード	ムコウ*	ホウコウ		コウホウハイシユツ
		ユウコウ	テサシカミアツ		オート*
	コウフクシャインジ	ムコウ*	センタク		マニュアル1レンジ
		ユウコウ			マニュアル2レンジ
ハードウェア	パイタイキリカエ	カットオクリナシ*			マニュアル3レンジ
セッティ	ドウサ	カットオクリアリ			マニュアル4レンジ
	カールナラシドウサ	ムコウ			マニュアル5レンジ
		ユウコウ*			マニュアル6レンジ
	チョウヒヨウオクリ	ツウジョウ*			マニュアル7レンジ
	ソクド	ティソク			マニュアル8レンジ
	リボンマスクホゴ	ムコウ*			マニュアルAレンジ
		ユウコウ			マニュアルBレンジ
	ブザー	ユウコウ*			マニュアルCレンジ
		ムコウ			マニュアルDレンジ
	ヘッドコウカン	ユウコウ*			マニュアルEレンジ
	ヒヨウジ	ムコウ	テサシカミアツイチ	45mm(1.8")*	
	ヘッドカウンタ	XXX		101.6mm(4")	
ヨウシセンタク	カタシヨハクリヨウ	1.5mm*	CSFモード	CSF T0Fイチ	ユーザーシティイチ
モード		4.6mm	セッティ		0.3mm~20.3mm (初期値は20.3mm)
		13.1mm			
	カミハバセイギョ	ムコウ	CSFスキー		ムコウ*
		ユウコウ*	ケンシユツ		ユウコウ
			CSFハイシユツ		テマエハイシユツ
			ホウコウ		コウホウハイシユツ*
			CSFギャップドウサ		マイカイ
					ツウジョウ*

モード	設定項目	設定値
CSFモード セッティ	CSFカミアツ センタク	オート* マニュアル1レンジ マニュアル2レンジ マニュアル3レンジ マニュアル4レンジ マニュアル5レンジ マニュアル6レンジ マニュアル7レンジ マニュアル8レンジ マニュアルAレンジ マニュアルBレンジ マニュアルCレンジ マニュアルDレンジ マニュアルEレンジ
	CSFカミアツイチ	45 mm (1.8")* 101.6 mm (4")
フロントモード セッティ	フロントT0Fイチ	ユーザーシティイチ 0.3 mm~20.3 mm (初期値は20.3 mm)
	フロントカット	シュドウ*
	モード	ジドウ
フロントP0w0n ヨウシイチ	ゲンザイイチ*	
フロントP Eイチ	1.5 mm 4.6 mm*	
フロントカミアツ センタク	オート* マニュアル1レンジ マニュアル2レンジ マニュアル3レンジ マニュアル4レンジ マニュアル5レンジ マニュアル6レンジ マニュアル7レンジ マニュアル8レンジ	

モード	設定項目	設定値
フロントモード セッティ	フロントカミアツイチ	マニュアルAレンジ マニュアルBレンジ マニュアルCレンジ マニュアルDレンジ マニュアルEレンジ
	101.6 mm (4")	
リアモード セッティ	リアT0Fイチ	ユーザーシティイチ 0.3 mm~20.3 mm (初期値は20.3 mm)
	リアカットモード	シュドウ* ジドウ
リアP0w0n ヨウシイチ	ゲンザイイチ*	
リアP Eイチ	1.5 mm 4.6 mm*	
リアカミアツ センタク	オート* マニュアル1レンジ マニュアル2レンジ マニュアル3レンジ マニュアル4レンジ マニュアル5レンジ マニュアル6レンジ マニュアル7レンジ マニュアル8レンジ マニュアルAレンジ マニュアルBレンジ マニュアルCレンジ マニュアルDレンジ マニュアルEレンジ	
リアカミアツイチ	45 mm (1.8")* 101.6 mm (4")	

機能の解説

機能設定で変更できる設定の内容について説明します。

設定項目の一覧は「設定項目の一覧」(68ページ)を、設定方法について
は「機能設定の変えかた」(79ページ)を参照してください。

:サポート - :未サポート

コマンド機能設定

設定項目	FM	ESC/P	内 容
ホストインターフェース (注1)	-	-	パソコンに接続したときに使用するインターフェースを設定します。 常にATに設定してください。 RSV1、RSV2は予備項目のため設定しないでください。動作に支障をきたす場合があります。
モードセッティ (注1)			電源を入れたときの動作モードを設定します。ESC/Pモードのときは、「ESC/P」ランプが点灯します。 RSV3は予備項目のため設定しないでください。動作に支障をきたす場合があります。
FFキノウ			単票手差しモードのときにFF(改頁)コードを受信したときの動作を選択します。
ANKコードヒヨウ	-		ANK文字コード表の拡張グラフィックスコード、またはカタカナコードのどちらを使用するかを選択します。
ANKモジヒンイ	-		ANK文字の文字品位を選択します。
CRキノウ	-		CRコードを受信したときの動作を指定します。
ゼロフォント	-		30H ANKコードを受信したときの印字フォントパターンを選択します。
ANKフォント	-		ANK書体を選択します。書体選択コマンドによって書体が選択されない場合、本設定の書体を選択します。
DC1/DC3	-		DC1/DC3コードの有効/無効を選択します。
タンピョウボトム	-		単票手差しモード、および単票自動給紙モードでのボトム検出時の排出条件を選択します。

注1: FMPR5300Eでは、表示されません。

印字モード設定

設定項目	FM ESC/P	内 容
タテカクダイインジ		行内に縦2倍拡張印字データが存在するときの印字方向を選択します。
イメージインジホウコウ		行内にイメージデータが存在するときの印字方向を選択します。
テイシンドウモード		印字時のスキップ動作の振動を抑える低振動機能を、有効にするか否かを選択します。
PowOnカンジモード	-	電源投入時の漢字モード設定 / 解除を選択する。 本設定の内容は、電源投入時にのみ有効です。
コウフクシャインジ		電源投入時、プリンタを高複写印字モードにするか否かを選択します。 本設定の内容は、電源投入時にのみ有効です。

ハードウェア設定

設定項目	FM ESC/P	内 容
ジュシンバッファ	-	受信バッファを使用するか、しないかを選択します。
バイタイキリカエドウサ		用紙の種類を切り替えたときに、帳票用紙の用紙カット動作をするか否かを選択します。
カールナラシドウサ		単票用紙を吸入したとき、または改行したときに、先端をならす動作を行うか否かを設定します。
チョウヒヨウオクリソクド		連続帳票用紙に印字するときの改行スピードを選択します。
リボンマスクホゴ		連続帳票用紙に印字するとき、毎改行ごとにカードガイドの孔位置を、用紙のスプロケット孔位置からずらすか否かを選択します。
ソウホウコウI/F	-	双方向インターフェースの有効 / 無効を選択します（「ムコウ」を選択するとPlug&Playはできません）。
AUTO FEED XT	-	AUTO FEED XT信号の有効 / 無効を選択します。
SLCT IN	-	SLCT IN信号の有効 / 無効を選択します。
エラーシンゴウセイギョ	-	アラーム発生時のエラー信号制御の有効 / 無効を選択します。

設定項目	FM ESC/P	内 容
I / Fタイミング	-	インターフェースのACK/BUSY信号のタイミングを選択します。 A-B-A : ACK送信中にBUSY信号が“L”になります。 *ACK信号  BUSY信号 
A-B		ACKパルスの後端でBUSY信号が“L”になります。 *ACK信号  BUSY信号 
ブザー		ブザーを鳴らすか鳴らさないかを選択します。
ヘッドコウカンヒョウジ		印字ヘッドの交換時期が近くなったとき、電源投入時に、プリンタの表示パネルに5秒間アラーム表示するか否かを選択します。
ヘッドカウンタ		印字ヘッドの交換時期を100とした整数で表示します。

用紙選択モード

設定項目	FM ESC/P	内 容
ページチョウ	-	用紙長を選択します。 CSF自動給紙モードは558.8mm(22インチ)固定となります。
ミシンメスキップ	-	連続帳票用紙のミシン目スキップ長を指定します。 次の場合、本機能は動作しません。 <ul style="list-style-type: none">• ESC/Pモードのときに、用紙サイズを不定形に設定した場合• FMモードのとき
カタンヨハクリヨウ		単票用紙の排出検出位置を、用紙の余白量で設定します。
カミハバセイギョ		紙幅センサで検出した用紙幅を超える印字データの制御のしかたを指定します。
インジハバ	-	1行の最大印字字符を選択します。

手差しモード設定

設定項目	FM ESC/P	内 容
テサシTOPイチ		単票手差しモード時の上端余白量を、0.5mm単位で選択します。 カットシートフィーダモード時に手差しで給紙した場合は、本設定に従います。
オートローディング		単票用紙が単票テーブルに置かれてから、用紙の吸入が開始されるまでの時間を設定します。 「ムコウ」を選択した場合は、スイッチ操作による手差し給紙となります。
テサシキュウシソクド		単票用紙を手差しでセットしたときの給紙速度を選択します。
テサシスクーケンシュツ		単票用紙を手差しでセットしたときに、斜行を検出するかどうかを選択します。
テサシハイシュツホウコウ		単票手差しモードのときの排紙方向を選択します。 CSFモード時に手差しで給紙した場合は、CSFモードの設定「CSFハイシュツホウコウ」に従います。 ESC/Pモードのときに用紙サイズを不定形に設定した場合、本機能は動作しません。
テサシPAPER END -		単票手差しモードのときに、用紙がなく、かつ保持データがない場合、プリンタをオンライン状態にするか、オフライン状態にするかを選択します。
テサシカミアツセンタク		単票手差しモードのギャップの紙厚測定モードを選択します。CSFモード時に手差しで給紙した場合は、本設定に従います（詳細は「用紙厚を調整する」（98ページ）を参照）。
テサシカミアツイチ		単票手差しモードのときに、オートギャップ動作を行う位置を、左端からの長さで選択します。 CSFモード時に手差しで給紙した場合は、本設定に従います。

CSF モード設定

設定項目	FM ESC/P	内 容
CSF_TOFイチ		単票CSFモード時の上端余白量を、0.5mm単位で選択します。 CSFモードのときに手差しで給紙した場合は、手差しモード設定の「テサシTOFイチ」に従います。
CSFスキューケンシュツ		単票用紙をカットシートフィーダにセットしたときに、斜行を検出するか否かを選択します。
CSFハイシュツホウコウ		単票自動給紙モードのときの排紙方向を選択します。
CSFギャップドウサ		単票自動給紙モードで用紙吸入時、オートギャップ動作を毎回行うか、通常どおりに行うかを選択します。
CSFカミアツセンタク		単票自動給紙モードのギャップの紙厚測定モードを選択します。 CSFモード時に手差しで給紙した場合は、手差しモード設定の「テサシカミアツセンタク」に従います。
CSFカミアツイチ		単票自動給紙モードのときにオートギャップ動作を行う位置を、左端からの長さで選択します。 CSFモード時に手差しで給紙した場合は、手差しモード設定の「テサシカミアツイチ」に従います。

フロントモード設定

設定項目	FM ESC/P	内 容
フロントT0Fイチ		帳票フロントトラクタモード時の上端余白量を、0.5mm単位で選択します。
フロントカットモード		帳票フロントトラクタモードでの印刷終了ごとにミシン目カット位置への移動方法を選択します。
フロントP0w0nヨウシイチ		帳票フロントトラクタモードの場合、電源投入時に用紙があった場合の用紙位置を選択します。
フロントP Eイチ		帳票フロントトラクタモードのペーパエンド位置を、用紙余白量で選択します。
フロントカミアツセンタク		帳票フロントトラクタモードの紙厚測定モードを選択します。
フロントカミアツイチ		帳票フロントトラクタモードのオートギャップ動作を行う位置を、左端からの長さで選択します。

リアモード設定

設定項目	FM ESC/P	内 容
リアT0Fイチ		帳票リアトラクタモード時の上端余白量を、0.5mm単位で選択します。
リアカットモード		帳票リアトラクタモードのミシン目カット位置への移動方法を選択します。
リアP0w0nヨウシイチ		帳票リアトラクタモードにおいて、電源投入時に用紙の余白量で選択します。
リアP Eイチ		帳票リアトラクタモードのペーパエンド位置を、用紙の余白量で選択します。
リアカミアツセンタク		リアトラクタモードの紙厚測定モードを選択します。
リアカミアツイチ		リアトラクタモードのオートギャップ動作を行う位置を、左端からの位置で選択します。

機能設定の変えかた

機能設定を変更するときの操作方法について説明します。機能設定を変更できる状態を機能設定モードと呼びます。

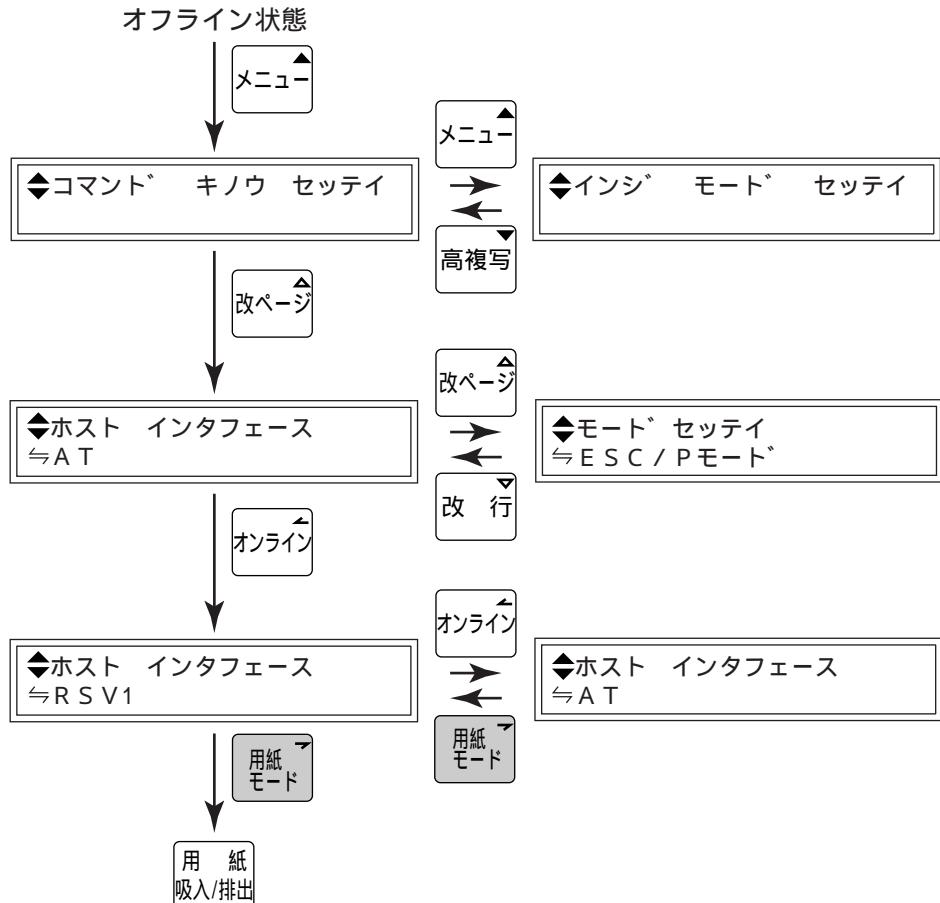
基本的な操作

機能設定モードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示パネルに表示させ、設定します。設定値までのレベルは、モード 設定項目 設定値の3階層になっています。

機能設定モードでは、次のスイッチを使用します。

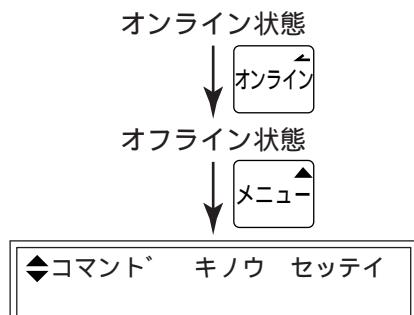
スイッチ	機能
メニュー	プリンタを機能設定モードにします。
	機能設定モードのときは、モードを1つ進めます。最後のモードのときは、最初のモードに戻ります。
高複写	モードを1つ戻します。最初のモードのときは、最後のモードに戻ります。
オンライン	設定値を順方向に1つずつ切り替えます。最後の設定値のときは、最初の設定値に戻ります。
用紙モード	設定値を逆方向に切り替えます。最初の設定値のときは、最後の設定値に戻ります。
改ページ	設定項目を順方向に1つずつ切り替えます。最後の設定項目のときは、最初の設定項目に戻ります。
改行	設定項目を逆方向に切り替えます。最初の設定項目のときは、最後の設定項目に戻ります。
用紙吸入／排出	機能設定モードを終了します。

上の表の順方向は、「設定項目の一覧」(68ページ)に掲載しているのと同じ順番であることを意味します。

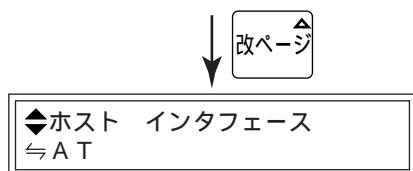


設定値を決める操作

具体的な操作方法を以下に示します。

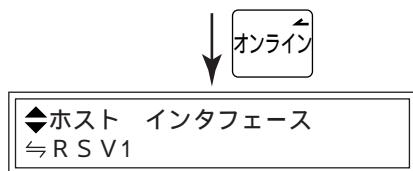


- 1 オフライン状態で「メニュー」スイッチを押し、機能設定モードにする
目的のモードが表示されるまで「メニュー」または「高複写」スイッチを押します。



2 「改ページ」または「改行」スイッチで設定項目を切り替える

目的の設定項目が表示されるまで、「改ページ」または「改行」スイッチを押します。



3 「オンライン」または「用紙モード」スイッチで設定値を切り替える

目的の設定値が表示されるまで、「オンライン」または「用紙モード」スイッチを押します。



4 2~4の操作を繰り返して、必要な設定を行う

5 「用紙吸入／排出」スイッチを押して、変更を確定し、機能設定を終了する



調整する

ここでは行間ずれ、単票用紙の時の改行量、およびリアトラクタの時の改行量を補正することができます。

調整メニュー

設定項目	FM ESC/P	内 容
PRINT REG LOW		低速印字速度行間ずれの補正。 両方向印字時リバース方向の印字ドット位置を、1/360 インチ単位で左右±5 移動します。
PRINT REG NORM		通常印字速度行間ずれの補正。 両方向印字時リバース方向の印字ドット位置を、1/360 インチ単位で左右±5 移動します。
PRINT REG HIGH1		高速印字速度行間ずれの補正。 両方向印字時リバース方向の印字ドット位置を、1/360 インチ単位で左右±5 移動します。
PRINT REG HIGH2		高速印字速度行間ずれの補正。 両方向印字時リバース方向の印字ドット位置を、1/360 インチ単位で左右±5 移動します。
タンピョウLFピッチ		単票給紙後の改行量を補正します。 1/360 インチ単位で上下±10 補正します。
リアLFピッチ		リアトラクタ給紙後の改行量の補正をします。 連続帳票用紙吸入時の最初の6インチ内で、 +14(+3.03mm)から -7(補正なし)まで補正します。
設定の目安		推奨設定値は、用紙の幅と厚さにより異なります。
		・ 1P用紙、幅10インチ以下 5P以下.....0
		・ 幅10インチ以下 6P、幅10インチ以上 3P.....+3
		・ 幅10インチ以上 4P.....+7

調整のしかた

- 1 用紙を吸入した状態で、プリンタの電源スイッチを切る
用紙は、A4サイズ以上の単票の縦、または15インチ幅の連続帳票を使用します。
- 2 「オンライン」「改ページ」「高複写」の3つのスイッチを押したままの状態で電源を入れ、プリンタを調整メニューにする
表示パネルに『スイッチヲ ニンシキシマシタ』と出るまでスイッチを押し続けます。自動的に調整項目と設定値が印字され、「タンピョウLFピッチ」の表示になります。
- 3 「改ページ」または「改行」スイッチで設定項目を切り替える
項目を切り替えるごとに、現在の設定値で印字されます(タンピョウLFピッチ、リアLFピッチは印字されません)。
- 4 「オンライン」または「用紙モード」スイッチを押し、設定値を調整する
変更したい項目が印字されたら、「オンライン」または「用紙モード」スイッチを押します。スイッチを押すたびに設定値が表示され、さらに現在の設定値で印字されます(タンピョウLFピッチ、リアLFピッチは印字されません)。
- 5 手順3～4の操作を繰り返して、必要な調整を行う
- 6 「用紙吸入／排出」スイッチを押して、調整を確定し、調整メニューを終了する

ガイド

- ・調整中は、「オンライン」ランプが点滅します。
- ・調整を確定する(「用紙吸入／排出」スイッチを押す)前に電源切ると、調整結果は無効となります。
- ・調整中に用紙がなくなった場合は、新しい用紙をセットすれば調整を続行することができます。

現在の設定を印刷する

現在設定されている内容を印刷するときは、次の操作をします。

- 1 用紙を吸入した状態で、プリンタの電源スイッチを切る
用紙は、A4サイズ以上の単票の縦、または15インチ幅の連続帳票を使用します。
- 2 「オンライン」と「用紙モード」スイッチを押しながら、電源を入れる表示パネルに『スイッチヲ ニンシキシマシタ』と出るまでスイッチを押し続けます。

現在の設定内容が印刷されます。

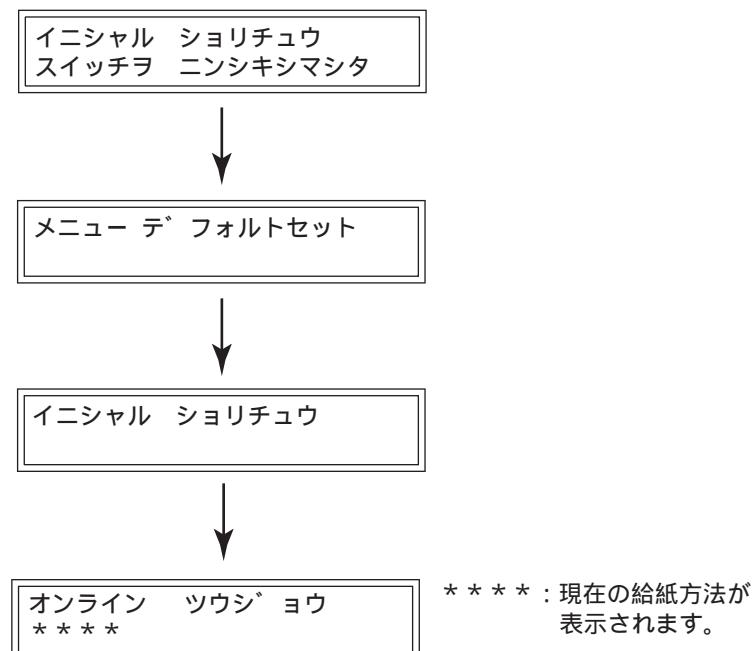
ガイド

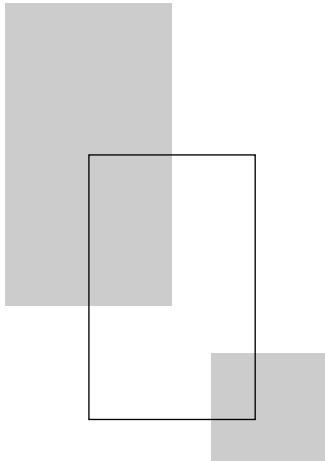
- ・設定項目および設定値は、すべて英数カナ文字で印字されます。
- ・途中で用紙がなくなった場合は、新しい用紙をセットすれば印刷を続行することができます（用紙吸入後に「オンライン」スイッチを押します）。

初期値に戻す

現在の設定内容を工場出荷時の初期値に戻します。

「オンライン」と「機能切換え」スイッチを押しながら、電源を入れる電源を入れると、表示パネルが次のようになります、設定が初期値に戻ります。



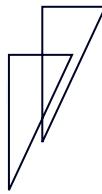


第4章

用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかたを、連続帳票用紙と単票用紙に分けて説明します。

連続帳票用紙をセットする	86
セットのしかた	87
連続帳票用紙の置きかた	91
単票用紙をセットする	93
連続帳票用紙を外さずに単票用紙をセットする	97
用紙厚を調整する	98



連続帳票用紙をセットする

ここでは、連続帳票用紙をセットする方法を説明します。

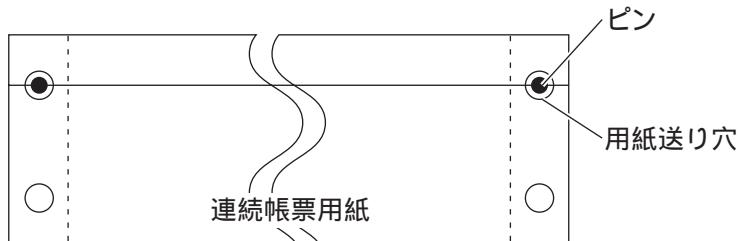
ガイド

- セットした用紙を排出するには、次の方法があります。
 - 用紙が印字開始位置にあるときは、「用紙カット」スイッチを押します。用紙がカット位置まで送られます。
 - オフライン状態にして「改ページ」スイッチを押します。1ページ分の用紙が送られます。
- トラクタユニット（オプション）をご使用になるときに用紙をセットする方法については、トラクタユニットの取扱説明書をご覧ください。

お願い

用紙詰まりを防ぐために、次の点に注意してください。

- 用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないようにトラクタの幅を調整してください（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします）。
- 特殊連続帳票（ハガキ連続帳票、タック紙連続帳票など）は、最後のページが送られないことがあります。最後のページになったときは、新しい帳票をセットし直してください。



セットのしかた

連続帳票用紙をセットするときは、次の手順で行います。

- 1 プリンタの電源を入れ、フロントトラクタモードにする
電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

プリンタをオフライン状態にし、操作パネルの「用紙モード」スイッチでプリンタをフロントトラクタモードにします。

- 2 用紙厚を調整する

手動で用紙厚を調整する場合は、セットする用紙の厚みに合わせて、用紙厚を調整します。

本プリンタは使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能をもっています。通常は紙厚調整の必要はありません。

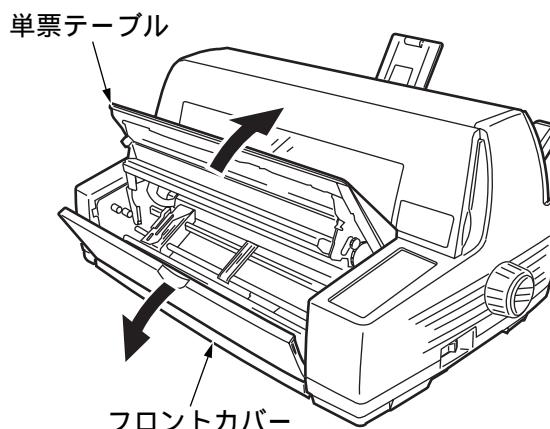
用紙厚の調整については、「用紙厚を調整する」(98ページ)を参照してください。

ガイド

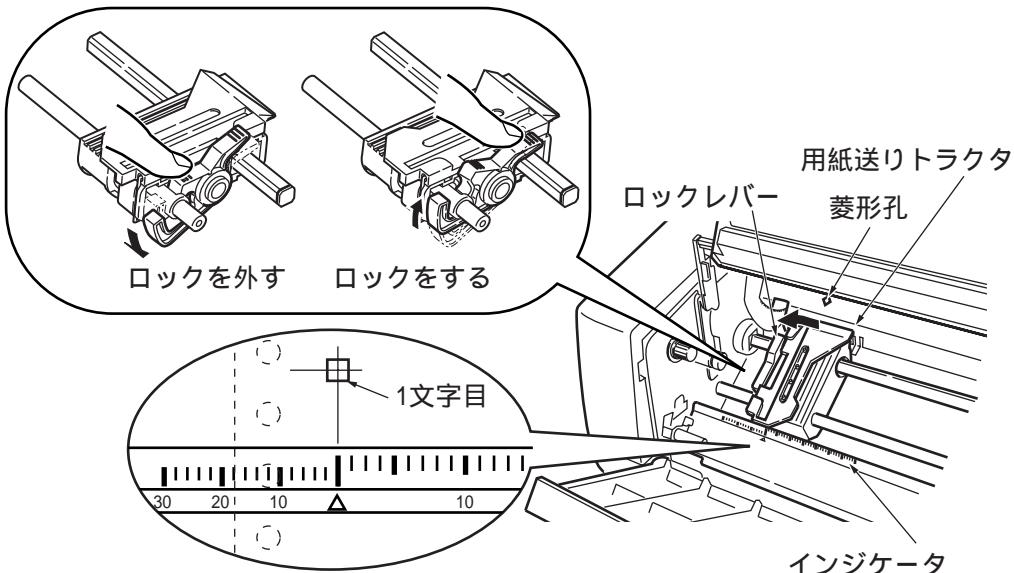
用紙厚は正しく設定してください。用紙に対して正しく設定されていないと、きれいに印字できないことがあります。

- 3 単票テーブルおよびフロントカバーを開ける

単票テーブルを持ち上げ、フロントカバーを下方に開きます。



4 左側の用紙送りトラクタのロックレバーのロックを外し、印字位置を合わせて用紙送りトラクタをロックする
インジケータに合わせて用紙送りトラクタを移動し、印字位置を合わせてロックレバーをロックします。



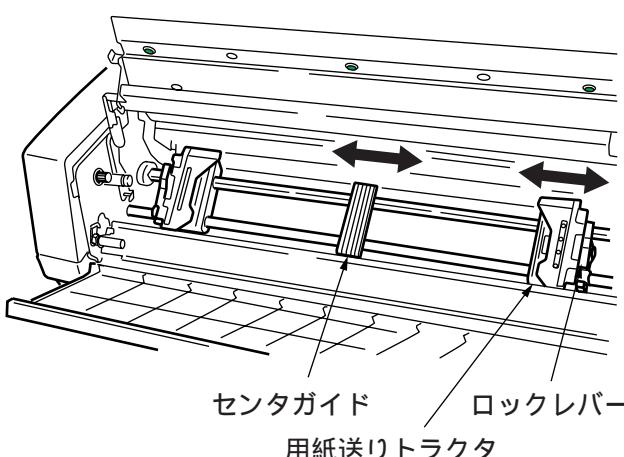
ガイド

目盛り「△」は1文字目の中心を示します。左側の目盛りは2mm間隔になっています。

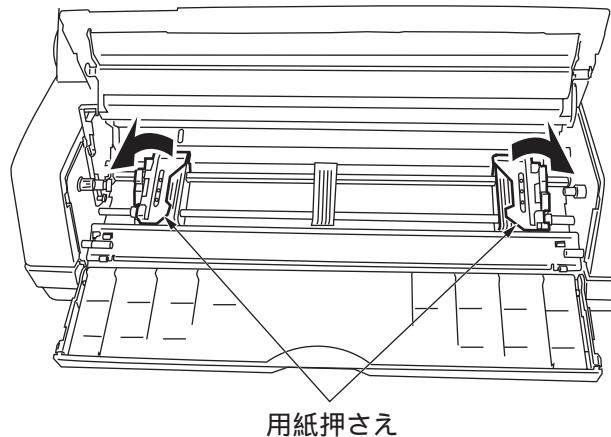
また、用紙送りトラクタの上にある菱形孔(△)も1文字目の中心を示します。

5 前方から見て右側にある用紙送りトラクタのロックを外す

右側の用紙送りトラクタを用紙の幅に合わせて動かします。また、用紙のたるみを防ぐため、センタガイドを用紙幅の中心になるようにセットします。センタガイドの移動は、センタガイドの手前を持ち上げて金属軸から取り外した後、適切な位置で手前を押して固定します。



6 用紙押さえを開く

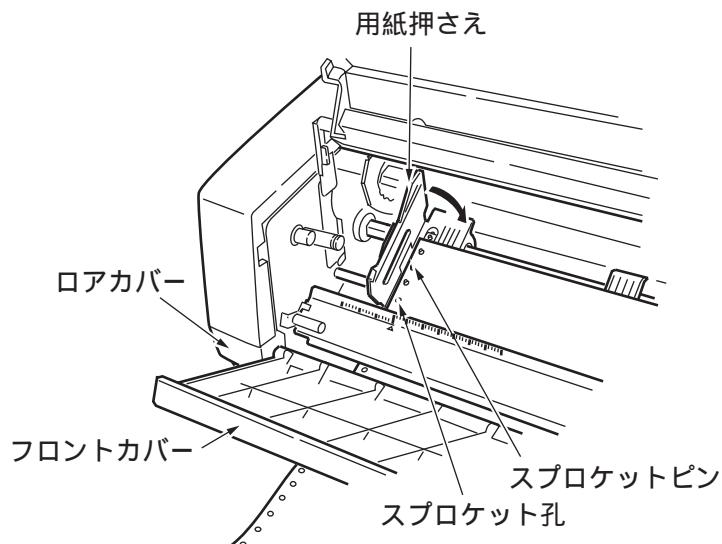


用紙押さえ

7 用紙押さえに用紙をはさむ

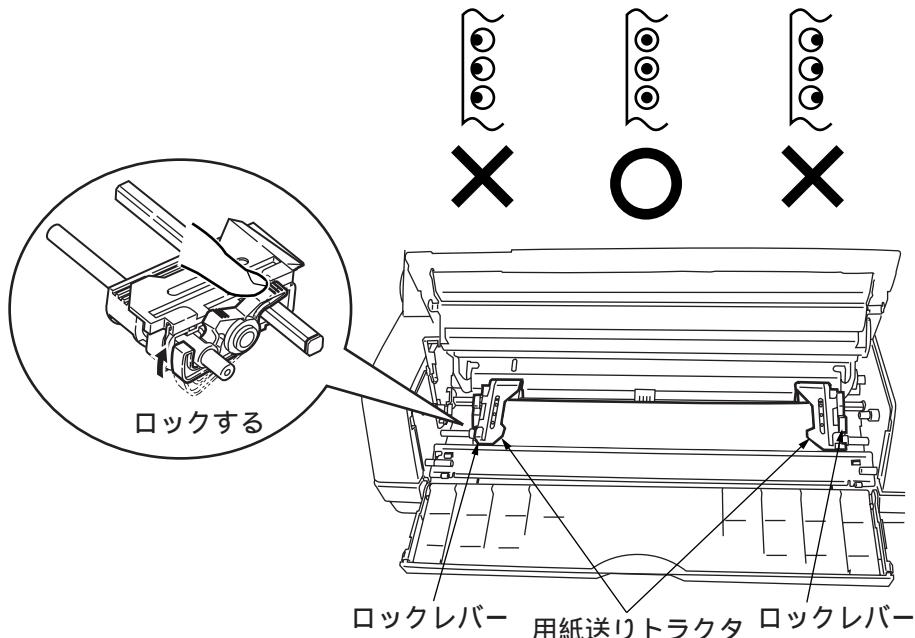
印字する面を上にして、ロアカバーとフロントカバーの間から用紙を入れて用紙先端を用紙押さえのスプロケットピンに用紙のスプロケット孔を入れ、用紙押さえを閉じます。

その際、左右のスプロケットピンと用紙左右のスプロケット孔が平行になるようにセットしてください。



8 用紙の張り過ぎや、たるみ過ぎがないように注意しながら、右側の用紙押さえを用紙幅に合わせ、ロックレバーをロックする
右側の用紙送りトラクタを、用紙が軽く張るくらいに右へ動かします。
ロックレバーを矢印方向に倒して、用紙送りトラクタを固定します。

用紙のスプロケット孔に対するスプロケットピンの位置



9 フロントカバー、単票テーブルの順に閉じる

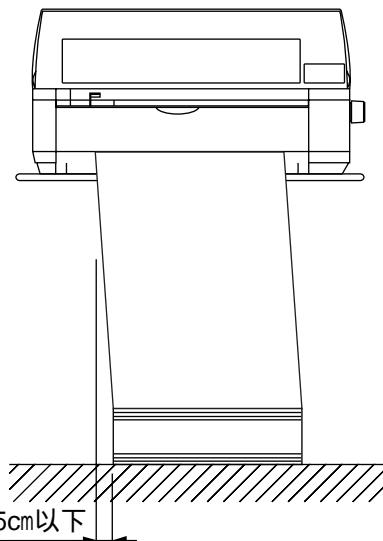
10 印字開始位置に用紙をセットする

「用紙吸入／排出」スイッチを押します。用紙が印字開始位置まで送られ、プリンタはオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）になります。

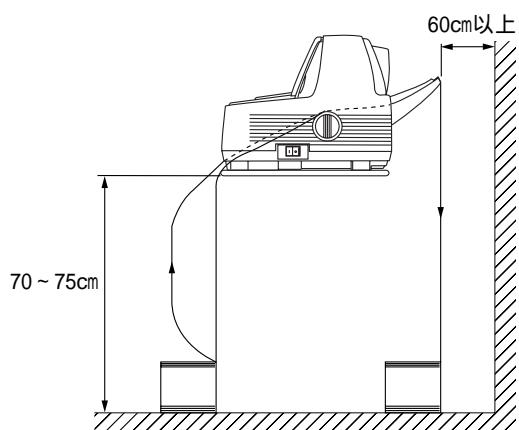
連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙を置くときは、次の点に注意してください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

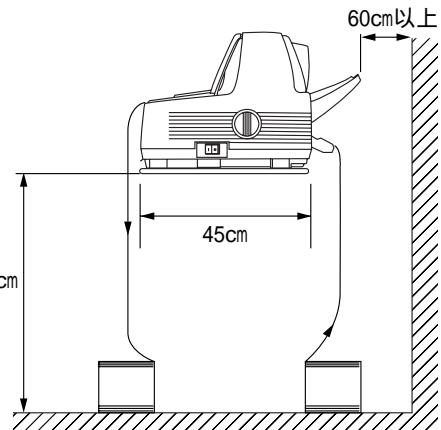
- ・ プリンタを置く机の高さは70～75cmを標準とします。
用紙は用紙送行路に沿って、できるだけ平行に置いてください。
左右のズレは5cm以下になるようにしてください。



- ・ 前連続帳票用紙と机の縁が当たらない
ようにしてください。
- ・ 前連続帳票用紙と後連続帳票用紙が机
の縁に当たらないようにしてください。



フロントトラクタの場合



リアトラクタの場合

ガイド

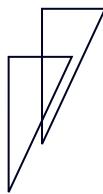
プリンタの置き台には以下のプリンタラック(プリンタデスク)を推奨します。

販売：富士通コワーコ

名称：プリンタラック R P X - 5 1

商品番号：1 5 0 9 0 2 1

一般の机を使用する場合、机の縁は、用紙の引っ掛けを防ぐため、丸みのあるものにしてください。また、フロント / リアの両方の連帳バスを使用するときは、奥行きが40 ~ 50cmの机を使ってください。奥行きが広い机を使うと改行乱れ等の原因になります。



単票用紙をセットする

ここでは、単票用紙をセットする方法を説明します。

ガイド

- ・セットした用紙を排出するには、オフライン状態にして「用紙吸入／排出」スイッチを押します。
- ・連続帳票用紙をセットしたまま単票用紙をセットするときは、「用紙モード」スイッチで単票モードに設定すると用紙送りトラクタまで自動的に用紙が後退します。
印字済みの連続帳票用紙を切り取ってから単票用紙をセットしてください。
- ・カットシートフィーダ（オプション）をご使用になるときの用紙をセットする方法は、カットシートフィーダの取扱説明書をご覧ください。

単票用紙をセットするときは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れ、テサシモードにする

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

プリンタをオフライン状態にし、操作パネルの「用紙モード」スイッチで、プリンタをテサシモードにします。

2 用紙厚を調整する

手動で用紙厚を調整する場合はセットする用紙の厚みに合わせます。

本プリンタは、使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能を装備しており、通常は紙厚調整の必要はありません。

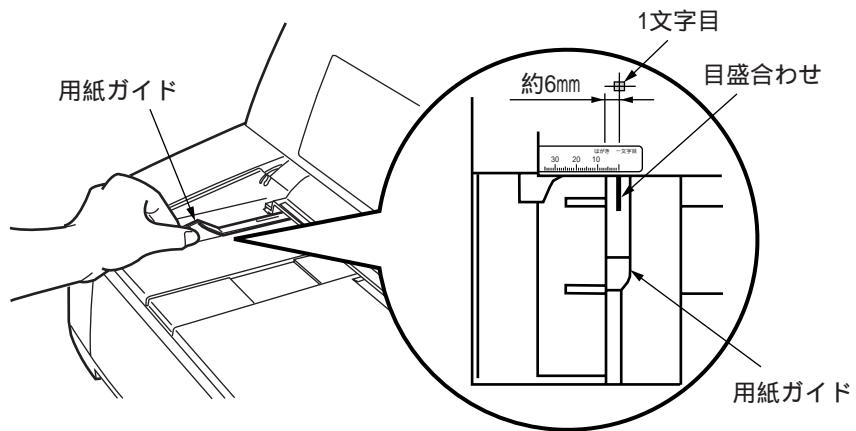
用紙厚の調整については、「用紙厚を調整する」（98ページ）を参照してください。

お願い

用紙厚は正しく設定してください。用紙に対して正しく設定されていないと、きれいに印字できないことがあります。

3 用紙ガイドを用紙の幅に合わせる

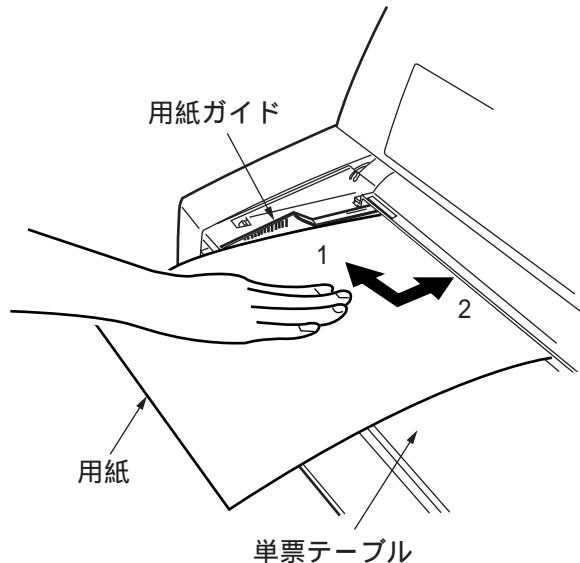
単票テーブルの用紙基準位置(桁スケール)に合わせて、左側の用紙ガイドを動かします。



ガイド

- 目盛りの右端の「」は1文字目の中心を示します。目盛りの「」マークは、1文字目の中心(「」)から6.35mmの位置を示します。
- 目盛りは1mm間隔です。
- 続けて同じ条件で用紙をセットする場合、2枚目以降については、この操作は不要です。
- はがきやはがきより小さい用紙の場合、「」より左へ移動して使用すると、用紙が斜めに吸入される場合があります。

4 用紙は印刷する面を上にし、左端面を用紙ガイドに合わせ、奥に突き当たるまでまっすぐ差し込む
用紙は自動的に吸入されます。

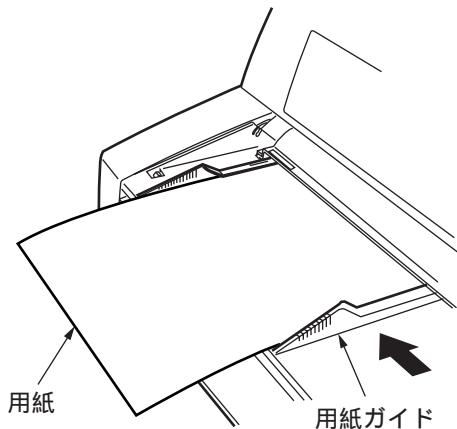


お願い

- 用紙はまっすぐに差し込んでください。用紙が曲がって吸入されると、用紙づまりの原因となります。
- 複写紙は、のりづけされた側からプリンタに差し込む天のり用紙をご使用ください。
- 束のりとじの用紙は、とじ力が弱いので使用は避けてください。
- 複写紙など厚い紙の場合は、自動的に吸入されるまで奥に軽く突き当ててください。また、リアスタッカへ排出してください。
- 封筒はフラップ部を折り返さずに使用してください。
- 印刷済みの用紙をリアスタッカにためすぎないようにしてください。総紙厚が16mm程度になったら、たまつた用紙を取り除いてください。
- 用紙が斜めに吸入されると、斜行検知機能により、用紙セット位置まで用紙を排出します。用紙を正しくセットし直してください。
- カットシートフィーダを取り付けているときは、オートロードは無効です。
- 左側が棒のりづけされている伝票を単票手差しモードでセットするときは、のりづけされていない部分より、のりづけされている部分の方をやや強く押しながら「用紙吸入／排出」スイッチを押してください。

ガイド

- 右側の用紙ガイドを用紙幅に合わせるとセットしやすくなります。



- 用紙をセットしてから自動的に吸入されるまでの時間や吸入するときの速度は、機能設定で変更できます(「機能設定を変える」(68ページ)参照)。
なお、自動的に吸入されるまでのオートローディング時間が短い(0.5秒など)場合は、斜めに吸入されやすいので設定を変更してください。



連続帳票用紙を外さずに 単票用紙をセットする

本プリンタでは、連続帳票用紙を外さずに単票用紙に印字することができます。

前方、後方どちらのトラクタにセットされていても単票に切り替えると、連続帳票用紙は、退避位置まで後退します。

単票用紙を使用する場合

連続帳票用紙がセットされた状態から単票用紙をセットする場合は、モードを切り替えて連続帳票用紙を退避させます。

1 「テサシ」モードにする

オフライン状態にして「用紙モード」スイッチを押し、「テサシ」モードにします。

ガイド

- ・連続帳票用紙がプリンタ内に残っていると、「テサシ」モードになります。
- ・「用紙吸入/排出」スイッチを押すと連続帳票用紙が後退します。このときまだプリンタ内に連続帳票用紙が残っているときは、もう一度「用紙吸入/排出」スイッチを押してください。

2 単票用紙をセットする

93ページからの手順にしたがって、単票用紙をセットします。

連続帳票用紙を使用する場合

単票用紙の印字後、連続帳票用紙を印字する場合は次の操作をします。

1 単票用紙を取り除く

プリンタ内に単票用紙が残っているときは、オフライン状態にして「用紙吸入/排出」スイッチを押し、用紙を排出させます。

2 フロントトラクタモードにする

オフライン状態にして「用紙モード」スイッチを押し、フロントトラクタモードにします。

フロントトラクタモードになると、連続帳票用紙が印字開始位置に自動的にセットされます。



用紙厚を調整する

本プリンタには、使用する用紙の厚さを自動的に検出し、最適な印字圧に調整する機能があります。また、用紙厚の調整を手動で任意に行うことができます。

用紙厚を任意に調整するときは、次の操作を行います。

1 プリンタをオフライン状態にする

2 用紙厚調整モードにする

「機能切換え」スイッチを押しながら「高複写」スイッチを押すと表示パネルに「ギャップ セッティ」と表示され、用紙厚調整モードになります。

3 用紙の種類、枚数に合わせてレンジを選択する

「機能切換え」スイッチを押したまま「高複写」スイッチを押すと、用紙厚の設定レンジが変わります。

用紙の種類および枚数に合わせて、用紙厚のレンジを下表に従って設定してください。

用紙種類	用紙厚設定のレンジ												
	1	2	3	4	5	6	7	8	A	B	C	D	E
単紙 連量 45 ~ 70kg (52 ~ 81g/m ²)未満													
連量 70 ~ 110kg (81 ~ 128g/m ²)未満													
連量 110 ~ 135kg (128 ~ 156g/m ²)未満													
はがき													
複写紙 連量 34kg (40g/m ²)	2枚												
のノン	3枚												
カーボン紙	4枚												
	5枚												
	6枚												
	7枚												
	8枚												
用紙全体の厚さ (mm)	0.06	0.10	0.15	0.20	0.25	0.30	0.35	0.40	0.45	0.50	0.55	0.60	0.65
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	0.10	0.15	0.20	0.25	0.30	0.35	0.40	0.45	0.50	0.55	0.60	0.65	0.70

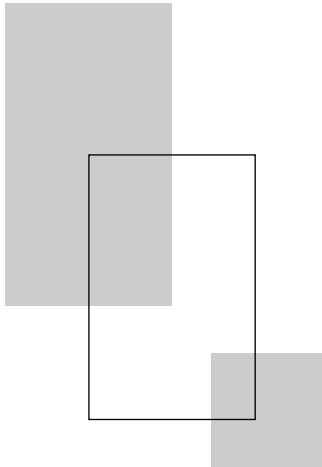
ガイド

- 用紙厚に対して用紙厚の調整が広すぎるとときは、印字のかすれや印字抜けが生じことがあります。
- 用紙厚に対して用紙厚の調整が狭すぎるとときは、次のような現象が起こります。
 - 印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドが故障する。
 - 用紙の端面が切れたり、しわになったりする。
 - 用紙の送りが悪くなる。
 - リボンによって用紙が汚れる。
 - キャリアが正常に動かない。
- レンジ7、8を設定するときは、プリンタを「高複写」モードに設定することをおすすめします。「通常印字」モードで印刷すると、一番下の用紙の文字が読めないことがあります(印字可能な複写紙の枚数は、通常印字モードのときは6枚、高複写モードのときは8枚です)。「高複写モード」時は、一行を2回で印刷するので、印刷速度が遅くなります。
- 用紙の厚さや用紙枚数によって印刷速度が変わります。

用紙厚設定レンジ	印字速度	備考
1～2	全角漢字 125字/秒	通常印字
3～4	全角漢字 115字/秒	通常印字
5～6	全角漢字 106字/秒	通常印字
7以上	全角漢字 100字/秒	通常印字

- 用紙の厚さや用紙枚数によって用紙改行速度が変わります。

用紙厚設定レンジ	改行速度	備考
1～2	12インチ/秒	-
3～6	9インチ/秒	-
7以上	6インチ/秒	ヨウヒヨウカリソド [®] をテイクに 設定時はこのレンジのみ 5インチ/秒となります

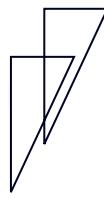


第5章

用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

連続帳票用紙	102
一般連続帳票用紙	102
はがき用紙	108
タック用紙	111
封筒用紙	114
宅配伝票	117
単票用紙	118
事務用上質紙	118
はがき	123
封筒	126
宅配伝票	128
カットシートフィーダ / トラクタユニットで使用できる用紙	129
カットシートフィーダで使用できる用紙	129
トラクタユニットで使用できる用紙	130
プレプリント用紙を使用するとき	134
取り扱い上のご注意	136



連続帳票用紙

本プリンタでは、次の連続帳票用紙を使用できます。

一般連続帳票用紙、はがき用紙、タック用紙、封筒用紙、伝票用紙

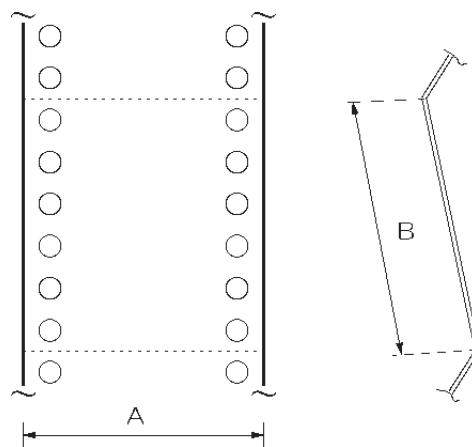
用紙の種類ごとに、条件と注意点を説明します。

一般連続帳票用紙

本プリンタでは、一般的な事務用の連続帳票用紙（スプロケット孔付き折りたたみ用紙）を使用できます。

寸 法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



寸 法

A	用紙幅	101.6 ~ 406.4mm(4 ~ 16 インチ)
B	用紙長さ	76.2 ~ 355.6mm(3 ~ 14 インチ)(注1)

注1：25.4mm（1インチ）の整数倍で、279.4mm（11インチ）を標準とします。

枚 数 (厚み)

本プリンタでは8枚(オリジナルを含む)までの複写紙を使用することができます。使用できる用紙の枚数と厚み(連量)は、下表のとおりです。なお、()内は高複写モード時の値です。

用紙の種類 複写枚数	最大 (注1)	連量 (kg)	用紙厚合計	備 考
一枚用紙	1枚	45 ~ 110		
ノン	6枚 (8枚)	34 (0.48mm以下)	0.36mm以下	
カーボン紙				
(注2)				
裏カーボン紙	6枚 (8枚)	34 (0.48mm以下)	0.36mm以下	
(注2)				
中カーボン紙	5枚 (6枚)	34 (0.48mm以下)	0.36mm以下 (0.48mm以下)	間のカーボン紙も1枚として数えます。

注1：連量とは、四六判(788 × 1091mm)の用紙1000枚の重量をkgで示したものです。

注2：ノンカーボン紙と裏カーボン紙の連量は、メーカにより異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでご使用ください。

注3：中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは0.03mm以下とします。

ガイド

- 複写紙はメーカにより特性が異なります。あらかじめ確認のうえ、ご使用ください。
- 用紙の枚数は、とじ方によっても制限されます(次ページ参照)。

連量の組み合わせ

連続帳票の複写紙において使用可能な連量の組み合わせを下表に示します。ただし、ベース紙(いちばん下側の用紙)は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。

下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどが、より発生しやすくなります。

最大複写枚数	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚	7枚	8枚
1枚目	34 ~ 55kg	34 ~ 43kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
2枚目	34 ~ 70kg	34 ~ 43kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
3枚目		34 ~ 70kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
4枚目			34 ~ 70kg	34kg	34kg	34kg	34kg
5枚目				34 ~ 70kg	34kg	34kg	34kg
6枚目					34 ~ 70kg	34kg	34kg
7枚目						34 ~ 70kg	34kg
8枚目							34 ~ 70kg

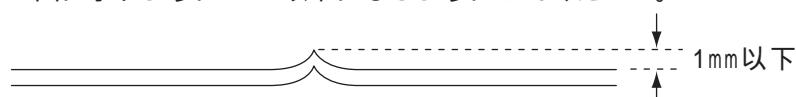
とじ方

連続帳票の複写紙は、次のとじ方のものを使用してください。

とじ方	()内は高複写 モード時	備 考
千鳥とじ	各層間で交互の位置にのりづけします。	6枚まで (8枚まで) <ul style="list-style-type: none">・本プリンタに最も適したとじ方です。・左の図は、帳票の片側のみ示しています。実際には両側をのりづけしてください。
ダブルギャザー	紙ホチキスでとじます。	6枚まで (8枚まで) <ul style="list-style-type: none">・用紙の枚数が多くなると用紙層のずれが出やすくなります。・左の図は、帳票の片側のみ示しています。実際には両側を紙ホチキスでとじてください。
千鳥とじ + ダブルギャザー	一方が千鳥とじ、もう一方がダブルギャザーでとじた用紙です。	6枚まで (8枚まで) ダブルギャザーでとじた側は、用紙の枚数が多くなると、用紙層のずれが出やすくなります。

お願い

完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように1 mm以下になるようにしてください。



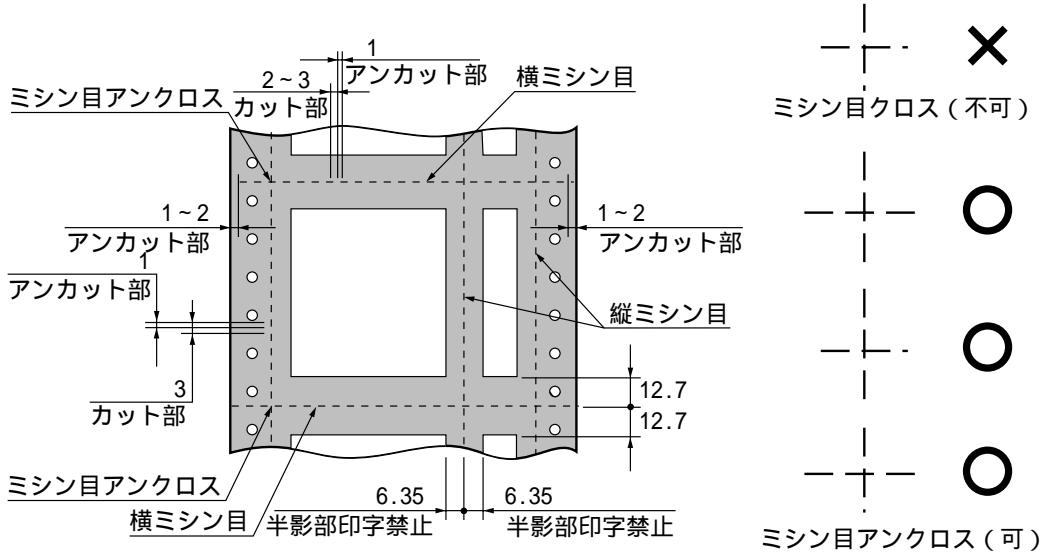
- 用紙づまりや印字ズレの原因になるので、棒のりとじや金属ホチキスとじの用紙は使用しないでください。
- 棒のりとじは、用紙穴の外側全部をのりづけするとじ方です。

ミシン目の入れ方

ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。とくに1枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると、使用中にミシン目から破けることがあります。

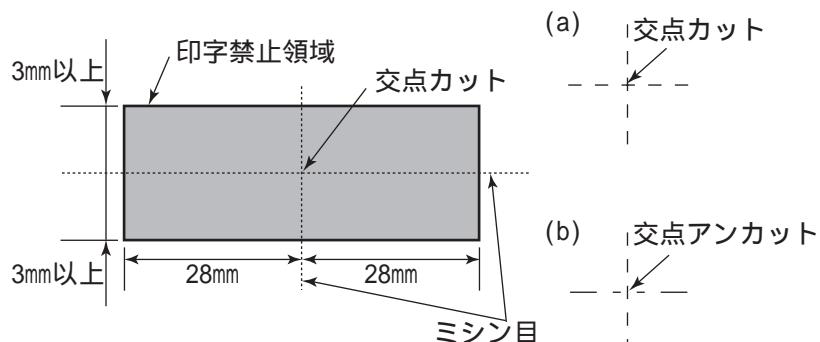
ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

- 1枚用紙のミシン目(縦、横ミシン目共)のカット(切る部分)アンカット(切らない部分)の比率は、約3:1にしてください。
- 横ミシン目のアンカット寸法(両端部C)は、1mm以上にしてください。
- 複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



単位 : mm

- 縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされているとき(下図(a))、下図に示す斜線部には印字しないでください。これを守らないと用紙が破けたり、プリンタの故障の原因となったりすることがあります。

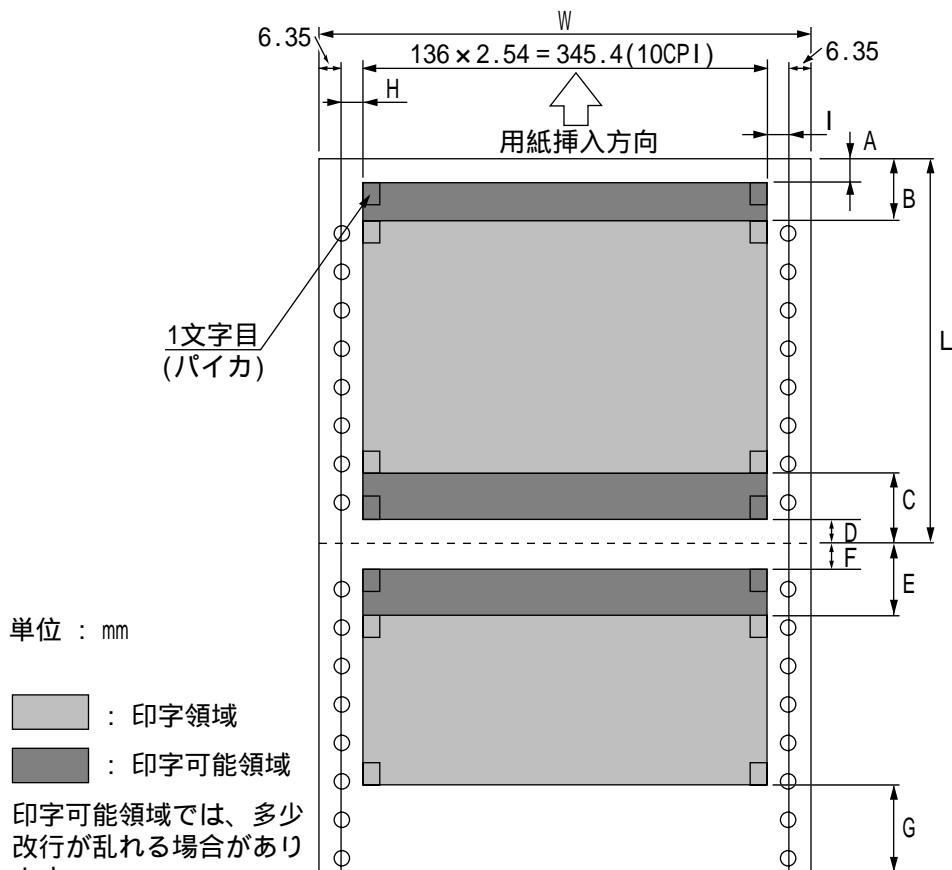


縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされていない(交点アンカット(b))ときは、印字禁止領域の制限はありません。

本項は、印字を伴わない印字ヘッドの移動の際にも悪影響をおよぼしますので、紙面全体に適用してください。

印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



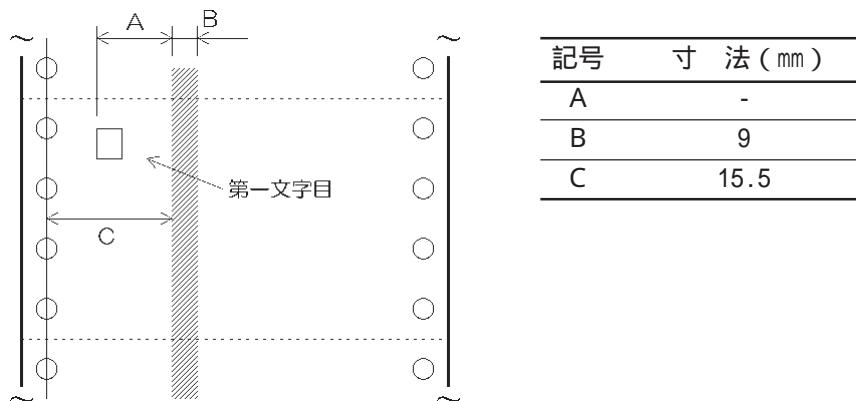
記号	名称	寸法	備考
L	用紙長さ (3 ~ 14 インチ)	76.2 ~ 355.6mm 25.4mm(1 インチ)の整数倍で、279.4mm(11 インチ)を標準にします。	
A	上端余白	0.3 ~ 20.3mm	機能設定により変更できます。 (操作方法については、「機能設定を変える」(68 ページ) 参照)
B	印字領域上端 (1 ページ目)	17.3mm 以上	
C	印字領域下端	17.3mm 以上	

記号	名称	寸法	備考
D	下端余白	1.5mm 以上	
E	印字領域上端	17.3mm 以上	
F	上端余白	0.3 ~ 20.3mm	A 値の設定に従います。
G	用紙終了検出位置	1.5mm 以上	
H	左端余白 (用紙幅 15 インチ 以下のとき)	11.4 ~ 24.1mm	用紙幅 16 インチのとき は、24.1mm 以下には印 字できません。
I	右端余白	11.4mm 以上	
W	用紙幅	101.6 ~ 406.4mm (4 ~ 16 インチ)	

とじ穴のあけ方

下図の  部分にとじ穴が完全に重なる場合、とじ穴の直径は 7 mm 以下にしてください。

また、とじ穴の一部が  部分にかかる場合は、 の領域が 2 mm 以上残るようにしてください。

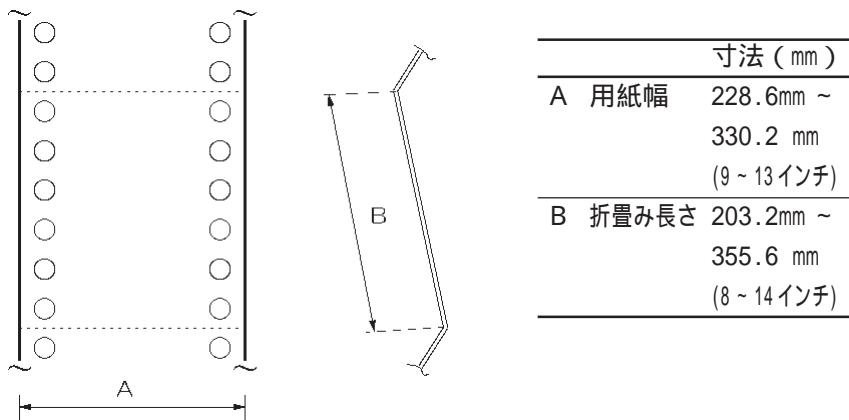


はがき用紙

本プリンタでは、連続帳票のはがき用紙を使用できます。

寸 法

はがき用紙の寸法を下図に示します。



枚 数 (厚み)

連量(四六判1000枚の重量)135kgのはがき用紙を使用することができます。

枚数は1枚のみとします。

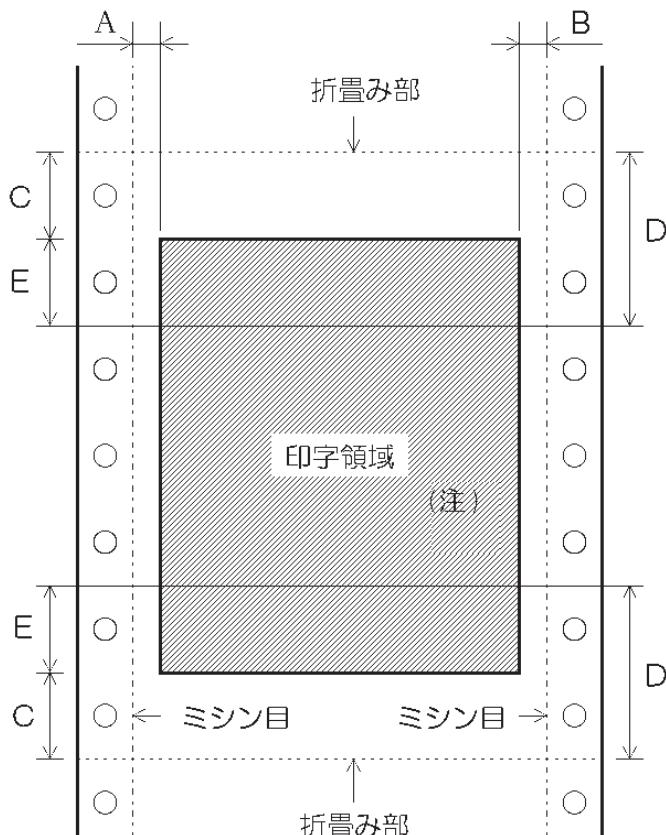
ミシン目の入れ方

一般連続帳票用紙の場合と同じです。

ただし、ミシン目のカット(切る部分)と、アンカット(切らない部分)の比率は、2 : 1にしてください。

印字領域

はがき用紙の印字領域を下図に示します。



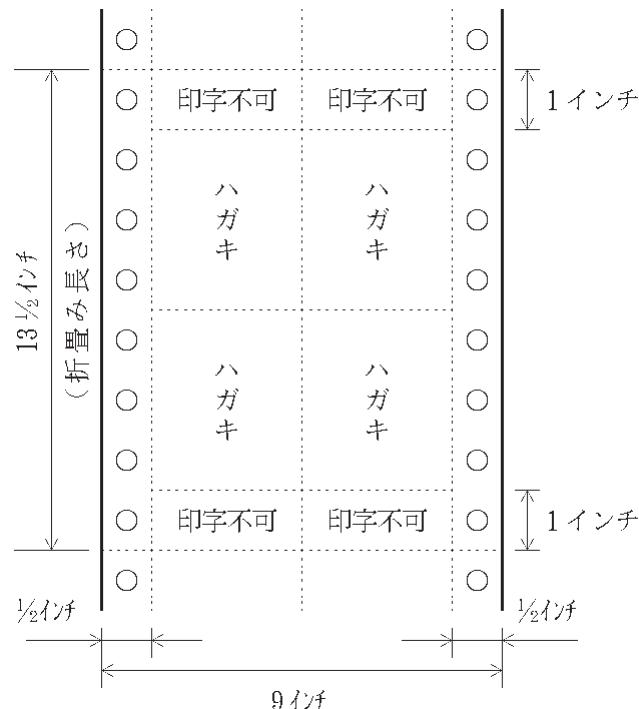
注：印字領域内にミシン目がある場合は、ミシン目から 5.08mm (1/5 インチ) 以上離して印字してください。

寸 法 (mm)		備 考
A 左側余白	5.08 以上(1/5 インチ)	縦方向のミシン目から 5.08mm 以内の範囲に
B 右側余白	5.08 以上(1/5 インチ)	は、印字しないでください。
C 上下余白	8.46 以上(1/3 インチ)	この範囲では、印字ヘッドを横に移動せ ないでください。用紙のふくらみなどによ り、インクリボンが用紙を汚したり、用紙 送りに異常が生じたりする原因になります。
D -	25.4(1 インチ)	
E -	D - C (D から C をひいた値)	この範囲に印字すると、改行が乱れること があります。

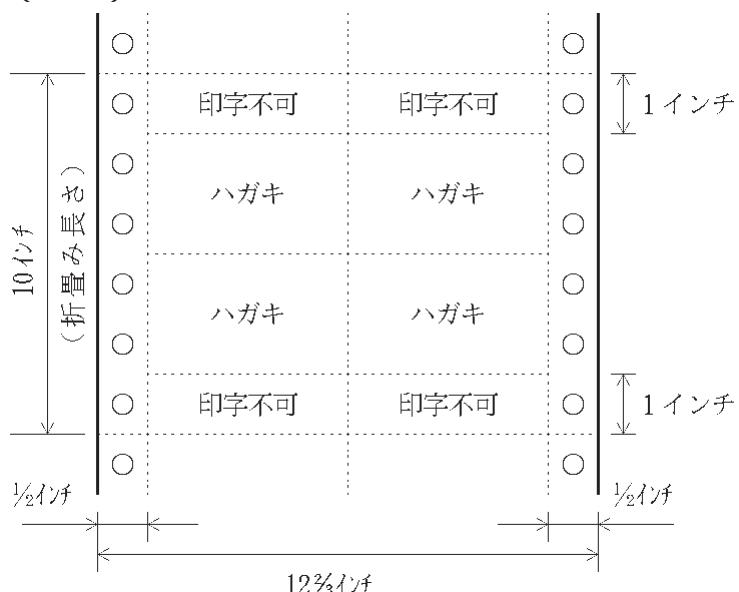
形 式

印字行の乱れや用紙づまりなどのトラブルを防止するため、はがき用紙は次の形式のものを使用してください。

縦並び（2列）



横並び（2列）



タック用紙

本プリンタでは、連続帳票のタック用紙を使用できます。

寸 法

一般連続帳票用紙と同じです。

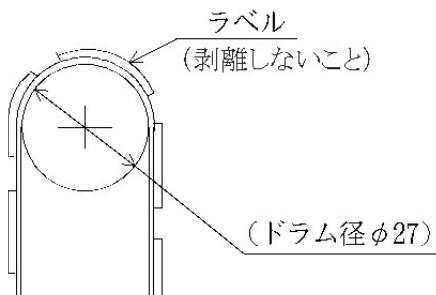
厚 み

ラベルと台紙を合わせた厚さが、0.2mm以下の用紙が使用できます。

また、台紙とラベルの厚さはそれぞれ0.1mm以下としてください。

ラベルの貼り付け強度

次の貼り付け強度をもったタック用紙を使用してください。

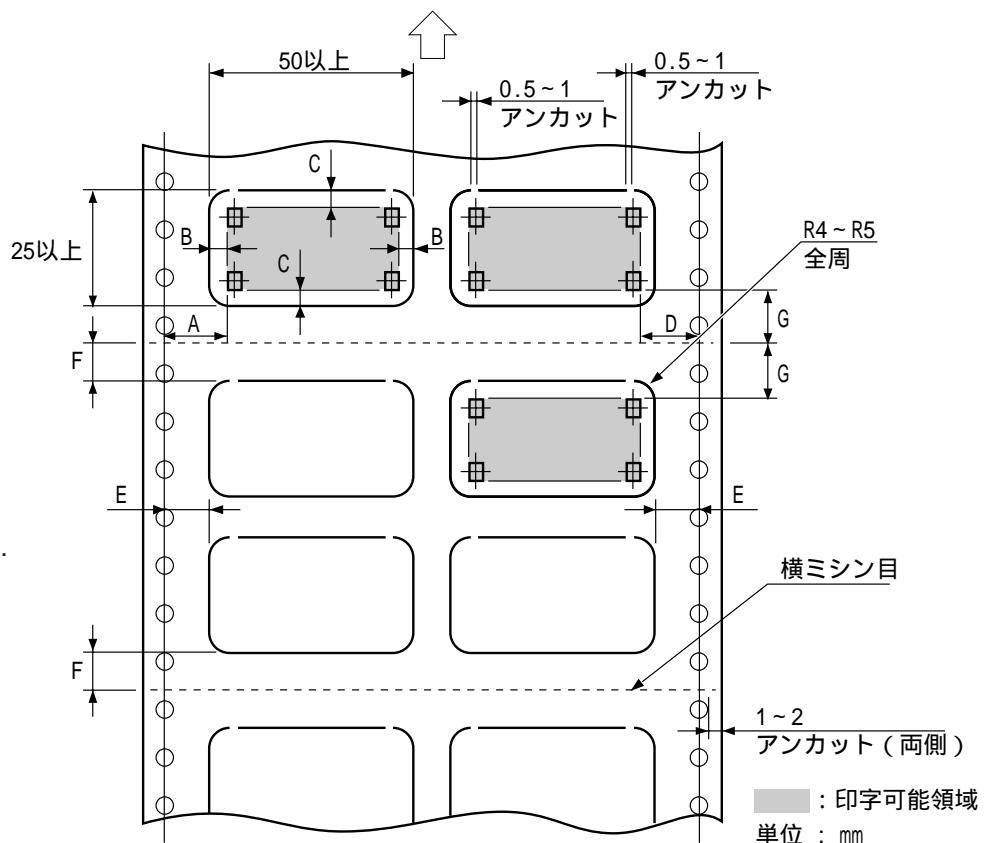


巻付ドラム径	27
巻付角度	180°
巻付時間	24時間
周囲温度	40
周囲湿度	30%RH

印字領域

タック用紙の印字領域を下図に示します。

用紙挿入方向



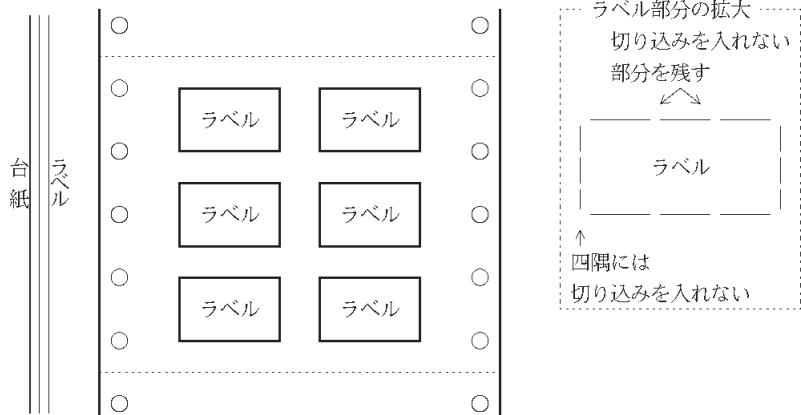
記号	名称	寸法
A	左端余白	用紙幅 406.4mm (16インチ) のとき、25.4mm (1インチ) 用紙幅 381mm (15インチ) 以下のとき、12.7 ~ 25.4mm (1/2 ~ 1インチ)
B	ラベル内の余白(左右)	3.81mm 以上
C	ラベル内の余白(上下)	4mm 以上
D	右端余白	12.7mm(1/2インチ)以上
E	用紙送り穴～ラベル	6.35mm(1/4インチ)以上
F	ラベル～用紙下端	6.35mm(1/4インチ)以上 (12.7mm 以上が望ましい)
G	上端余白(下端余白)	10.58mm(5/12インチ)以上 (25.4mm 以上が望ましい)

形 式

印字行の乱れや用紙づまりなどのトラブルを防止するため、カストリを行っていないタック紙を使用してください。

カストリとは、台紙全体に貼り付けられた粘着シールを、ラベルの部分だけ残してはがすことです。

ラベルの四隅には切り込みを入れないでください。また、四辺の数力所に切り込みを入れない部分を残してください。



お願い

やむをえず、カストリしたタック用紙を使用する場合は、ラベルの四隅に丸みをつけてください。

ラベル \leftarrow R 2～R 3 の丸み
をつける

封筒用紙

本プリンタでは、連続帳票の封筒用紙を使用できます。

枚 数 (厚み)

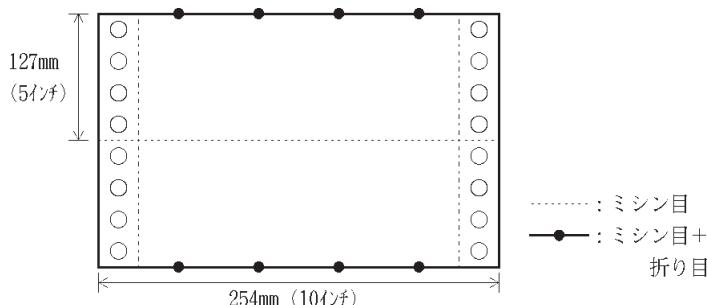
本プリンタで使用できる封筒用紙の厚さは、下表のとおりです。

紙 質	上 紙	中 紙	下 紙
裏カーボン紙		ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連量 (kg)	33.5	70.0	70.0

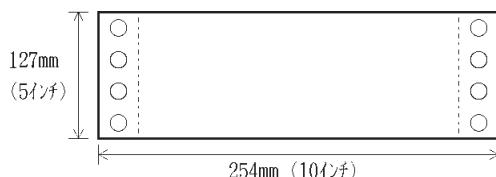
寸 法 (形式)

封筒用紙の寸法を下図に示します。

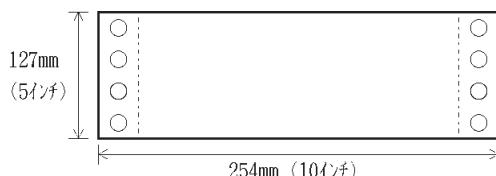
【完成体】



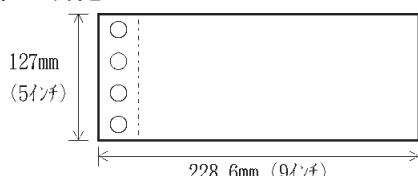
【上 紙】



【中 紙】



【下 紙】



とじ方

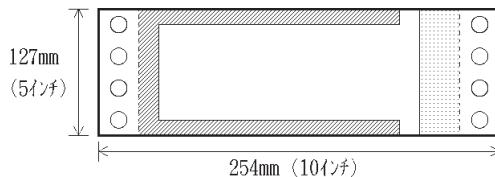
封筒用紙は、次のとじ方のものを使用してください。

とじ方	備 考
上紙と下紙 点のり	両端を点のりづけします。
中紙と下紙 棒のり	左端、および上下端を棒状にのりづけします。 棒のりの幅は、1 / 6 インチ以下とします。 (下図の  部分)

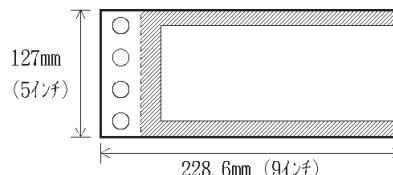
右端をとじる両面テープ(下図の  部分)は、下表のものを使用してください。

銘 柄	幅 (mm)	
	はく離紙	肉のり
アスコットテープ	12	10

【中 紙】



【下 紙】



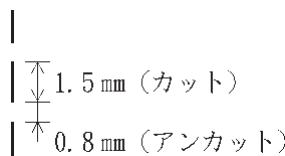
お願い

のりづけによる厚みの増加は、0.1mm以下としてください。

ミシン目の入れ方

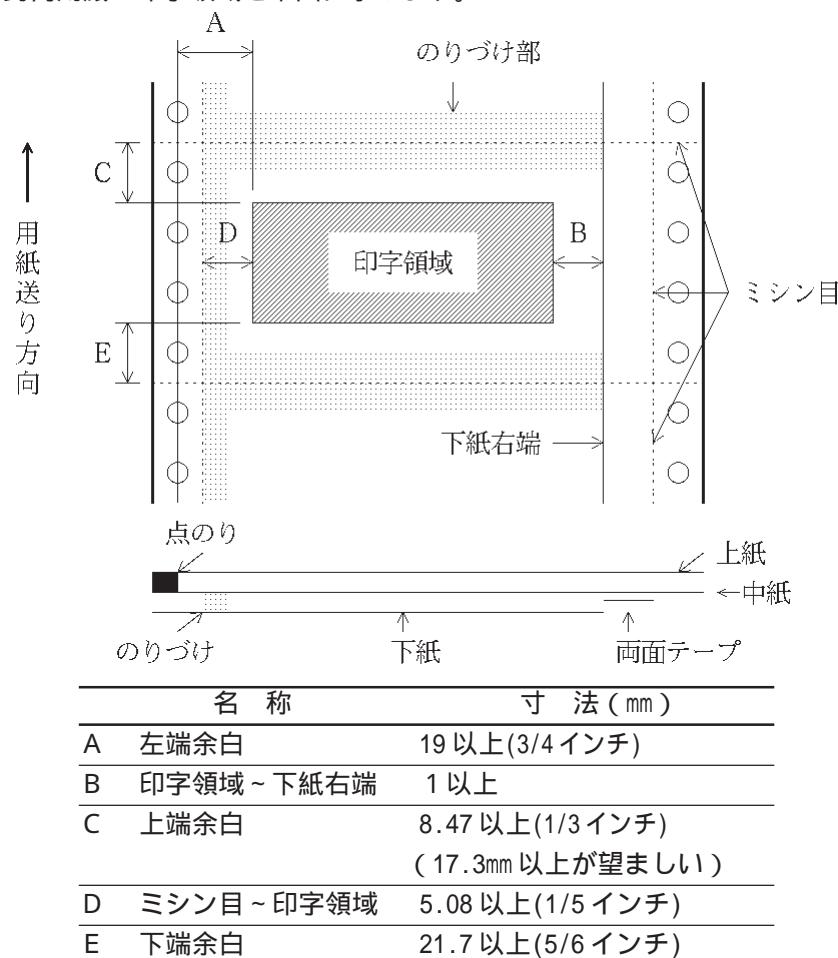
一般連続帳票用紙の場合と同じです。

ただし、ミシン目のカット(切る部分)は1.5mm、アンカット(切らない部分)は0.8mmとしてください。



印字領域

封筒用紙の印字領域を下図に示します。



用紙送り穴のあけ方

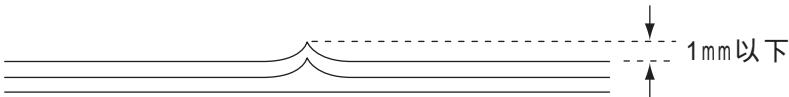
各用紙(上紙、中紙、下紙)の用紙送り穴のズレは、0.3mm以下としてください。

宅配伝票

本プリンタでは、連続帳票の宅配伝票を使用できます。

お願い

- ・宅配伝票は、十分確認を行ってからご使用ください。
- ・ミシン目の折り目を平にしたときのふくらみは、下図に示すように1mm以下になるようにしてください。



厚み

宅配伝票は、8枚重ねのものまで使用できます。用紙全体の厚みは、0.65mm以下となるようにしてください。



単票用紙

本プリンタでは、次の単票用紙を使用できます。

事務用上質紙、はがき、封筒、宅配伝票

用紙の種類ごとに、条件と注意点を説明します。

お願い

上質紙は、光反射率が60%以上のものを使用してください。

一般に使用されている上質紙の光反射率は、約70%です。紙の色が濃くなるほど、また紙厚が薄くなるほど反射率は低下します。

事務用上質紙

本プリンタでは、一般的な事務用の上質紙を使用できます。

寸法

上質紙の寸法を下表に示します。

寸法	
横幅	90.0 ~ 420.0mm (3.5インチ幅 ~ A3横)
縦長さ	70.0 ~ 420.0mm (2.8インチ幅 ~ A3横)

枚 数 (厚み)

本プリンタでは8枚(オリジナルを含む)までの複写紙を使用することができます。使用できる用紙の枚数と厚み(連量)は、下表のとおりです。なお、()内は高複写モード時の値です。

用紙の種類	最大 複写枚数	連量 (kg) (注1)	用紙厚合計	: 使用できる	
				備 考	
一枚用紙	1枚	45 ~ 180			
ノンカーボン紙 (注2)	6枚 (8枚)	34	0.36mm 以下 (0.48mm 以下)	・ ()内の用紙は、最下層の用紙としてのみ使用できます。 ・ 6 ~ 8枚の用紙は、メーカーにより特性が異なります。あらかじめ確認の上ご使用ください。	
裏カーボン紙 (注2)	6枚 (8枚)	34	0.36mm 以下 (0.48mm 以下)	・ ()内の用紙は、最下層の用紙としてのみ使用できます。 ・ 6 ~ 8枚の用紙は、メーカーにより特性が異なります。 あらかじめ確認の上ご使用ください。	

注1: 連量とは、四六判(788 × 1091mm)の用紙1000枚の重量をkgで示したものです。

注2: ノンカーボン紙と裏カーボン紙の連量は、メーカーにより異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでご使用ください。

連量の組み合わせ

単票の複写紙において使用可能な連量の組み合わせを下表に示します。

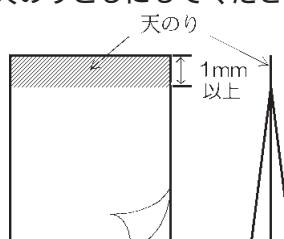
最大複写枚数	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚	7枚	8枚
1枚目	43 ~ 55kg (34kg)						
2枚目	43 ~ 55kg (34kg)	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
3枚目		43 ~ 55kg (34kg)	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
4枚目			43 ~ 55kg (34kg)	34kg	34kg	34kg	34kg
5枚目				43 ~ 55kg (34kg)	34kg	34kg	34kg
6枚目					43 ~ 55kg (34kg)	34kg	34kg
7枚目						43 ~ 55kg (34kg)	34kg
8枚目							43 ~ 55kg (34kg)

ガイド

- 連量34kgの裏カーボン紙、またはノンカーボン紙においては、用紙厚合計0.36mm以内でオリジナルを含めて6枚までとします。(高複写モード時は、用紙厚合計0.48mm以内でオリジナルを含めて8枚までです。)
- 1枚目とベース紙(一番下側の用紙)は、印字によるカールやスタッキングを良くするため、連量43kg ~ 55kgとしてください。

とじ方

用紙は、下図のように天のりとじにしてください。



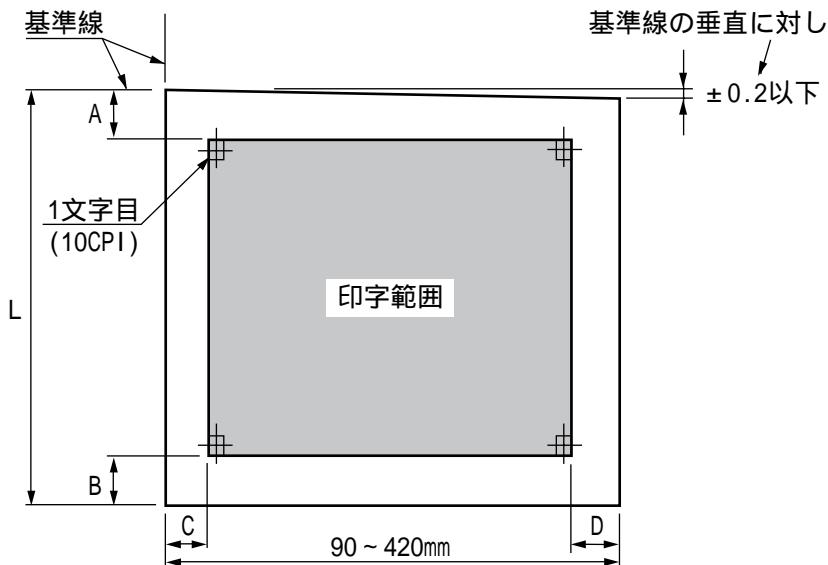
お願い

- のりづけ部が波打ったり固くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。
- 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから、分離やのりがはみ出しがあります。このため用紙づまりが発生する可能性がありますので使用を避けてください。

印字領域

単票用紙の印字領域を以下に示します。

【一枚紙】



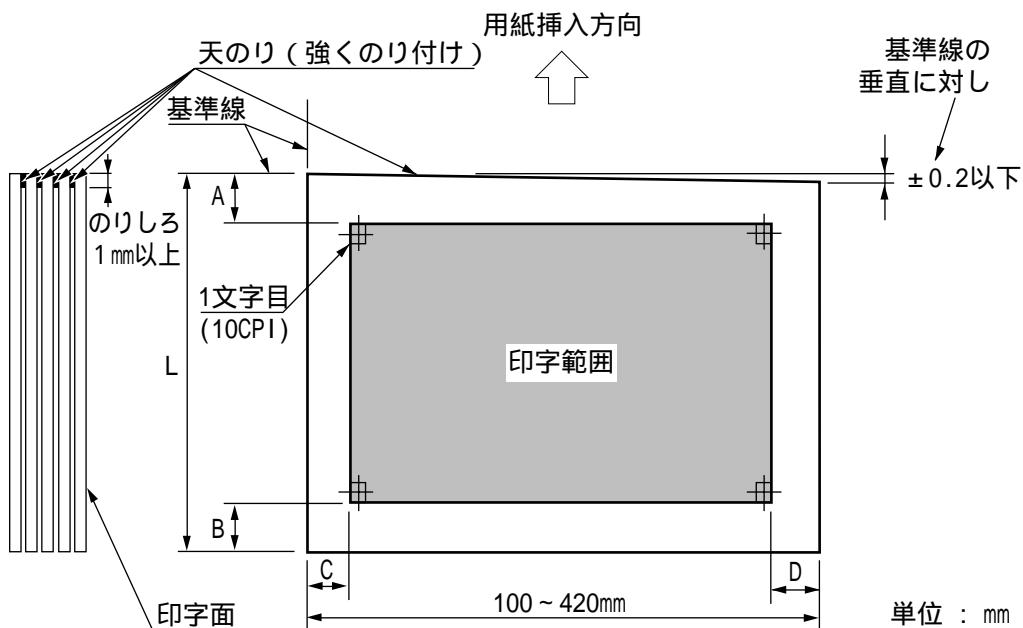
記号	名称	寸法	備考
L	用紙長さ	70 ~ 420mm (2.8 ~ 16.5インチ)	テーブル排出の場合、用紙長さ 297mm 以下とします。 (注)
A	上端余白	0.3 ~ 20.3mm	機能設定により変更できます。 (操作方法については、「機能設定を 変える」(68ページ)参照)
B	下端余白	1.5mm 以上	
C	左端余白	5.0mm 以上	A3横の場合 35.3mm 固定です。
D	右端余白	5.0mm 以上	・C値範囲内 136文字目までです。 ・この値は、用紙幅と印字する桁数 に左右されます。

注：A4版の縦(297mm)より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。
テーブルに排出する場合は、排出された用紙がテーブルから落下します。

ガイド

- 45kgの用紙は剛性が少ないため、スタッキングは保証しません。
- 用紙の縦横比は、1:2/3 ~ 2とします。
- 用紙の表面裏面の印刷禁止領域に注意してください。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。

【複写紙】



記号	名称	寸法	備考
L	用紙長さ	100 ~ 420mm (3.9 ~ 16.5インチ)	テーブル排出の場合、用紙長さ 297mm 以下とします。 (注)
A	上端余白	0.3 ~ 20.3mm	機能設定により変更できます。 (操作方法については、「機能設定を 変える」(68 ページ) 参照)
B	下端余白	1.5mm 以上	
C	左端余白	5.0mm 以上	A3 横の場合 35.3mm 固定です。
D	右端余白	5.0mm 以上	C 値範囲内 136 文字目までです。

注：A4 版の縦(297mm)より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

テーブルに排出する場合は、排出された用紙がテーブルから落下します。

ガイド

- 用紙の縦横比は、1:2/3 ~ 2 とします。
- 用紙の表面裏面の印刷禁止領域に注意してください。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- 挿入方向の上端をのり付けしてください。
- 束のりとじの用紙は、とじ方が弱いので使用を避けてください。

はがき

本プリンタで使用できる官製はがきについて説明します。

用紙の厚み

連量(四六判1000枚の重量)164kgの官製はがきを使用することができます。

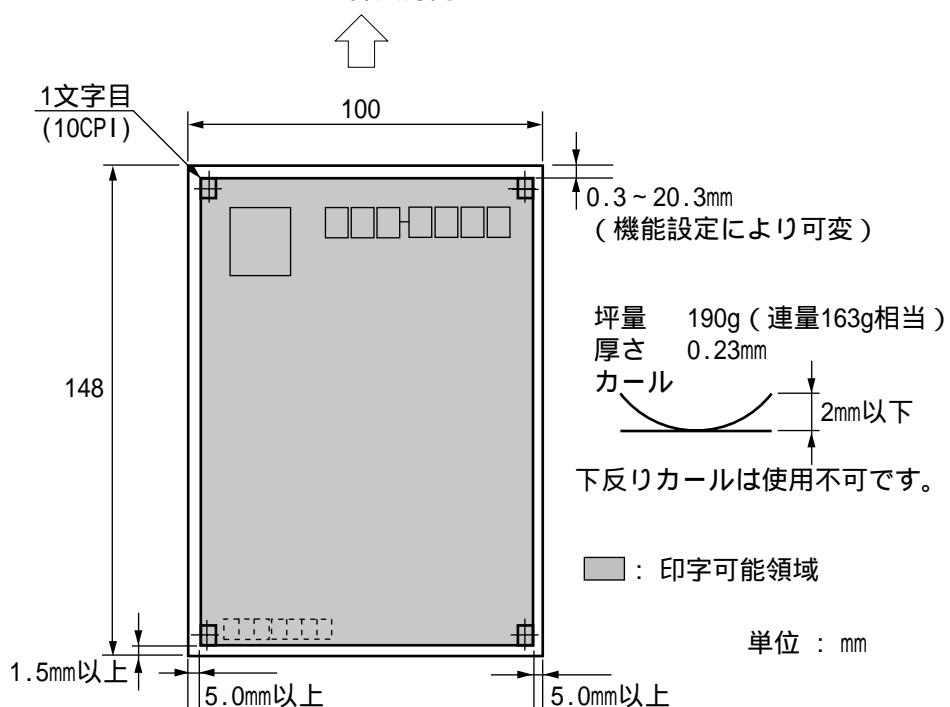
お願い

往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

印字領域

通常はがき縦挿入

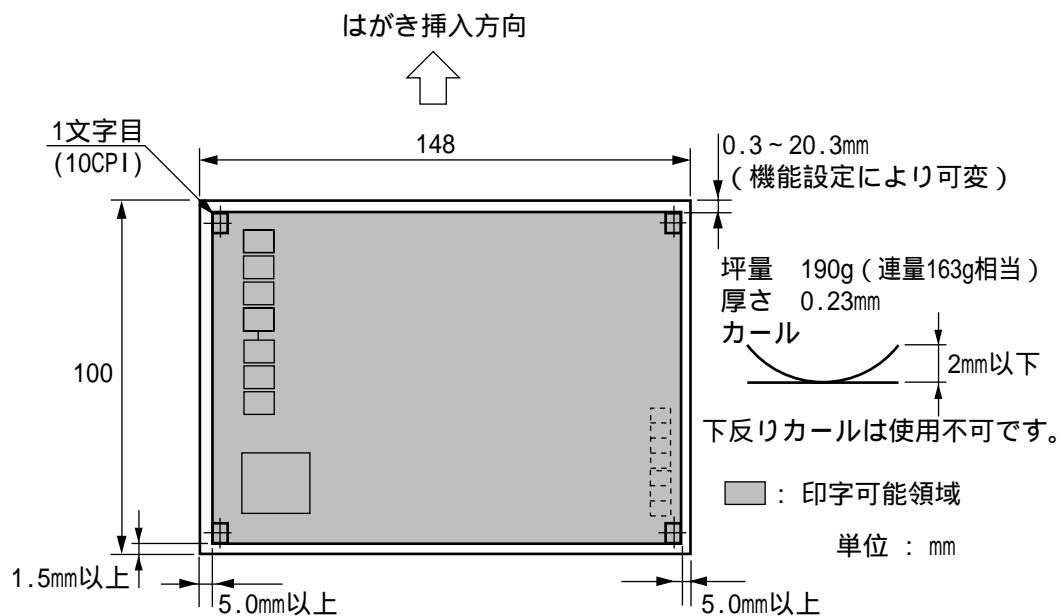
はがき挿入方向



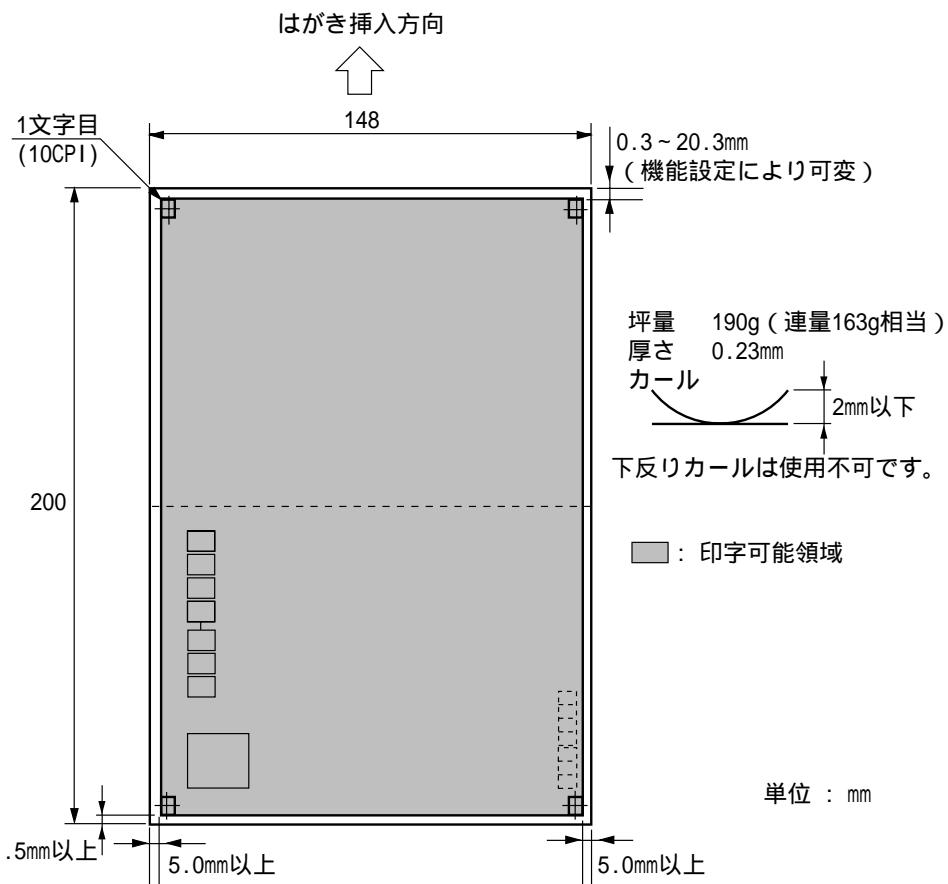
ガイド

- ・ プレプリント用紙の印刷禁止領域は、単票用紙に準じます。郵便番号枠などの印刷は除きます。
- ・ 折れ、曲がりのないものを使用してください。

通常はがき横挿入

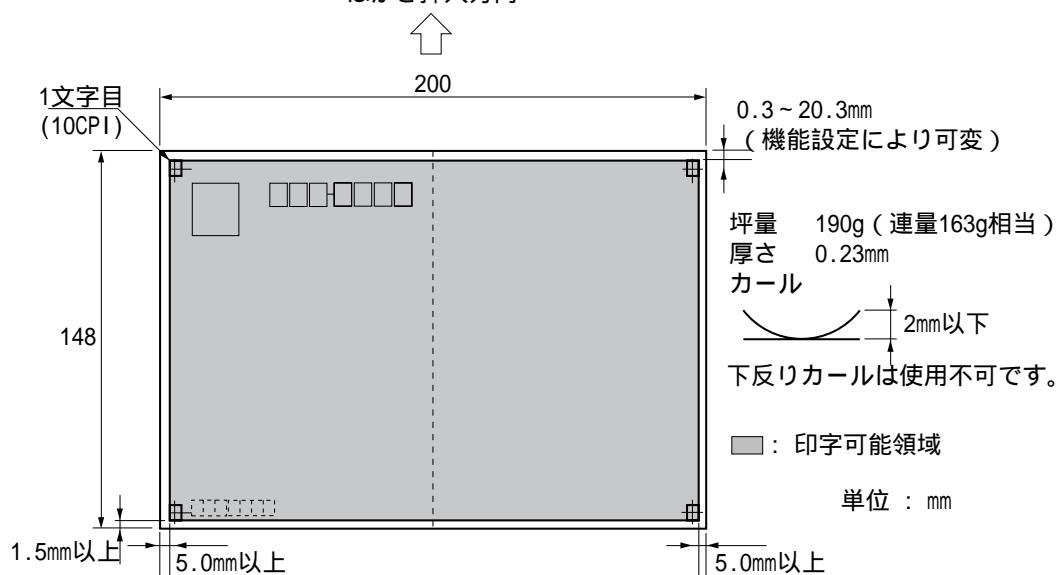


往復はがき縦挿入



往復はがき横挿入

はがき挿入方向



封筒

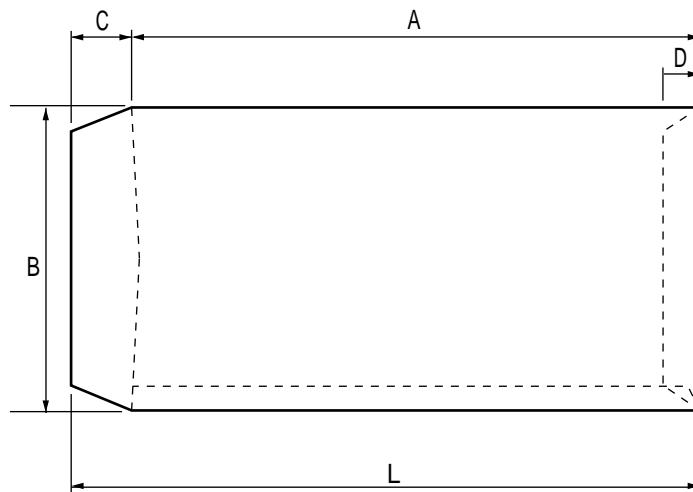
本プリンタで使用できる封筒について説明します。

用紙の厚み

印字する際の封筒の厚みは、0.35mm以下としてください。

寸 法

次の寸法の封筒を使用できます。

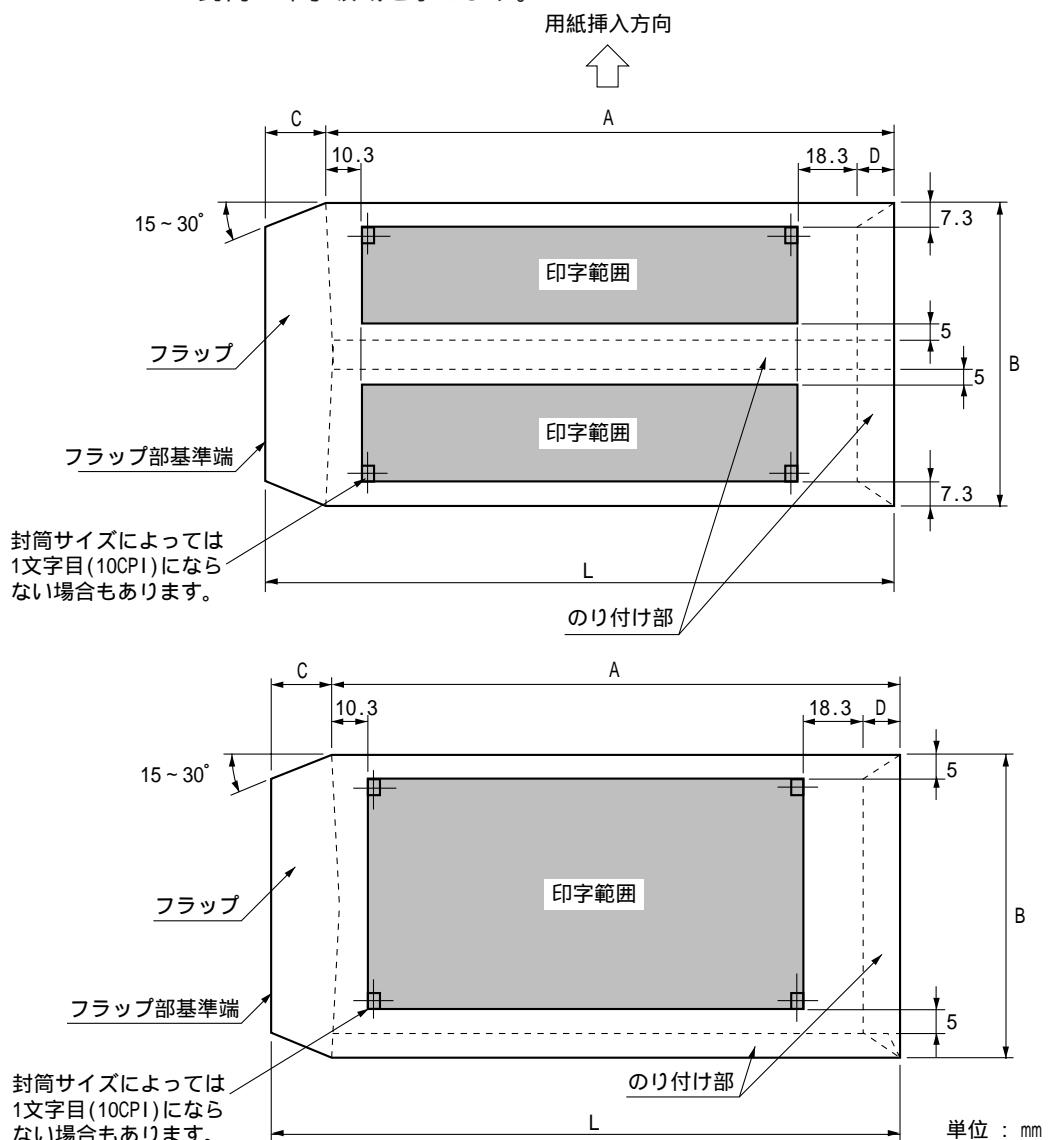


単位 : mm

	A	B	C	D	L
長形 4 号	205	90	15 ~ 20	8 ~ 20	220 ~ 225
長形 3 号	235	120	15 ~ 25	8 ~ 20	250 ~ 260
角形 3 号	277	216	20 ~ 35	10 ~ 20	292 ~ 312
角形 2 号	332	240	15 ~ 40	10 ~ 25	347 ~ 372

印字領域

封筒の印字領域を示します。



お願い

- ・ フラップ部がのりづけ加工されている封筒は、使用できません。
- ・ のりづけ部とその周辺 5 mm 以内の位置には、印字しないでください。
- ・ フラップ部の破線(上図の破線)の食い込みが、封筒の肩より 12 mm 以上ある場合は、破線の右側で印字してください。
- ・ 切手やシールなどを貼った封筒は、使用できません。
- ・ 封筒全体の厚みは、0.35 mm 以下としてください。
- ・ 窓付きの封筒は使用しないでください。
- ・ フラップ部が折り返されていないものを使用してください。
- ・ 最大紙厚(中央重ね合わせ部)に合った紙厚に調整してから印字してください。
- ・ 封筒ののり付け部(右側)近くまで印字した場合、印字範囲以内であってものり付け部の状態(特にエッジ部の折れ、ふくらみ)によっては印字汚れがつく場合があります。このような封筒の場合は、印字範囲を狭めてください。

宅配伝票

本プリンタで使用できる宅配伝票について説明します。

お願い

- ・ 宅配伝票は、十分確認を行ってからご使用ください。
- ・ 折れや曲がりがある用紙は使用しないでください。斜行したり、角が折れたりして、用紙づまりの原因になります。

厚み

宅配伝票は、13枚重ねのものまで使用できます。用紙全体の厚みは、0.78 mm 以下となるようにしてください。



カットシートフィーダ／トラクタユニット

で使用できる用紙

オプションのカットシートフィーダおよびトラクタユニットで使用できる用紙について説明します。

カットシートフィーダで使用できる用紙

カットシートフィーダで自動給紙印刷を行う場合は、以下の規格を満たす用紙を使用できます。

紙 質	(kg)	連 量 用紙の大きさ (mm)		備 考
		(注 1)	幅 長さ	
PPC 用紙	45 ~ 100 ~ 364	100 ~ 364	推奨紙：ファイン高速 PPC	
上質紙	110 (B4 横まで) (B4 縦まで)		用紙、ゼロックス紙	(注 2)
再生紙	45 ~ 100 ~ 364	100 ~ 364	再生オフィス用紙	
	110 (B4 横まで) (B4 縦まで)			
官製はがき	164	100, 148	100, 148	
		(200)	(200)	
複写紙	34	148 ~ 364	148 ~ 364	・ とじ方は天のりとじ(注 3)
(ノンカーボン紙)				・ 枚数は 6 枚まで (オリジナルを含む)(注 4)

注 1 : 連量とは、四六判 (788 × 1091mm) の用紙 1000 枚の重量を kg で示したものです。

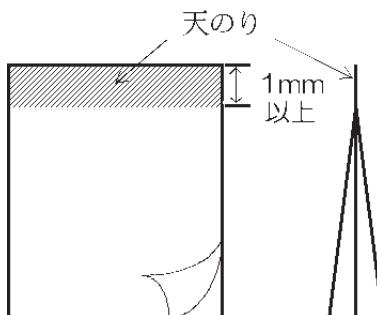
注 2 : ファイン高速 P P C 用紙は紀州製紙社、ゼロックス紙は富士ゼロックス社の製品です。連量はともに薄口 (L 紙) 55kg 、厚口 (M 紙) 60kg です。

注 3 : 天のりとじは、用紙の上部全体をのりづけする方法です。(120 ページ参照)

注 4 : 束のりとじの用紙は、とじ方が弱いので使用を避けてください。

用紙のとじ方

手挿入口から使用する複数枚の用紙は、天のりとじにしてください。



注1：のり付け部が極端に硬くなったり、波打ったりしないようにしてください。

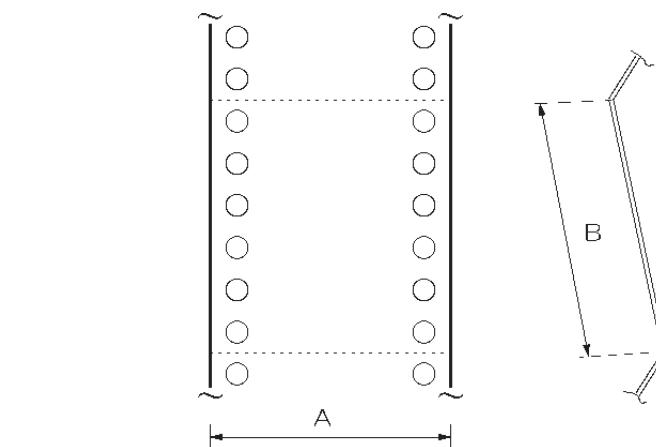
注2：のり付け部が簡単に外れてバラバラにならないようにしてください。

注3：のりがはみ出さないようにしてください。

注4：束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから、分離やのりがはみ出しがあります。このため用紙づまりが発生する可能性がありますので使用を避けてください。

トラクタユニットで使用できる用紙

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



寸法		
A	用紙幅	101.6 ~ 406.4mm(4 ~ 16インチ)
B	用紙長さ	76.2 ~ 355.6mm(3 ~ 14インチ)(注1)

注1：25.4mm(1インチ)の整数倍で、279.4mm(11インチ)を標準とします。

枚 数 (厚み)

本プリンタでは6枚(オリジナルを含む)までの複写紙を使用することができます。使用できる用紙の枚数と厚み(連量)は、下表のとおりです。なお、()内は高複写モード時の値です。

用紙の種類 複写枚数	最大 (注1)	連量 (kg)	用紙厚合計	備 考
一枚用紙	1枚	45 ~ 110		
ノン カーボン紙 (注2)	6枚	34	0.36mm 以下	
裏カーボン紙 (注2)	6枚	34	0.36mm 以下	
中カーボン紙 (注3)	5枚	34	0.36mm 以下	間のカーボン紙も1枚として数えます。

注1：連量とは、四六判(788 × 1091mm)の用紙1000枚の重量をkgで示したものです。

注2：ノンカーボン紙と裏カーボン紙の連量は、メーカにより異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでご使用ください。

注3：中カーボン紙は、用紙間にカーボン紙を挿入した用紙です。

挿入するカーボン紙を1枚に相当するものとして数えます。

中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは0.03mm以下とします。

ガイド

複写紙はメーカにより特性が異なります。あらかじめ確認のうえ、ご使用ください。

連量の組み合わせ

連続帳票の複写紙において使用可能な連量の組み合わせを下表に示します。ただし、ベース紙(いちばん下側の用紙)は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。

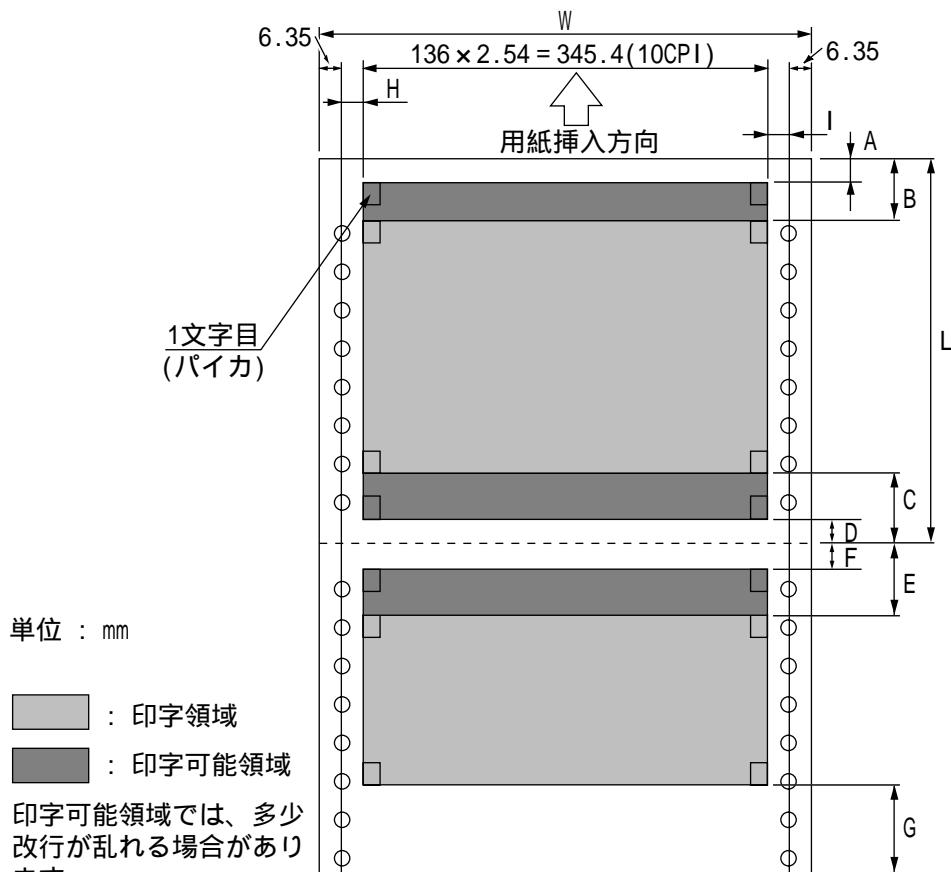
下表以外の用紙では、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります(詳細は「一般連続帳票用紙」の「連量の組み合わせ」(120ページ)参照)。

トラクタユニット装着時のご注意

トラクタユニットを装着して使用する連続帳票用紙の枚数は、一般用紙で6枚(オリジナルを含む)までとします。ハガキ用紙、タック用紙、封筒用紙、宅配用紙などの特殊な用紙は、使用しないでください。

印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



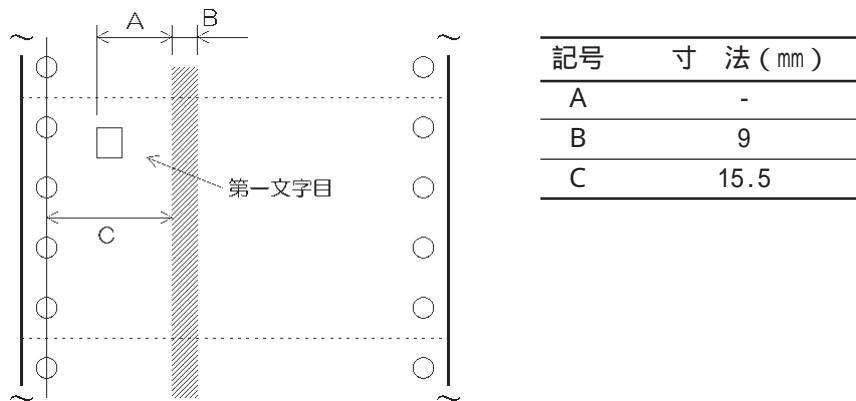
記号	名称	寸法	備考
L	用紙長さ	76.2 ~ 355.6mm (3 ~ 14 インチ)	25.4mm(1インチ)の整数倍で、 279.4mm(11インチ)を標準に します。
A	上端余白	0.3 ~ 20.3mm	機能設定により変更できま す。(操作方法については、 「機能設定を変える」(68 ペー ジ) 参照)
B	印字領域上端 (1ページ目)	17.3mm 以上	
C	印字領域下端	17.3mm 以上	

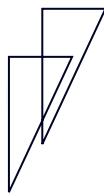
記号	名称	寸法	備考
D	下端余白	1.5mm 以上	
E	印字領域上端	17.3mm 以上	
F	上端余白	0.3 ~ 20.3mm	A 値の設定に従います。
G	用紙終了検出位置	1.5mm 以上	
H	左端余白	11.4 ~ 24.1mm	用紙幅 16 インチのときは、 (用紙幅 15 インチ 24.1mm 以下には印字できません) 以下のとき) ん。
I	右端余白	11.4mm 以上	
W	用紙幅	101.6 ~ 406.4mm (4 ~ 16 インチ)	

とじ穴のあけ方

下図の  部分にとじ穴が完全に重なる場合、とじ穴の直径は 7 mm 以下にしてください。

また、とじ穴の一部が  部分にかかる場合は、 の領域が 2 mm 以上残るようにしてください。

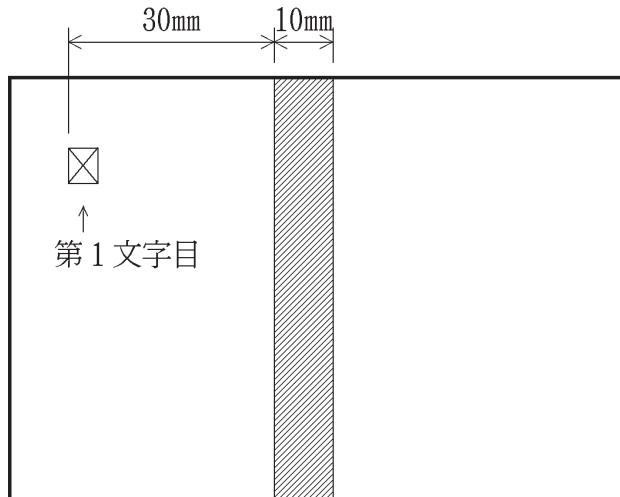




プレプリント用紙を使用するとき

あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙(プレプリント用紙)を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

- ・ プレプリント用紙に光反射率60%以下の色(例えば黒)を使用するときは、下図に示す斜線部内を避けてください。

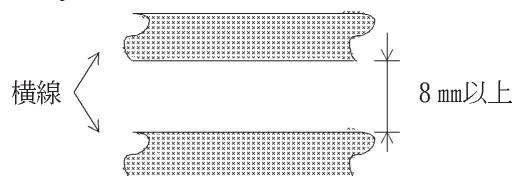


- ・ やむを得ず斜線部内に印刷するときは、次のようにしてください。

斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように8mm以下にしてください。



の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを8mm以上あけてください。



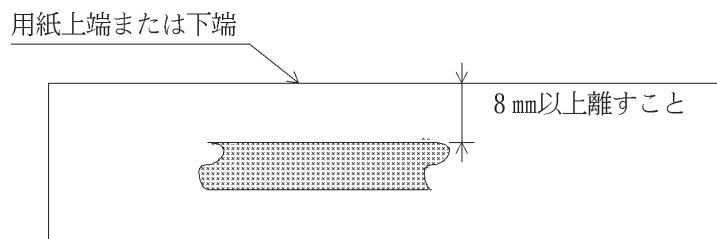
注) 線の太さが0.5mm以下のときは、すきまが4mm以上でも可能です。

斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを0.5mm以下とし、斜線内に1本までとしてください。

斜線内にとじ穴を開けないでください。

斜線内にとじ穴を開けるときは、直径を8mm以下としてください。

- 用紙の端面付近に印刷するときは、図に示すように用紙の端面から 8 mm 以上離してください。



注)線の太さが0.5mm以下のときは、すきまが4mm以上でも可能です。



取り扱い上のご注意

用紙の保管、取り扱いについて

用紙は、変形、破損が生じないように注意して、保管、取り扱いしてください。

また、湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。

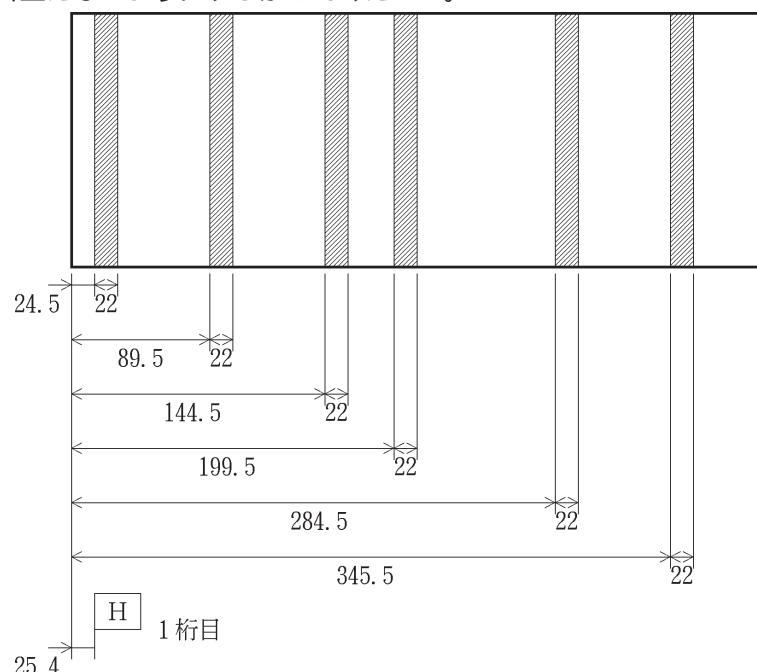
特殊用紙について

- この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
- 再生紙の種類によっては、インクリボンの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたことがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。

印字面の汚れについて

下図の斜線部分に印字が多いと、用紙が汚れる場合があります。

この部分には印字しないようにするか、用紙に対して着色か地紋を施して目立たないようにするかしてください。

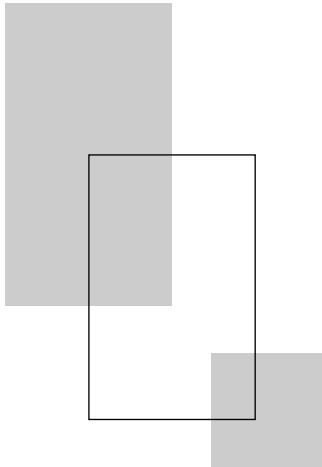


上の図は、左側余白を25.4mmにした場合の値です。用紙の位置を移動すると、移動した分だけ汚れる範囲が変わります。

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、つまり、折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

- ・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・切り抜き部分や窓のある紙
- ・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
- ・浮き彫りのある紙
- ・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- ・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙
- ・端または角が破れていったり、折れている紙
- ・束のりとじの複写用紙



第6章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかたなど、プリンタを使用している上で必要になることがらについて説明します。

リボンカセットを交換する	140
つまつた用紙を取り除く	145
連続帳票用紙がつまつたとき	145
単票用紙がつまつたとき	147
プリンタがうまく動かないとき	148
エラーメッセージが表示されている	148
プリンタが動かない	150
印字ができない	150
印字が欠ける、薄い	150
思いどおりに印字ができない	151
うまく用紙送りができない	152
テスト印字をする	153
HEXダンプで印字する	154
清掃のしかた	155
プリンタを輸送するとき	156
アフターサービス	157



リボンカセットを交換する

印字が薄くなったらインクリボンの寿命です。リボンカセットまたはインクリボンを交換してください。

リボンカセットは、インクリボンを5回まで詰め替えて使用できます。

使用できるリボンカセットとサブカセット

本プリンタでは、次のリボンカセットとサブカセットを使用できます。

商品名	商品番号	備 考
リボンカセット SDM-6 黒	0325250	インクリボン入りリボンカセット
サブカセット SDM-6 黒	0325260	詰め替え用インクリボン

お願い

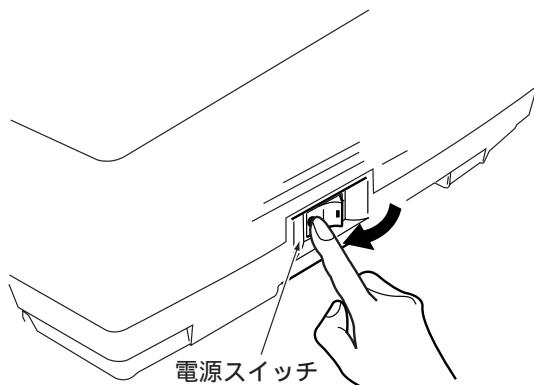
- リボンカセットは、指定のものを使用してください。
- 指定以外のリボンカセットを使用すると、インクリボンがからまつたり、印字ヘッドが傷んだりしてプリンタの故障を引き起こすことがあります。
- 指定以外のリボンカセットを使用してプリンタが故障したときの責任は負いかねます。
- リボンがたるんだ状態で使用しないでください。
- 使用済みのリボンカセットは、不燃物として処理してください。

リボンカセットの取り外しかた

リボンカセットごと交換する場合、次の手順でリボンカセットを取り外し、「リボンカセットの取り付け」(15ページ)に従って新しいリボンカセットを取り付けます。

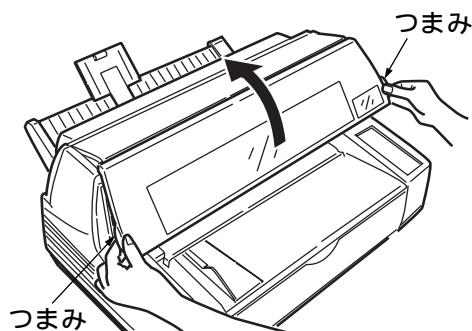
1 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。



2 トップカバーを開ける

左右のつまみを両手で持ち、トップカバーを開きます。



3 印字ヘッドを移動する

印字ヘッドを「リボンセット位置」と表示されている場所に移動させます。

印字ヘッドの両端をつまんで、ゆっくり横方向へ移動させます。

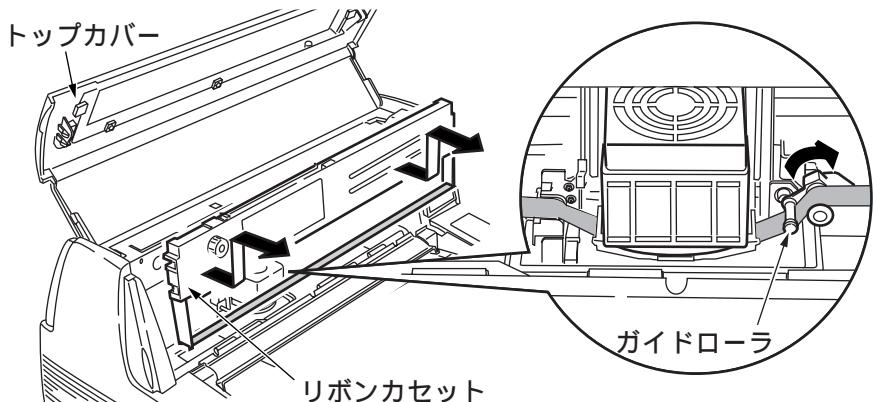
⚠ 注意

やけど 印字直後は印字ヘッドが熱くなっていますので、冷めるまで触らないでください。やけどのおそれがあります。

4 リボンカセットを取り外す

右のガイドローラの青い取っ手部を外側に倒し、インクリボンを取り外します。リボンカセット下端の両側を手前に引いてロックを外し、そのまま全体を手前に引いて外します。

インクリボンが外れにくいときは、印字ヘッド下部のカードガイド(透明)を押し下げるとき外れやすくなります。

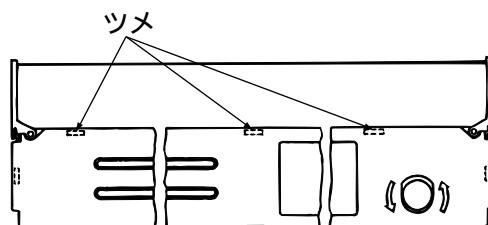


インクリボンの交換

リボンカセット内のインクリボンを交換する手順について説明します。

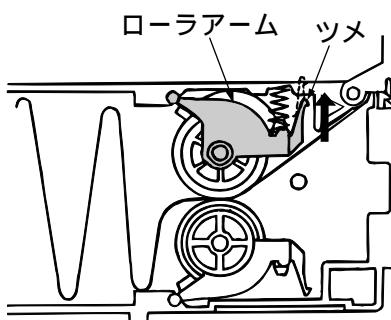
1 リボンカセットのフタを開ける

リボンカセットのフタについているツメ(3ヶ所)を外し、ふたを開きます。

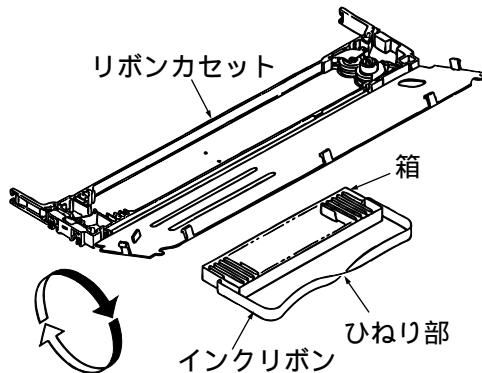


2 使用済みのインクリボンを取り出す

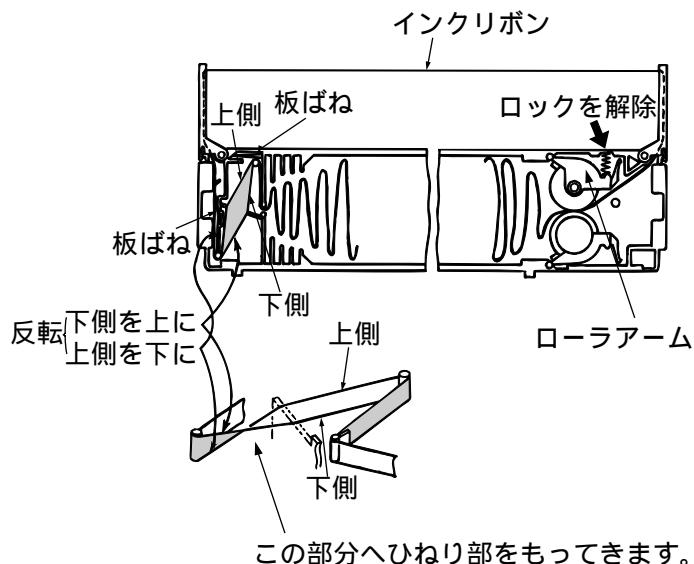
リボンカセット内のローラアームを図の矢印方向に押してツメをフレームに引っ掛けます。使用済みのインクリボンを取り出し、リボンカートリッジの中、周囲、およびローラ周辺のリボンくずや繊維クズを取り除きます。



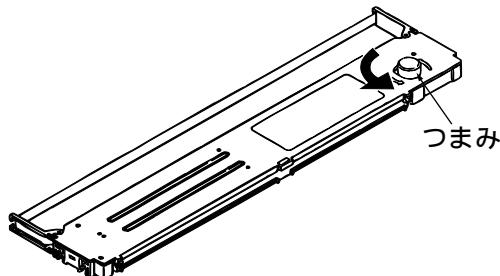
3 新品のインクリボンをリボンカセットにセットする
交換用のインクリボンの包装紙を取り除き、インクリボンを箱から20~30cm引き出します。
インクリボンの上からリボンカセットをかぶせて、リボンカセットと箱と一緒に裏返します。



4 インクリボンを図の経路にセットする
リボンカセットからインクリボンが飛び出さないように、ゆっくり箱を取り除き、ローラアームのツメを外して、ロックを解除します。
リボンカセット内でインクリボンが折れたり、ねじれたりしていないか、また、ローラアームフレームから浮き上がってないか確認してからフタを閉じます。



5 つまみを矢印方向に回してインクリボンのたるみを取る



ガイド

- ・ つまみを矢印方向に回したとき、インクリボンが動かなかつたり、異常に鈍いときは、再度フタを開けてインクリボンの経路を確認してください。
- ・ つまみを矢印方向の逆に回さないでください。リボンジャムの原因になります。
- ・ インクリボンの交換は1つのリボンカートリッジに対して5回までです。

6 リボンカセットを取り付ける

「リボンカセットの取り付け」(15ページ)に従って、リボンカセットをプリンタに取り付けます。



つまつた用紙を取り除く

プリンタ内に用紙がつまつたときの取り除き方を、連続帳票用紙の場合と単票用紙の場合に分けて説明します。

パソコンから印刷起動時に用紙がつまつた場合は、印刷ジョブを削除してください。

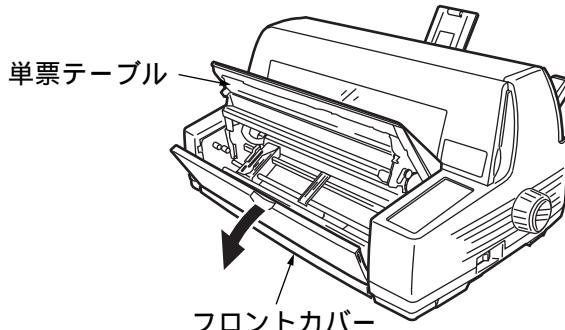
連続帳票用紙がつまつたとき

連続帳票用紙がつまつた場合は、取り除きやすいようにまずミシン目で連続帳票用紙をカットしておきます。

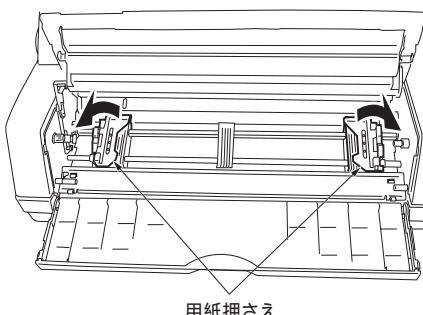
フロント側でつまつたとき

連続帳票用紙がつまつたときは、次の手順で取り除きます。

- 1 プリンタの電源を切る
電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。
- 2 単票テーブルおよびフロントカバーを開く
単票テーブルを持ち上げ、フロントカバーを下方に開きます。

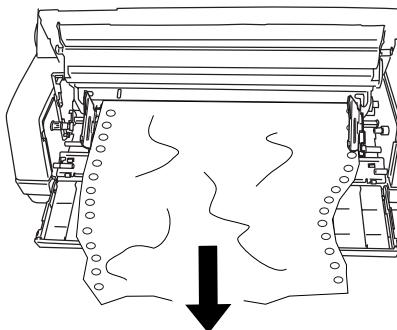


- 3 用紙押さえを開く
用紙送りトラクタのロックレバーを矢印方向に動かしてロックを外し、用紙押さえを開きます。

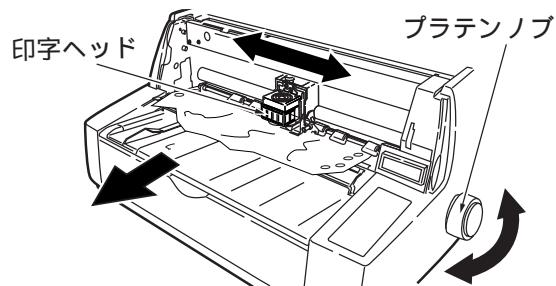


4 用紙を取り除く

プリンタから出ている部分を持って用紙を取り除きます。



用紙が印字部につまっているときは、トップカバーを開け、用紙のないところまで印字ヘッドを手で移動します。次に、プラテンノブを回しながら、用紙を手前側または後側に引き出します。



△注意

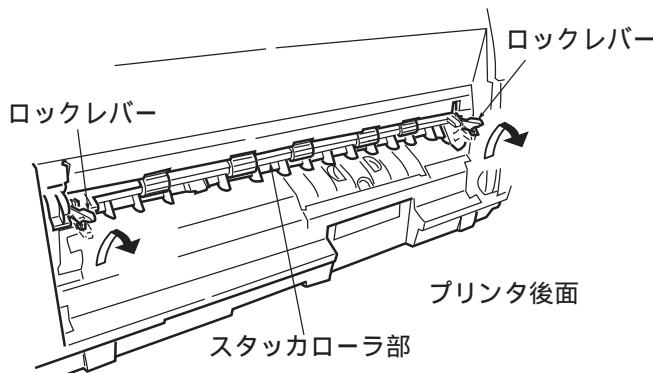
やけど 印字した直後は印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、動かしてください。

5 フロントカバー、単票テーブルの順に閉じる

リア側でつまったとき

プリンタ後部の排紙口やトラクタユニットで用紙がつまったときは、スタッカローラ部を取り外してつまった用紙を取り除きます。

スタッカローラ部を取り外すときは、リアスタッカを外してから左右のロックレバーを持ち上げて後方に引っ張ります。



単票用紙がつまつたとき

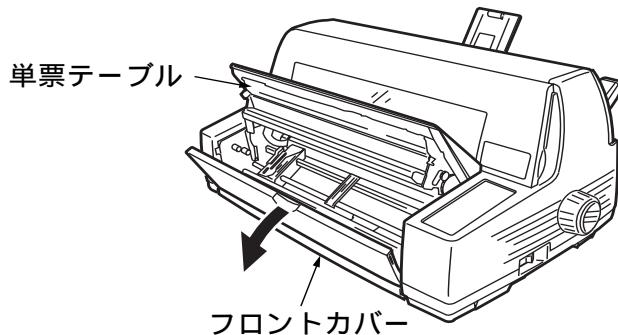
1 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

2 単票テーブルおよびフロントカバーを開く

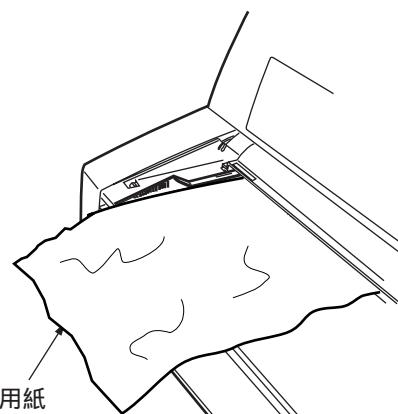
単票テーブルを持ち上げ、フロントカバーを下方に開きます。

カットシートフィーダを取り付けているときは、取り外してください。



3 用紙を取り除く

プリンタから出ている部分を持って用紙を取り除きます。



用紙が印字部でつまっているときは、トップカバーを開け、用紙のないところまで印字ヘッドを手で動かします。次に、プラテンノブを回しながら、用紙を取り出します。



やけど 印字した直後は印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、動かしてください。

4 フロントカバー、単票テーブルの順に閉じる



プリンタがうまく動かないとき

プリンタが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。

処置を行っても機能が回復しない場合は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口(157ページ)にご相談ください。

エラーメッセージが表示されている

プリンタに異常が発生すると、ランプが点灯・点滅し、表示パネルにエラーメッセージが表示されます。

ランプの状態、表示パネルのメッセージ、プリンタの状態、および対処方法を次の表に示します。

ランプ	エラーメッセージ	異常の内容と対処
用紙切れ	ヨウシ ナシ テサシ	単票用紙がありません。単票テーブルに用紙
ランプ点灯	ヨウシヲ セットシテクダ" サイ	をセットしてください。
	ヨウシ ナシ フロントトラクタ	フロントトラクタに連続帳用紙がありません。用紙をセットしてください。
	ヨウシヲ セットシテクダ" サイ	用紙をセットしてください。
	ヨウシ ナシ リアトラクタ	リアトラクタに連続帳用紙がありません。用紙をセットしてください。
	ヨウシヲ セットシテクダ" サイ	用紙をセットしてください。
	ヨウシ ナシ C S F	カットシートフィーダに用紙がありません。
	ヨウシヲ ホキュウシテクダ" サイ	用紙をセットしてください。
	ヘ" 一ハ" ージ ャム	用紙づまりです。用紙を取り除いてください
	ヨウシヲ ヌキトッテクダ" サイ	(「つまつた用紙を取り除く」(145 ページ) 参照)
	シャコウシティマス	用紙が斜めに吸入されました。用紙を正しく
	サイセット シテクダ" サイ	セットしてください。
	フィード" ジ" ャム	連続帳用紙がつまりました。つまつた用紙
	ヨウシヲカクニンシテクダ" サイ	を取り除いてください (「つまつた用紙を取り除く」(145 ページ) 参照)
用紙切れ	タンビ" ヨウ ヌキトリマチ	単票テーブルにある用紙を取り除いてください。
ランプ点滅	ヨウシヲ ヌキトッテクダ" サイ	
	トラクタ アラーム	トラクタユニットが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。
	トラクタヲ ソウチャククダ" サイ	
用紙切れ	カハ" 一オープ" ン アラーム	トップカバーが開いています。トップカバー
ランプ点滅	カハ" 一ヲ トジ" テクダ" サイ	を閉じてください。
オンライン	テープ" ルオープ" ン アラーム	単票テーブルが開いています。単票テーブル
ランプ点滅	テープ" ルヲ トジ" テクダ" サイ	を閉じてください。

ランプ	エラーメッセージ	異常の内容と対処
用紙切れ	ハ" イタイ キリカエ チュウ	用紙の種類を切り替え中です。表示パネル
ランプ点滅	XXX	下段の指示に従って操作をしてください。
	リアトラクタ レバ" アラーム	レバーの位置が正しくありません。
	リアトラクタレバ" キリカエマチ	レバーの位置を切り替えてください (「トラクタユニットの取り付けと取り外し」の手順5(165ページ)参照)
	ヨウシヲ カットシテクタ" サイ	単票モードに切り替えようとしています。
	カットゴ" ヨウシ SWオウカ	連続帳用紙をカットし、「用紙吸入/排出」スイッチを押してください。
オンライン	テ" 一タノド" ウサ ホシ" チュウ	用紙をセットするか、「オンライン」スイッチを押すとアラームが解除されます。
ランプ点滅	ヨウシヲ セットシテクタ" サイ	
	または	
	オンラインニ シテクタ" サイ	
自動紙厚調整	MGセッティアラーム	用紙厚の設定が適切ではありません。
ランプ点滅	サイセッティ シテクタ" サイ	使用する用紙に合わせて設定し直してください(「用紙厚を調整する」(98ページ)参照)
オンライン	インシ" DUTY アラーム	高密度印字のため、分割印字をしています。
ランプ点灯	ブ" ンカツインシ" チュウテ" ス	高密度印字が終了すると、正常に戻ります。
	ヘッド" サーマル	印字ヘッドが温度アラームになっています。
	カタホウコウインシ" チュウテ" ス	印字ヘッドの温度が下がると正常に戻ります。
	または	
	シハ" ラク オマチクタ" サイ	
	SPモータ サーマル	スペースモータが温度アラームになっています。
	シハ" ラク オマチクタ" サイ	スペースモータの温度が下がると正常に戻ります。
用紙切れ	エラー0101	輸送用固定材と緩衝材が外れているか、確認してください(輸送用固定材と緩衝の取り外し)(10ページ)参照)
ランプ点滅	ハ" ワーOFFシテクタ" サイ	
ESC/P ランプ点滅	エラー0102	また、用紙づまりがないか確認してください(「つまた用紙を取り除く」(145ページ)参照)
	ハ" ワーOFFシテクタ" サイ	
	エラー0103	
	ハ" ワーOFFシテクタ" サイ	何度か電源を入れ直しても復旧しない場合は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口(157ページ)にご相談ください。
	エラー0x0x	
	ハ" ワーOFFシテクタ" サイ	プリンタの異常です。電源を入れ直してください。何度か電源を入れ直しても復旧しない場合は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口(157ページ)にご相談ください。
用紙切れ	ショシキ サムチェック アラーム	書式を登録している不揮発性メモリ内に異常
ランプ点灯	ショシキヲ クリア シマシタ	が発生し、登録書式を削除しました。
オンライン	ショシキ サムチェック アラーム	全書式を登録し直してください。
ランプ消灯	インシ" カSW - アラームOFF	
	インシ" カイシイチ セッティ	1文字目印字位置設定可能範囲を超えた。微小改行を行ってください。
	セッティハンイ オーバ" -	

プリンタが動かない

プリンタがまったく動かない場合は、「電源」ランプと「用紙切れ」ランプを確認します。「電源」ランプが消えていて、プリンタが動かないときは、プリンタの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください(「電源コードの接続」(14 ページ) 参照)。

印字ができない

印字ができない場合は、まず「オンライン」ランプの状態を確認します。

「オンライン」ランプが消えているとき

「オンライン」ランプが消えているときは、印字できません。

「オンライン」を押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。

「オンライン」ランプが点灯しているとき

- ・ プリンタの電源を切り、プリンタとパソコンをつなぐプリンタケーブルの接続を確かめてください(「パソコンとの接続」(13 ページ) 参照)。
- ・ 「ESC/P」ランプを見て、動作モードを確認してください(65 ページ 参照)。

印字音はするのに印字しないとき

リボンカセットが取り付けられていません。

リボンカセットを取り付けてください(「リボンカセットの取り付け」(15 ページ) 参照)。

リボンカセットが取り付けてあるのに印字しないときは、印字ヘッドとリボンガイドの間にリボンが入っているかどうかを確かめてください。

印字が欠ける、薄い

印字が欠けるときは、その欠けかたにより原因を判断します。

印字が横一列に欠けるとき

印字ヘッドのピンが折れています。

印字ヘッドを交換する必要があります。お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター(157 ページ)にご連絡ください。

印字の下の部分が欠けるとき

リボンカセットが正しく取り付けられていません。

印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付け直してください(「リボンカセットの取り付け」(15 ページ) 参照)。

印字がムラになって欠けるとき

リボンがたるんだり、ねじれたりしています。

印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付け直してください
(「リボンカセットの取り付け」(15ページ) 参照)

印字が薄いとき

- リボンが古くなっています。

新しいリボンカセットと交換してください(「リボンカセットを交換する」(140ページ) 参照)

- 用紙厚の調整が正しくありません。

使用している用紙の厚みに合わせて、用紙厚を調整してください
(「用紙厚を調整する」(98ページ) 参照)

思いどおりに印字ができない

印字位置がずれる場合や、はがきにうまく印字できないときは、次の処置をします。

印字開始位置が上、または下すぎるとき

印字開始位置がずれる場合は、次の処置をします。

- 用紙吸入量 (XXXTOP イチ) を調整してください(「機能設定を変える」(68ページ) 参照)
- ソフトウェアで上端余白の設定が必要な場合があります。
お使いのアプリケーションソフトの説明書で確認してください。

ハガキや封筒にうまく印字できないとき

- 用紙吸入量 (XXXTOP イチ) を調整してください(「機能設定を変える」(68ページ) 参照)

- 用紙厚の調整が正しくありません。

使用している用紙の厚みに合わせて、用紙厚を調整してください
(「用紙厚を調整する」(98ページ) 参照)

連続帳票用紙に重ね印字(二度打ち)するとき

- 印字後、用紙をカットしてください(「操作パネルの機能」(64ページ) 参照)

- 印字後、用紙カット位置まで自動的に送るよう、設定(XXXカットモード)を変更してください(「機能設定を変える」(68ページ) 参照)

単票用紙で、印刷下端が1ページ内に納まらず、次のページに印刷するとき

- 改行量を調整してください(「調整メニュー」(82ページ)「調整のしかた」(83ページ) 参照)

- 用紙吸入量 (XXXTOP イチ) を調整してください(「機能設定を変える」(68ページ) 参照)

うまく用紙送りができない

用紙がつまつたり、まがつたりして、正しく送られない場合は以下の処置を行います。

用紙がつまつたとき

用紙を破かないように、ゆっくり取り除いてください
(「つまつた用紙を取り除く」(145ページ)参照)

通常の給紙の場合に、うまく用紙送りできないとき

- 用紙がきちんとセットされているかどうかを確かめてください
(「用紙のセット」(85ページ)参照)
- 使用する用紙が正しく選択されていません。
オフライン状態にして「用紙モード」スイッチを押し、使用する用紙に合ったランプを点灯させてください。
- 用紙厚の調整が正しくありません。
使用している用紙の厚みに合わせて、用紙厚を調整してください
(「用紙厚を調整する」(98ページ)参照)
- 用紙の仕様が合っていません。
仕様に合った用紙を使用してください(「第5章 用紙について」参照)
- 折れたり、曲がつたりしている用紙は使用しないでください。

カットシートフィーダ／トラクタユニット(オプション)を使用している場合に、うまく用紙送りできないとき

- カットシートフィーダ／トラクタユニットに用紙が正しくセットされていません。
枚数が多過ぎないかどうかを確かめてください。
- カットシートフィーダ／トラクタユニットがプリンタにきちんとセットされていません。正しくセットし直してください(「カットシートフィーダの取り付けと取り外し」(161ページ)「トラクタユニットの取り付けと取り外し」(163ページ)参照)
- 用紙の仕様が合っていません。
仕様に合った用紙を使用してください(「第5章 用紙について」参照)



テスト印字をする

プリンタが正しく動くことを確認するためにテスト印字を行います。テスト印字には、A4サイズ以上の単票の縦、または15インチ幅の連続帳票用紙を使用します。

ガイド

テスト印字の印字サンプルは、173ページを参照してください。

テスト印字は、次の手順で行います（手差しの場合）。

1 電源を入れる

電源スイッチを「|」側に倒します。

2 オフライン状態で「用紙モード」スイッチを押し「テサシ」にする

3 電源を切る

電源スイッチを「」側に倒します。

4 テストに対応したスイッチを押しながら電源を入れる

次の表にテスト項目とスイッチを示します。実行するテストに該当するスイッチを押しながら電源を入れ、表示パネルに『スイッチヲ ニンシキシマシタ』と表示されるまでスイッチを押し続けます（ は、スイッチ押すことを示します）。

テスト項目	スイッチ
改ページ	改ページ
改行	改行
用紙	用紙
メニュー	メニュー
高複写	高複写
機能切換え	機能切換え
吸入 / 排出	吸入 / 排出
6インチローリング	
アスキー単発	
6インチスキップ	
ANK 連続	
13.6インチスキップ	
ANK 連続	

5 用紙をセットする

用紙の左端を用紙ガイドに添わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

約1秒後に用紙が自動的に吸入され、テスト印字が開始されます。

6 必要に応じてテスト印字を中断、再開する

テスト印字中に、「オンライン」スイッチを押すと印字を中断します。印字を再開するときは、再度「オンライン」スイッチを押します。テスト印字は、ひとつのテスト項目が終わると自動的に終了し、用紙を排出します。

7 電源を切る

ガイド

- ・テスト印字中は、「オンライン」ランプが点灯しますが、パソコンからのデータは印字できません。
- ・単票モードの場合、印字幅は6インチになります。
- ・カットシートフィーダ(オプション)を取り付け、CSFモードの場合、連続的に印字します。
- ・テスト印字中に用紙モード(帳票モード/単票モード)を切り換えないでください。とくに、帳票モードから単票モードに切り換えると、空印字を行う部分ができ、プラテンを傷つけたり、汚したりする原因となります。



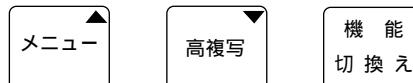
HEXダンプで印字する

HEXダンプは、パソコンから送られてきたデータを、16進数で印字する機能です。

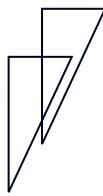
HEXダンプ印字は、プログラム診断に利用します。

HEXダンプで印字するときは、次の手順で行います。

- 1 プリンタに連続帳票用紙をセットする
- 2 次のスイッチを同時に押したまま電源を入れ、『スイッチヲ ニンシキシマシタ』と表示されるまで押し続ける



- 3 パソコンから、印字データを送る
- 4 HEXダンプ印字を解除するときは、電源を切る



清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

お願い

- ・ 清掃の際は、必ず電源を切ってください。
- ・ シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。
プリンタの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。
- ・ プリンタの内部を濡らさないでください。電気回路がショートする恐れがあります。
- ・ プリンタに潤滑油を補給しないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。潤滑油の補給が必要な場合は、お求めの販売店、または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口（157ページ）までご連絡ください。

清掃は、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を切る

電源スイッチを「」側に倒し、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 リアスタッカを取り外し、トップカバー、単票テーブルを開ける

3 プリンタ内部を拭く

中性洗剤を薄めた水に清潔な柔らかい布を浸してよく絞り、プラテンなどのプリンタ内部やフロントカバーの内側を拭きます。

お願い

印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないように注意してください。

4 リアスタッカを拭く

手順2で取り外したリアスタッカを拭きます。

5 リアスタッカを取り付けて、電源を入れる

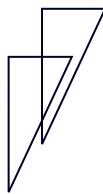
リアスタッカを取り付けます。トップカバー、単票テーブルを閉じます。電源プラグをコンセントに差し込み、プリンタの電源を入れます。



プリンタを輸送するとき

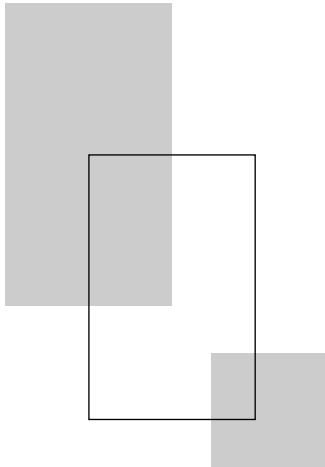
プリンタを衝撃から守るために、以下の手順で梱包してから輸送してください。

- 1 プリンタの電源を切る
電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。
- 2 用紙を取り去り、リアスタッカを取り外す
- 3 電源コードを抜き、プリンタケーブルを取り外す
電源プラグをコンセントから抜き、プリンタケーブルをプリンタから取り外します。
- 4 リボンカセットを取り外す
141ページを参照して、リボンカセットを取り外します。
- 5 リアスタッカを包装する
- 6 輸送用固定材を取り付ける
印字ヘッドを保護するために、「輸送用固定材と緩衝材の取り外し」(10ページ)と逆の手順で輸送用固定材を取り付けます。
- 7 プリンタを箱に入れる
プリンタを衝撃から守るために、梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れます。



アフターサービス

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 保守部品供給期間は、このプリンタの製造中止後6年です。ご了承ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。
- 純正、サプライ品以外の用品をお使いになったことによる、製品の誤動作および故障に関しては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障の際は下記にご連絡ください。
「ハードウェア修理相談センター」
フリーダイヤル：0120-422-297
受付時間：平日 9:00～17:00
(土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く)
- プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。
「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」
フリーダイヤル：0120-950-222
受付時間：平日 9:00～17:00
(土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く)



第7章

オプション

この章では、オプションの種類および取り付け、取り外しについて説明します。

オプションの種類	160
カットシートフィーダの取り付けと取り外し	161
取り付け	161
取り外し	162
トラクタユニットの取り付けと取り外し	163
取り付け	163
取り外し	166



オプションの種類

本プリンタには、次のオプションがあります。

カットシートフィーダ (FMPR-CF9)

単票用紙を一枚ずつ、連続的にプリンタに送る自動給紙装置です。プリンタの前部に取り付けて使用します。

トラクタユニット (FMPR-TU9)

プリンタ後部から連続帳票用紙を給紙できるようにする装置です。



カットシートフィーダの取り付けと取り外し

カットシートフィーダは、プリンタの前部に取り付けて使用するものです。カットシートフィーダにセットされた単票用紙を一枚ずつ、連続的にプリンタ装置に送る自動給紙装置です。

お願い

- ・ カットシートフィーダを取り付け／取り外しをするときは、必ずプリンタの電源を切ってください。
- ・ 取り付けた状態でカットシートフィーダの上部を手で押さないでください。強く押すと、プリンタが倒れることができます。

取り付け

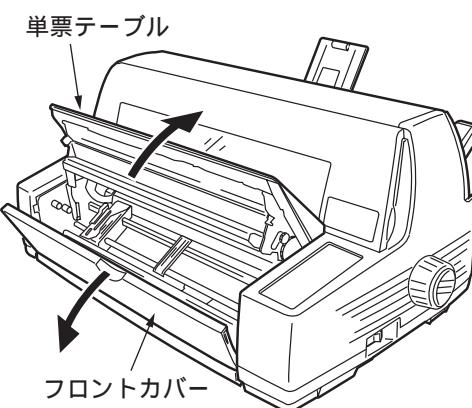
カットシートフィーダは、次の手順でプリンタに取り付けます。

1 プリンタの電源を切る

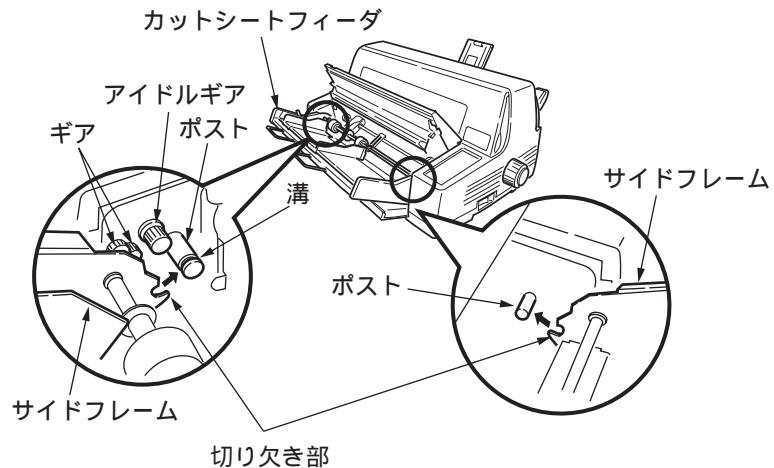
プリンタ右側面の電源スイッチを「」側に押します。



2 単票テーブルを持ち上げて開き、フロントカバーを手前に開く

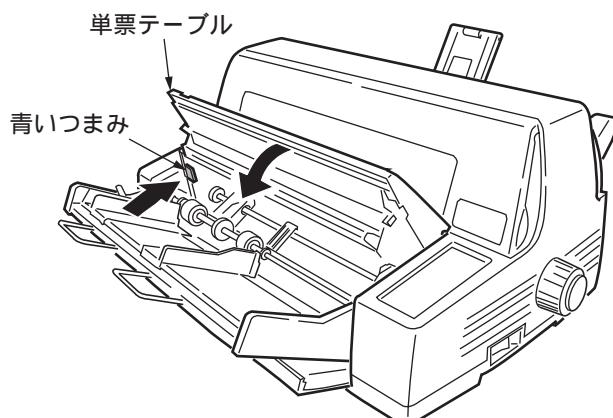


3 カットシートフィーダを両手で持ち、サイドフレームの切り欠き部分をプリンタ両サイドのポストに合わせる
左側のサイドフレームはポストの溝に合わせます。



4 ポストを支点にしてカットシートフィーダ全体を、ロックするまでゆっくりと押し下げる
このとき、左側のギアがアイドルギアと噛み合っていることを確認します。

5 単票テーブルを閉じる
単票テーブルを持ち上げた状態で、左の支柱の青いつまみを押します。
手を離すと単票テーブルは自動的に閉じます。



ガイド

カットシートフィーダを正しく取り付けると、プリンタの電源を入れたときに表示パネルに「CSF」と表示されます。

取り外し

カットシートフィーダの取り外しは、「取り付け」と逆の手順でゆっくり取り外します。



トラクタユニットの取り付けと取り外し

トラクタユニットは、プリンタ後部から連続帳票用紙を給紙できるようにする装置です。

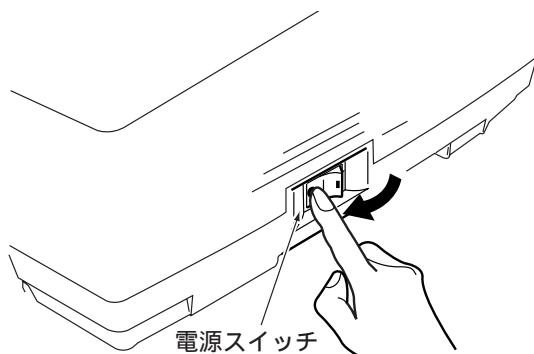
お願い

トラクタユニットを取り付け／取り外しをするときは、必ずプリンタの電源を切ってください。

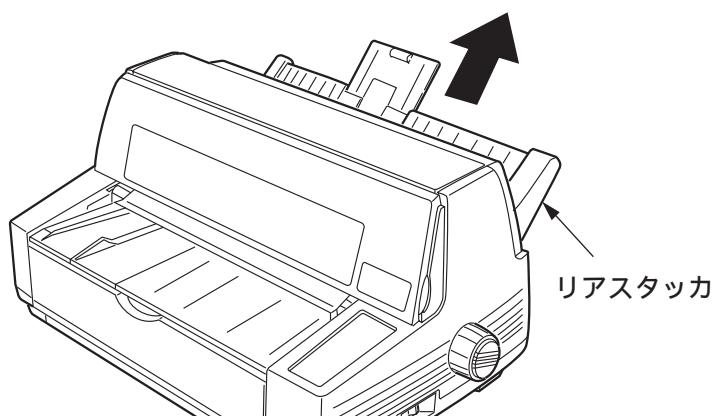
取り付け

1 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

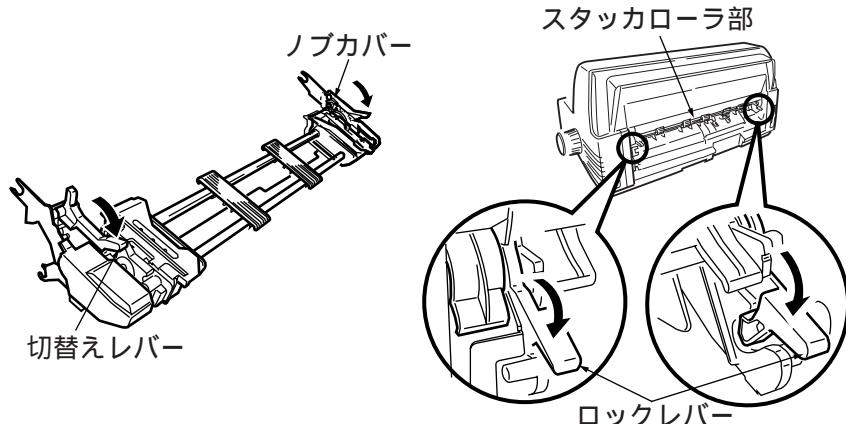


2 リアスタッカを外す

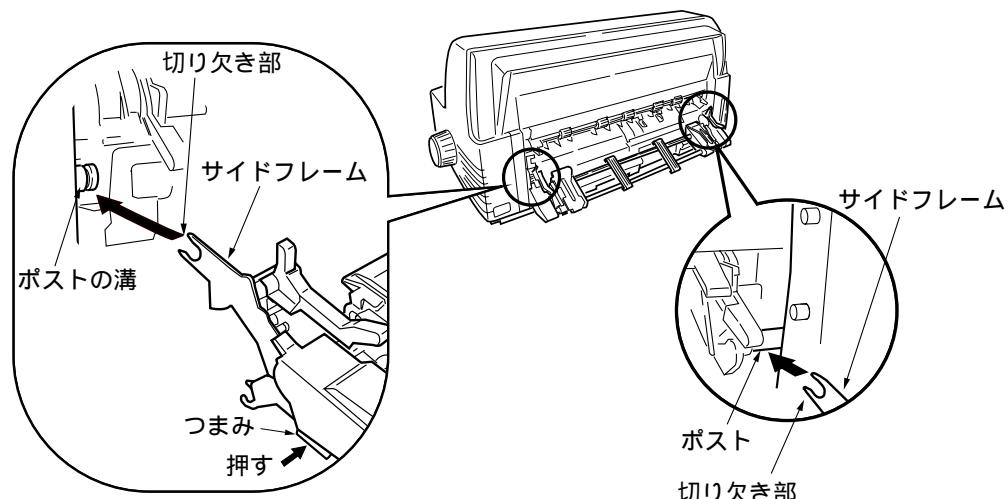


リアスタッカ

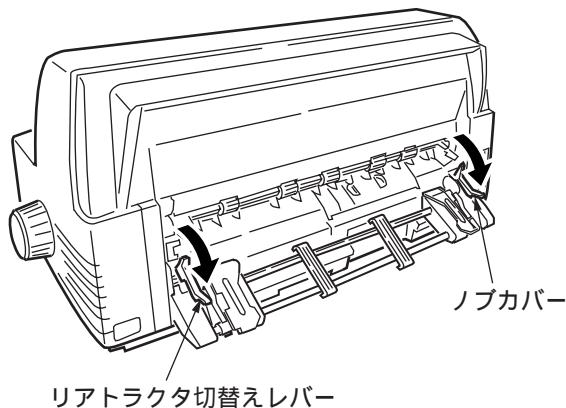
3 トラクタユニットの左側にある切替えレバーと、右側のノブカバーが下がっていることを確認する
また、プリンタ後部のスタッカローラ部のロックレバーが下がっていることを確認する



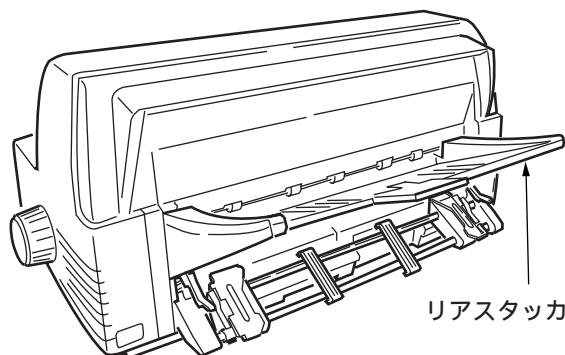
4 トラクタユニットの両側下にあるつまみを押しながら、トランクタユニット先端の切り欠き部をプリンタ後方両側のポストに差し込み、そのまま押し下げる
左側の切り欠きとポストの溝を合わせます。



5 トランクタユニット左側のリアトランクタ切替えレバーと右側のノブカバーを下げる

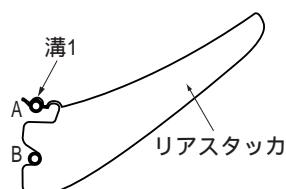


6 リアスタッカを取り付ける



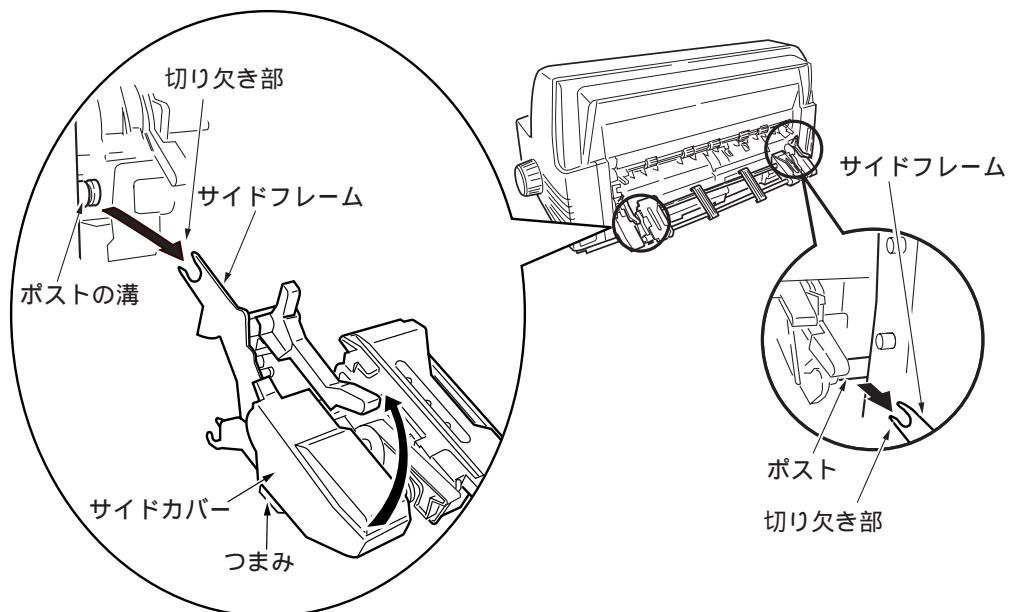
お願い

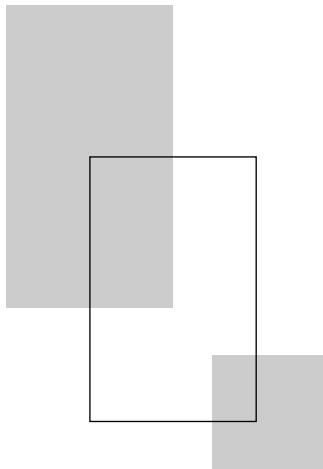
リアスタッカは「通常のセット状態」(溝1に差し込んだ通常状態)で使用してください。



取り外し

トラクタユニットの両側を持って、両側のサイドカバーの裏面にあるつまみを押しながら、フレーム先端をポストからゆっくり取り外してください。





付 錄

プリンタの概略仕様	168
サプライ用品	172
テスト印字サンプル	173
インターフェース仕様	175
初期状態	179
ESC/P モード	179
FM モード (FMPR5300 の場合のみ)	180
コマンド一覧表	181
ESC/P モードコマンド一覧表	181
FM モードコマンド一覧表 (FMPR5300 の場合のみ)	185
キャラクタコード一覧表	190
ESC/P モードキャラクタコード一覧表	190
FM モードキャラクタコード一覧表 (FMPR5300 の場合のみ) ..	192
非漢字一覧表	193
JIS⁹⁰第一水準漢字一覧表	200
JIS⁹⁰第二水準漢字一覧表	203
ご注意	206



プリンタの概略仕様

用紙については、「第5章 用紙について」(101ページ)を参照してください。

制御コード FMPR5300 : FM、ESC/P モード
FMPR5300E : ESC/P

印字方式 ワイヤドットマトリックス

印字方向 両方向最短距離印字

文字種類	ANK 文字	英数字・記号(SP 含む)	95 種
		カタカナ・記号	63 種
		罫線素片・符号・漢字	63 種
		特殊文字	79 種
		拡張グラフィックス	48 種
		国際文字他	7 種

ガイド

カタカナ・記号、罫線素片・符号・漢字はスーパー / サブスクリプトモード、プロポーショナルモードおよび15CPI モードの場合を除きます。

漢字(JIS 第1水準)	漢字	2965 種
	非漢字	524 種
	特殊文字	83 種
漢字(JIS 第2水準)	漢字	3390 種
	外字登録可能文字種	188 種

文字構成

高速度 ANK(10CPI)	英数字	10 ドット(横) × 16 ドット(縦)
	カタカナ	10 ドット(横) × 18 ドット(縦)
	罫線素片	12 ドット(横) × 17 ドット(縦)
	拡張グラフィックス	12 ドット(横) × 30 ドット(縦)

高品位 ANK(10CPI)	英数字	30 ドット(横) × 17 ドット(縦)
	カタカナ	30 ドット(横) × 18 ドット(縦)
	罫線素片	36 ドット(横) × 18 ドット(縦)
	拡張グラフィックス	36 ドット(横) × 30 ドット(縦)
	漢字	24 ドット(横) × 24 ドット(縦)
	外字登録可能文字	24 ドット(横) × 24 ドット(縦)

文字の大きさ

		単位 [mm]	
文字種	文字構成	横	縦
高速度ANK	10ドット(横)×16ドット(縦)	2.11	2.32
	10ドット(横)×18ドット(縦)	2.11	2.60
	12ドット(横)×17ドット(縦)	2.53	2.46
	12ドット(横)×30ドット(縦)	2.53	4.29
高品位ANK	30ドット(横)×17ドット(縦)	2.25	2.46
	30ドット(横)×18ドット(縦)	2.25	2.60
	36ドット(横)×18ドット(縦)	2.67	2.60
	36ドット(横)×30ドット(縦)	2.67	4.29
漢字	24ドット(横)×24ドット(縦)	3.45	3.45
外字登録	24ドット(横)×24ドット(縦)	3.45	3.45

印字間隔	高速度 ANK	2.54mm(1/10 インチ)(12 ドット)
	高品位 ANK	2.54mm(1/10 インチ)(36 ドット)
	漢字	3.81mm(27/180 インチ)(27 ドット)
	初期値	
	外字登録可能文字	3.81mm(27/180 インチ)(27 ドット)

1行最大印字数 0.14mm (1/180 インチ) / ドットで1行最大 2448 ドット

単位 [字 / 行]		
	標準	横拡張
高速度ANK(10CPI)	136	68
高品位ANK(10CPI)	136	68
漢字	90	45
外字	90	45

印字速度 複写紙の場合、用紙厚に応じて印字速度を低下します。

単位 [字 / 秒]				
文字種	モード	通常印字 (Full Dot)	高速印字	高複写印字
高速度ANK(10CPI)		530	左記の2バス印字	
高品位ANK(10CPI)	187	360	左記の2バス印字	
漢字	125	240	左記の2バス印字	
外字	125	240	左記の2バス印字	

改行間隔	1改行 4.23mm(1/6インチ)、3.18mm(1/8インチ)、n × 0.42mm(n/60インチ)、n × 0.14mm(n/180インチ)、n × 0.07mm(n/360インチ)
複写能力	通常印字時 : オリジナル + 5枚 高複写モード時 : オリジナル + 7枚
紙送り方向	フロントパス方式 (オプションのトラクタユニットはリアパス)
紙送り方式	フリクションフィード方式 ピントラクタフィード方式
用紙終了検出	連続帳票 フロント押し込みトラクタ方式の場合、印字位置より用紙残量約24mmで検知します。 · オプションのトラクタユニットの場合、印字位置より用紙残量約24mmで検知します。 · ただし、メニューで選択されたペーパーエンド位置まで印字した後、ペーパーエンドとなります。
	単票 印字位置より用紙残量約6.35mmで検知します。
インクリボン	リボンカセット SDM-6 黒 サブカセット SDM-6 黒
外形寸法	(幅)約685mm × (奥行)約532mm × (高さ)約315mm (プラテンノブ、リアスタッカ実装状態) (幅)約648mm × (奥行)約395mm × (高さ)約315mm (本体のみ)
重量	プリンタ本体 約29kg
入力電源	単相交流 100V ± 10%(50/60Hz ± 1Hz)
消費電力	動作中最大 約530W 平均 約180W 待機時 約30W パワーセーブ時 15W以下

高調波抑制対策 高調波ガイドライン適合品(クラスA)

電源コード 3極ACコード 長さ約2.3m(カバー面より)

周囲温度、湿度 動作時：5 ~ 40 、30% ~ 85%RH
(ただし、湿球温度30以下)
保存時：-20 ~ 60 , 5% ~ 95%RH
(ただし、湿球温度40以下、結露なきこと)

塵埃、腐食性 一般事務室程度の環境で使用してください。

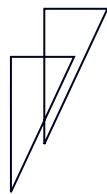
インターフェース 標準パラレルインターフェース
(セントロニクスインターフェースに準拠)

耐用期間 プリンタ装置：5年(電源の通電条件8時間/日以内)または500万行(いずれか早い方)

印字ヘッド：通常モード 3億打/ピン
高複写モード 1.5億打/ピン

耐用期間は、プリンタの設置環境、使用頻度により、大幅に変動します。

24時間通電による運用の場合の耐用期間は、1/3に減少します。



サプライ用品

サプライ用品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店、富士通コワーコへご相談ください。

商品名	商品番号	備考
リボンカセットSDM-6	0325250	約1000万ANKドット
サブカセット SDM-6	0325260	0325250詰替え用
プリンタラックRPX-51	1509021	重量 16.5kg



テスト印字サンプル

6インチローリングアスキー単発

41301101YR VER 01 F/W REV 01.00

6インチスキップ ANK 連続



41301101YR VER 01 F/W REV 01.00

「13.6インチスキップANK連続」のとき、テスト印字は136行で印字しますので、B4横以上の用紙を使用してください。



インターフェース仕様

コネクタおよびケーブル

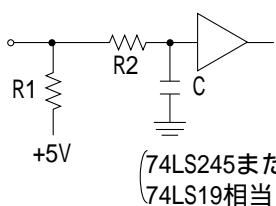
コネクタ	プリンタ側 36 極コネクタ(メス) 57RE-40360-730B-D29A(第一電子製)相当品
ケーブル側	36 極コネクタ(オス) 5717FE-30360-20N(D8)(第一電子製)相当品
ケーブル	最長 2.5m 以下のケーブルを使用してください。 (ノイズ対策上は、ツイストペア線を用い、シールドされているものを使用してください)

インターフェースレベル

ローレベル	0.0V ~ +0.7V
ハイレベル	+2.4V ~ +5.0V

インターフェース回路

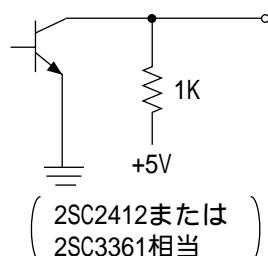
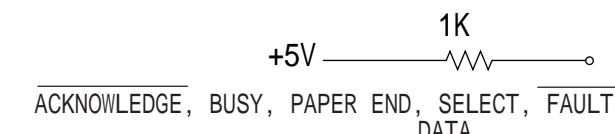
RECEIVER



	R1	R2	C
INIT	2K	100	0.001 μ F
DATA STROBE	1K	100	560pF
AUTO FEED XT, SLCT IN 他	2K	100	0.001 μ F
DATA BIT 1 ~ 8	1K	100	560pF

DRIVER

+5V



入力回路と同一(74LS245相当)で出力される。
(双方向セントロのため)

インターフェース信号

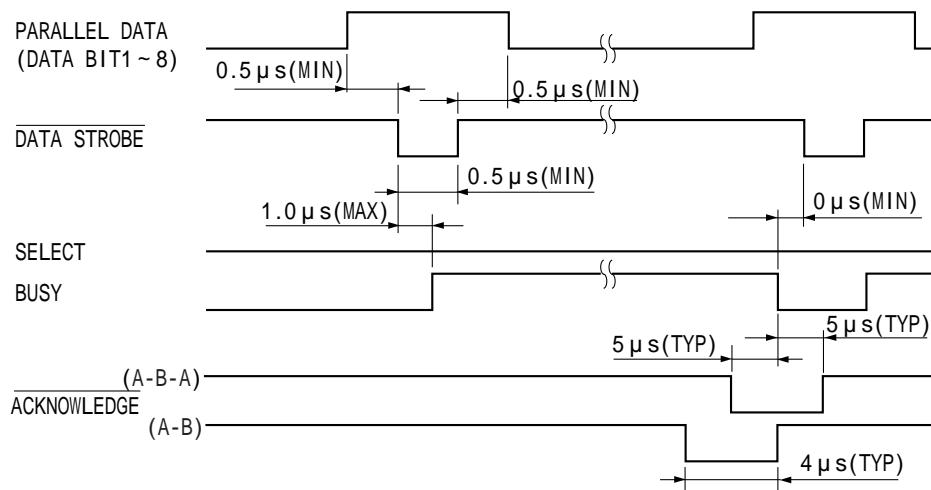
インターフェース信号の名称およびピン番号を下表に示します。

ピン No.	信号名	方向	機能
1	DATA STROBE	入力	DATA BIT 1 ~ 8 の読み込み信号です。ハイレベルからローレベルに変化するとBUSY信号がハイレベルになり、入力データを読み込みます。
2	DATA BIT1	入力	入力データの1ビット目から8ビット目です。ハイレベルが論理“1”、ローレベルが論理“0”を示します。 DATA BIT 1 が LSB (最下位ビット) DATA BIT 8 が MSB (最上位ビット) です。
3	DATA BIT2		
4	DATA BIT3		
5	DATA BIT4		
6	DATA BIT5		
7	DATA BIT6		
8	DATA BIT7		
9	DATA BIT8		
10	ACKNOWLEDGE	出力	入力データの受信処理完了を示す信号で、DATA STROBEに対する応答パルス信号です。 電源投入時は、BUSY信号を最初にローレベルにするときに1パルス出力します。
11	BUSY	出力	プリンタがデータ受信可能かどうかを示す信号で、ハイレベル時はデータ受信不可能、ローレベル時は、データ受信が可能です。 次の条件でハイレベルになります。 <ul style="list-style-type: none">DATA STROBE 信号を受信してから、受信データの処理を終了するまでオフライン状態の間INIT信号の受信または電源投入時のインシャル処理を行う間アラームとなった場合
12	PAPER END	出力	用紙終了を検出するとハイレベルになります。 ただし、1行の受信途中ではその場でハイレベルにはならず、行受信を完了した時点でハイレベルになります。 用紙をセットするとローレベルになります。
13	SELECT	出力	常時ハイレベルです。 1K で +5V へプルアップされています。
14	AUTO FEED XT	入力	電源投入時、この信号がローレベルになつていると、CR コードの受信で復帰改行を行います。

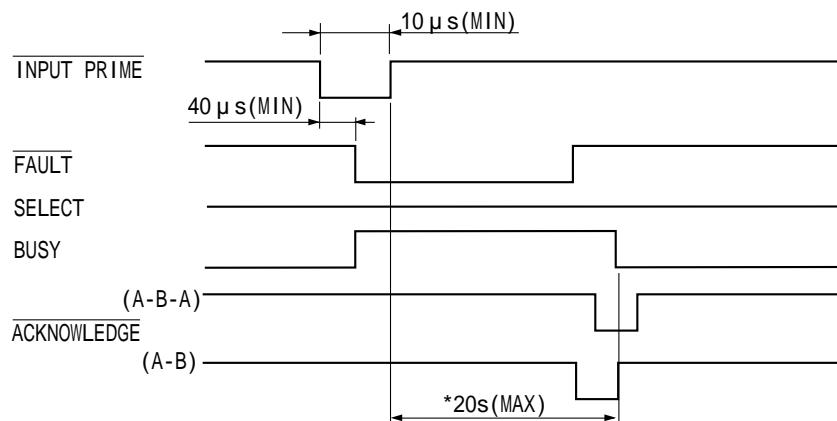
ピン No.	信号名	方向	機能
15			使用しません。
16	0V		信号用アース
17	CHASSIS GROUND		Frame Ground (保安用アース)
18	+5V		ハイレベル時プリンタの電源ON状態を示します。 1K で +5V へプルアップされています。
19 ~ 30	0V		Twisted Pair Return (1ピンから 12ピンに対応した信号用アース)
31	INIT	入力	ローレベルになるとプリンタは初期状態になります。パルス幅は 10 μ s 以上必要です。 また、バッファ内に残ったデータは、すべて印字してから初期状態になります。
32	FAULT	出力	アラームを示す信号で、以下の場合にローレベルになります。 <ul style="list-style-type: none"> ・オフライン状態の間 ・アラームとなった場合 ・イニシャル処理を行う間
33	0V		信号用アース
34	CSF JAM		常時ハイレベルです。 1K で +5V へプルアップされています。
35	CSF ON		常時ハイレベルです。 1K で +5V へプルアップされています。
36	SLCT IN	入力	電源投入時、ローレベルになっていると DC1/DC3 コードが無効になります。

インターフェースタイムチャート

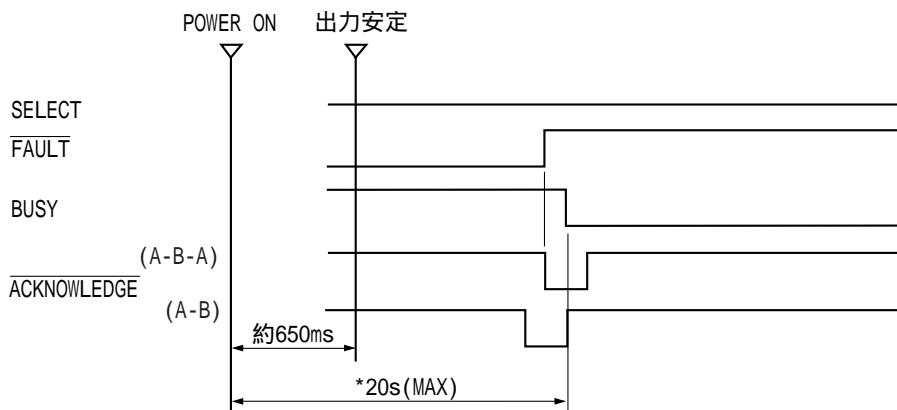
データ受信



INPUT PRIME 受信



POWER ON



* カットシートフィーダをセットした場合は約25sec(MAX)となります。

初期状態

ESC/P モード

電源投入時、INIT受信時、およびリセットコマンド(ESC @)受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、INIT	リセットコマンド
ページ先頭位置	初期化時に印字ヘッドのある位置	同 左
印刷バッファ	クリア	"
メカニズム	印字ヘッドをホームポジションに移動	しない
ダウンロード文字	クリア	クリア
外字定義文字		しない
ページ長	11インチ	(注1)
ミシン目スキップ	解除	(注1)
右マージン	136桁(10CPIの文字幅による)	
左マージン	0	
改行量	1/6インチ/行	(注1)
水平タブ位置	8文字ごとの水平タブ	
垂直タブ位置	無指定	
文字ピッチ	10文字/インチ	(注1)
プロポーショナル	解除	
英数カナ文字書体	クーリエ	(注1)
文字品位	高品位(注1)	
国際文字選択	日本	(注1)
文字コード表	カタカナコード表	(注1)
文字間スペース量	0	
文字装飾	解除	
縮小	解除	(注1)
漢字モード	解除	
漢字書体	明朝体	(注1)
縦書き/横書き	横書き	
全角文字/半角文字/1/4角文字	全角文字	
全角漢字の左右スペース量	左スペース量:0 右スペース量:3	
半角漢字の左右スペース量	左スペース量:0 右スペース量:2	
1/4角文字の左右スペース量	左スペース量:0 右スペース量:2	
漢字装飾	解除	
单方向印字	解除	(注1)
漢字高速印字	解除	(注2)
カラー選択	黒	
カットシートフィーダモード		第1ピン選択

注1: 機能設定の内容により、初期状態が異なります。上記は、機能設定が出荷時の状態の場合です。

注2: ただし、「高速」スイッチにより高速印字モードにしていた場合、ESC @受信では高速印字を解除しません。

FM モード (FMPR5300 の場合のみ)

電源投入時、INIT 受信時、およびリセットコマンド (RIS/RBS) 受信時の初期状態を下表に示します。

	電源投入、INIT	リセットコマンド
解像度	180dpi	同 左
行受信バッファ	クリア	"
左端、右端の設定	左端 = 左端 1 = 左端 2 = 1 ドット (始端) 右端 = 2448 ドット (終端)	"
タブ設定 (水平、垂直)	すべて解除	"
ページ長	11 インチ	"
スキップパーフォレーション行	0 行	"
改行ピッチ	1/6 インチ	"
書 体 (ANK)	ドラフト	"
ANK 文字ピッチ	1/10 インチ	"
ANK 文字サイズ	標準	"
ANK アンダーライン	なし	"
スーパ / サブスクリプト指定	解除	"
プロポーショナル指定	解除	"
プロポーショナル空白幅	1/10 インチ	"
書 体	明朝 (注)	"
漢字指定	ANK モード	"
漢字文字ピッチ	3/20 インチ	"
漢字縦書き	横書き	"
漢字縦書き時の文字回転	物理的に左 90 ° 回転	"
半角縦書きの制御	2 文字ペア	"
漢字アンダーライン	なし	"
漢字文字サイズ	標準	"
漢字縦拡大の基準	上端合わせ	"
罫線接続	接続しない	"
漢字未定義コード	印字	"
外字登録	すべてクリア	保 持
カットシートフィーダ / トラクタユニット搭載時	用紙排出	同 左
カットシートフィーダ / トラクタユニットのホッパから	一般紙	"
吸入する用紙の指定		
色指定	黒	"

注: 機能設定の「書体」の設定によります。

コマンド一覧表

本プリンタで使用できるコマンドについて、簡単に説明します。FM モードのコマンドの詳細は、別売の「FM プリンタシーケンス リファレンスマニュアル（シリアルプリンタ編）」(80HP-0700-「」)をご覧ください。

ガイド

- ・ 本プリンタでは、1インチ以上の逆改行を行わないでください。
これを行うと、印字が乱れたり、用紙づまりの原因になったりします。
- ・ カットシートフィーダ／リアトラクタユニットから給紙する場合、逆改行のトータル量は1/3インチ以下とします。

表の見方

- ・ < >₁₆ 内の文字は16進表記です。
- ・ コマンド欄の記号は、次のコードを意味します。

ESC = < 1B > ₁₆	CSI = < 1B > ₁₆ + < 5B > ₁₆
CEX = < 1C > ₁₆	PUI = < 1B > ₁₆ + < 51 > ₁₆
- ・ “ □ ” は、スペース（空白<20>₁₆）を示します。
- ・ Pa、P₁、P₂、…、Pn はパラメータを示します。

ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

・書式設定・実行

機能名称	名 称	コマンド	機 能
印字領域 設定	行単位ページ長設定	ESC + C + Pa	行単位でページ長を設定します。
	インチ単位ページ長設定	ESC + C + NUL + Pa	インチ単位でページ長を設定します。
	ミシン目スキップ設定	ESC + N + Pa	ページ長下端からのミシン目スキップ位置を設定します。
	ミシン目スキップ解除	ESC + O	ミシン目スキップ設定を解除します。
改行量 設定	右マージン設定	ESC + Q + Pa	右マージン位置を桁数で設定します。
	左マージン設定	ESC + L + Pa	左マージン位置を桁数で設定します。
	1/8インチ改行量指定	ESC + 0	改行量を1/8インチに設定します。
タブ設定	1/6インチ改行量指定	ESC + 2	改行量を1/6インチに設定します。
	n/180インチ改行量指定	ESC + 3 + Pa	改行量をPa/180インチに設定します。
	n/60インチ改行量指定	ESC + A + Pa	改行量をPa/60インチに設定します。
	n/360インチ改行量指定	ESC + + + Pa	改行量をPa/360インチに設定します。
垂直タブ位置設定	垂直タブ位置設定	ESC + B + P ₁ + P ₂ + ...Pn + NUL	ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。
	水平タブ位置設定	ESC + D + P ₁ + P ₂ + ...Pn + NUL	左マージン位置からの水平タブ位置を設定します。
VFU チャネル選択 VFU タブ位置設定	VFU チャネル選択	ESC + / + Pa	チャネル番号を指定します。
	VFU タブ位置設定	ESC + b + Pa + P ₁ + ...Pn + NUL	Paで指定されたチャネル番号に対して、 ページ先頭行からの垂直タブ位置を設定します。

機能名称	名 称	コマンド	機 能
印字・ 紙送り	印字復帰	CR	バッファ内のデータを印字後、受信位置を同一行の左マージン位置にします。
	改行	LF	バッファ内のデータを印字後、現在の改行ピッチに従って受信位置を次行の左マージン位置にします。
	改ページ	FF	バッファ内のデータを印字後、設定されているページ長にしたがって改ページします。
	n/180 インチ	ESC + J + Pa	1/180 インチ単位で、受信位置を現在位置から順方向紙送りの移動量で指定します。
印字位置 設定	水平タブ実行	HT	受信位置を同一行の次の水平タブ位置へ移動します。
	垂直タブ実行	VT	バッファ内のデータを印字後、受信位置を次の垂直タブ位置の左マージン位置へ移動します。
	後退	BS	受信位置を直前の文字の文字ピッチに従って1文字分左へ移動します。
	絶対位置指定	ESC + \$ + P ₁ + P ₂	受信位置を左マージン位置からの移動量で指定します。
	相対位置指定	ESC + ¥ + P ₁ + P ₂	受信位置を現在位置からの移動量で指定します。

・テキスト処理 / ANK 文字

機能名称	名 称	コマンド	機 能
文字セット	12CPI 指定	ESC + M	ANK 文字のピッチを 12CPI に設定します。
	10CPI 指定	ESC + P	ANK 文字のピッチを 10CPI に設定します。
	15CPI 指定	ESC + g	ANK 文字のピッチを 15CPI に設定します。
プロポーショナル 指定 / 解除		ESC + p + Pa	プロポーショナル印字の指定、解除を行います。
国際文字選択		ESC + R + Pa	各国別の文字セットを選択します。
スーパー / サブスクリプト指定		ESC + S + Pa	ANK 文字のスーパー / サブスクリプトを指定します。
スーパー / サブスクリプト解除		ESC + T	スーパー / サブスクリプトの指定を解除します。
文字品位選択		ESC + x + Pa	ANK 文字の文字品位を指定します。
書体選択		ESC + k + Pa	ANK 文字の書体を指定します。
文字コード表選択		ESC + t + Pa	ANK 文字のコード表を選択します。
文字定義	ダウンロード文字 セット指定 / 解除	ESC + % + Pa	ANK 文字のダウンロード文字セットの指定、解除を行います。
	ダウンロード文字定義	ESC + & + NUL + P ₁ + P ₂ + { Pa ₁ + Pb ₁ + Pc ₁ + D ₁ ~ Dn } × n	ダウンロード文字を定義するコードを指定し、定義開始コードおよび定義終了コードを指定します。
	文字セットコピー	ESC + : + NUL + P ₁ + P ₂	ダウンロード文字セットへコピーする書体を選択します。
文字ビッ チ調整	文字間スペース量設定	ESC + ▾ + Pa	ANK 文字幅に付加するスペース量を指定します。
位置揃え 選択	位置揃え選択	ESC + a + Pa	文字の印字位置の揃えかたを指定します。
装飾	縮小指定	SI	ANK 文字の縮小印字を指定します。
	縮小指定	ESC + SI	
	縮小解除	DC2	ANK 文字の縮小印字指定を解除します。
	アンダーライン指定 / 解除	ESC + - + Pa	ANK 文字のアンダーラインの指定、解除を行います。
	縦倍拡大指定 / 解除	ESC + w + Pa	ANK 文字の縦倍拡大の指定、解除を行います。

・テキスト処理 / 共通

機能名称	名 称	コマンド	機 能
装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
	自動解除付き倍幅拡大指定	ESC + SO	
	自動解除つき倍幅拡大解除	DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
	倍幅拡大指定 / 解除	ESC + W + Pa	ANK および漢字文字の倍幅拡大の指定、解除を行います。
	強調指定	ESC + E	ANK および漢字文字の強調文字を指定します。
	強調解除	ESC + F	ANK および漢字文字の強調文字指定を解除します。
	二重印字指定	ESC + G	ANK および漢字文字の二重印字を指定します。
	二重印字解除	ESC + H	ANK および漢字文字の二重印字指定を解除します。
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS + SO	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大を指定します。
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS + DC4	ANK および漢字文字の自動解除付き倍幅拡大の指定を解除します。
	一括指定	ESC + ! + Pa	ANK 文字および漢字の文字修飾を一括指定します。
	イタリック指定	ESC + 4	ANK および漢字文字のイタリック印字を指定します。
	イタリック解除	ESC + 5	ANK および漢字文字のイタリック印字指定を解除します。
	文字スタイル選択	ESC + q + Pa	ANK および漢字文字の文字スタイルを選択します。

・テキスト処理 / 漢字

機能名称	名 称	コマンド	機 能
装飾	縦書き指定	FS + J	漢字文字の縦書きを指定します。
	横書き指定	FS + K	漢字文字の横書きを指定します。
	半角縦書き 2 文字指定	FS + D	漢字文字 2 文字の半角組み文字を指定します。
	4倍角指定 / 解除	FS + W + Pa	漢字文字の 4 倍角の指定、解除を行います。
	漢字アンダーライン指定 / 解除	FS + - + Pa	漢字アンダーラインの指定、解除を行います。
	漢字一括指定	FS + ! + Pa	漢字文字および ANK 文字の文字修飾を一括指定します。
文字セット	漢字モード指定	FS + &	漢字モードを指定します。
	漢字モード解除	FS + .	漢字モードの指定を解除します。
	半角文字指定	FS + SI	漢字文字の半角印字を指定します。
	半角文字解除	FS + DC2	漢字文字の半角印字指定を解除します。
	1/4 角文字指定	FS + r + Pa	漢字文字の 1/4 角文字の印字を指定します。
	漢字書体選択	FS + k + Pa	漢字文字の書体を選択します。
文字定義	外字定義	FS + 2 + P ₁ + P ₂ + D ₁ ~ D ₇₂	外字登録コード、登録パターンを指定します。

機能名称	名 称	コマンド	機 能
文字ピッチ	全角文字スペース量	FS + S + P ₁ + P ₂	漢字全角文字に付加するスペース量を指定します。
調整	設定		
	半角文字スペース量	FS + T + P ₁ + P ₂	漢字半角文字および1/4角文字に付加するスペース量を指定します。
	設定		
	半角文字スペース量	FS + U	漢字半角文字のスペース量を2文字ごとに補正します。
	補正		
	半角文字スペース量	FS + V	漢字半角文字のスペース量補正の指定解除します。
	補正解除		
イメージ	8 ドット単密度ピット	ESC + K + P ₁ + P ₂ +	8 ピット単密度のピットイメージを指定します。
処理	イメージ	D ₁ ~ D _n	
	8 ドット倍密度ピット	ESC + L + P ₁ + P ₂ +	8 ピット倍密度のピットイメージを指定します。
	イメージ	D ₁ ~ D _n	
	8 ドット倍速倍密度	ESC + Y + P ₁ + P ₂ +	8 ピット倍速倍密度のピットイメージを指定します。
	ピットイメージ	D ₁ ~ D _n	
	8 ドット4倍密度	ESC + Z + P ₁ +	8 ピット4倍密度のピットイメージを指定します。
	ピットイメージ	P ₂ + D ₁ ~ D _n ESC +	
	ピットイメージ選択	* + Pa + P ₁ + P ₂ +	ピットイメージのモードおよびカラム数を指定します。
		D ₁ ~ D _n	
	ピットイメージ変換	ESC + ? + P ₁ + P ₂	8 ピット系のピットイメージ(ESC + K, ESC + L, ESC + Y, ESC + Z)のピットイメージを変換します。

・補助機能

機能名称	名 称	コマンド	機 能
初期化	初期化	ESC + @	プリンタを初期状態にします。
キャリッジ	単方向印字指定 / 解除	ESC + U + Pa	単方向印字の指定、解除を行います。
ジ制御	漢字高速印字指定 /	FS + x + Pa	漢字高速印字の指定、解除を行います。
	解除		
	リターンホーム	ESC + <	プリントヘッドを左端まで移動します。
データ入力	デバイス	DC1	プリンタを選択状態にします。
力制御	コントロール1		
	デバイス	DC3	プリンタを非選択状態にします。
	コントロール3		
	1 文字削除	DEL	直前のデータを1文字クリアします。
	データ抹消	CAN	バッファ内のデータをクリアします。
CSF 制御	カットシートフィーダ 制御	ESC + EM + Pa	プリンタの給紙方法を選択します。
カラー選択	カラー選択	ESC + r + Pa	このコマンドは無効です。
ブザー	ブザー	BEL	ブザーを鳴動させます。

FM モードコマンド一覧表 (FMPR5300 の場合のみ)

このプリンタは、基本ピッチが1/180インチです。FMモードでは180dpiモードで動作します。

また、このプリンタのドット位置は次のとおりです。

始端：1 ドット

終端：2448 ドット

FM モードのコマンドは、下表のとおりです。

・装置制御

機能名称	名 称	コマンド	機 能
リセット	RIS	リセット	ESC+c
	RBS	リセット	CEX+]
動作モード設定	DCH	解像度変更指定	PU1+Pa+!+A
			解像度を変更します。 ×
装置制御	DC1	デバイス・コントロール1	<11> ₁₆ オンライン状態にします。
	DC3	デバイス・コントロール3	<13> ₁₆ 印字後、オフライン状態にします。
	PDIR	印字方向指定	PU1+Pa+↓+印字方向を指定します。 Pa = 0 両方向印字指定（初期値） 1 片方向印字指定
	HSPR	高速印字指定	PU1+Pa+↓+高速印字を指定します。 Pa = 0 通常印字（初期値） 1 高速印字
	BEL	ベル	<07> ₁₆ ブザーが鳴ります。 機能設定の「ブザー」の設定が鳴動しないに設定してある場合は無効です。
	CAN	抹消	<18> ₁₆ バッファ内のデータをクリアします。
	DEL	削除	<7F> ₁₆ 1 文字削除します。

・ページ制御

機能名称	名 称	コマンド	機 能
用紙制御	CSF	カットシート フィーダ制御	PU1+Pa+↓+[カットシートフィーダの動作（吸入・排出）、 吸入する用紙の種類と吸入口を指定します。 Pa = 0 用紙を吸入 1 用紙を排出 10 一般紙（上端余白約 22.0mm）（注） 11 はがき縦（上端余白約 12.7mm） 12 はがき横（上端余白約 9.7mm） 20 第1ピン 21 第2ピン 22 無効
	CSF2	カットシート フィーダ制御2	PU1+Pa+↓+¥ カットシートフィーダの自動給紙を 指定します。 Pa = 0 自動給紙を解除 3 自動給紙を指定

本欄の記号は次の意味を表します。

：本プリンタで使用できる ×：本プリンタではサポートしていない

注）上端余白とは、用紙の先端から印字開始行の文字上端までのことをいいます。

機能名称	名 称	コマンド	機 能
印字領域	SPF	自動改ページ指定	PU1+Pa+ <u> </u> +K スキップパフォーマンス行を指定します。
	LMRG	左端指定	PU1+P1+;+ 左端位置を指定します。 P2+ <u> </u> +Q
ページ長	PGL1	ページ長指定 1	PU1+Pa+ <u> </u> +A 行単位でページ長を指定します。
設定	PGL2	ページ長指定 2	PU1+Pa+ <u> </u> +B インチ単位でページ長を指定します。

・印字位置制御

機能名称	名 称	コマンド	機 能
基本制御	CR	復 帰	<0D> ₁₆ 印字後、受信位置を同一行の左端にします。
	BS	後 退	<08> ₁₆ 印字後、受信位置を1文字分後退します。
	LF	改 行	<0A> ₁₆ 印字後、受信位置を次の行の左端にします。
	NEL	復 改	ESC+E
	NEL	復 改	CEX+@
	FF	改ページ	<0C> ₁₆ 印字後、受信位置を次のページの左端にします。
ピッチ 制御	CP	漢字文字ピッチ 指定	CEX+\$+Pa 漢字文字ピッチを指定します。
	LP	改行ピッチ指定	CEX%+Pa 改行ピッチを指定します。
	LP2	改行ピッチ指定 2	PU1+P1+;+P2 P1/P2 インチで改行ピッチを指定します。 + <u> </u> +G
	SPI	改行ピッチ / ANK 文字ピッチ設定	CSI+P1+;+P2+ 改行ピッチおよび ANK 文字ピッチを指定します。 <u> </u> +G
タブ位置 設定	HTS	水平タブセット	ESC+H 現在位置に水平タブストップを設定します。
	SCT	水平タブセット	CEX+F
	STF	水平タブ位置指定	CEX#+P1+...+ Pn 水平タブ位置指定
	HTSA	CSI+P1+;+... +Pn+ <u> </u> +N	
	VTS	垂直タブセット	ESC+J 現在行に垂直タブストップを設定します。
	SLT	垂直タブセット	CEX+H
	VTSA	垂直タブ位置指定	PU1+P1+;+... +Pn+ <u> </u> +@ 垂直タブストップを指定します。
タブ位置 解除	RCT	水平タブリセット	CEX+G 現在位置の水平タブストップを解除します。 TBC で Pa = 0 を指定したときと同じです。
	RLT	垂直タブリセット	CEX+I 現在行の垂直タブストップを解除します。 TBC で Pa = 1 を指定したときと同じです。
	TBC	タブクリア	CSI+Pa+g タブストップを解除します。 Pa = 0 現在位置の水平タブストップを 解除 (RCT と同じ) (初期値) 1 現在行の垂直タブストップを解除 (RLT と同じ) 3 すべての水平タブストップを解除 4 すべての垂直タブストップを解除

本欄の記号は次の意味を表します。

: 本プリンタで使用できる × : 本プリンタではサポートしていない

機能名称	名 称	コマンド	機 能
タブ移動	HT 水平タブ	<09> ₁₆	受信位置を、次の水平タブストップに進めます。
	CHBT 水平逆タブ	CEX+D	印字後、受信位置を手前の水平タブストップにします。
	HPA 絶対水平タブ	CSI+Pa+'	受信位置を指定した位置にします。
	HPA2 絶対水平タブ2	PU1+Pa+ <u>1</u> +P	受信位置を指定します。
	HPR 相対水平タブ	CSI+Pa+a	受信位置を指定した分だけ進めます。
	PS 指定間隔	CEX+!+Pa	
	HPB 相対水平逆タブ	CSI+Pa+j	同一行内で、指定した分だけ受信位置を戻します。
	VT 垂直タブ	<0B> ₁₆	印字後、受信位置を次の垂直タブストップにします。
	VPA 絶対垂直タブ	CSI+Pa+d	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。(注1)
	VPR 相対垂直タブ	CSI+Pa+e	印字後、受信位置を指定した行の左端にします。
	SAP 動作位置指定	CEX+"+P1+P2	印字後、受信位置を指定した位置にします。
	HVP 動作位置指定	CSI+P1+;+P2+f (注1)	
行組み	LC 行組み指定	CEX+)+P1+P2+ P3+P4	右端、左端1、左端2を指定します。
	KNL1 漢字復改1	CEX+A	印字後、受信位置を次の行の左端1にします。
	KNL2 漢字復改2	CEX+B	印字後、受信位置を次の行の左端2にします。
	NPH 段 落	CEX+C	印字後、受信位置を次の行の左端から漢字1文字分進めます。

・文字印字制御

機能名称	名 称	コマンド	機 能									
漢字 / ANK SCS	漢字指定	ESC+\$+@	JIS- ⁷⁸ 漢字モードを指定します。									
		ESC+\$+B	JIS- ⁸³ 漢字モードを指定します。									
	ANK 指定	ESC+(+H	ANK モードを指定します。									
漢字 / ANK TF	書体指定	CEX+(+P1+P2	ANK 文字と漢字文字の書体を指定します。 ・レギュラ文字はドラフト文字より印字速度が低下します。 ・レギュラ文字で文字ピッチを 1/10 インチ未満にすると文字の右側が欠け ることがあります。									
			<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td></td><td>P₁=0 (ANK)</td><td>P₁=1 (漢字)</td></tr> <tr> <td>P₂ = 0</td><td>ドラフト</td><td>明朝</td></tr> <tr> <td>P₂ = 1</td><td>レギュラ</td><td>ゴシック(注2)</td></tr> </table> } 初期値		P ₁ =0 (ANK)	P ₁ =1 (漢字)	P ₂ = 0	ドラフト	明朝	P ₂ = 1	レギュラ	ゴシック(注2)
	P ₁ =0 (ANK)	P ₁ =1 (漢字)										
P ₂ = 0	ドラフト	明朝										
P ₂ = 1	レギュラ	ゴシック(注2)										

HSS2 半角指定2 PU1+Pa+1 + | 1 バイト半角文字を指定します。

Pa = 0 標準文字 (ANK 文字) (初期値)

1 半角文字

本欄の記号は次の意味を表します。

: 本プリンタで使用できる × : 本プリンタではサポートしていない

注1) このプリンタは、逆改行動作をできない場合がありますので、逆改行動作を伴うコマンドは使用しないでください。

注2) このプリンタは、ゴシック体をサポートしていません。

機能名称	名 称	コマンド	機 能
プロポーショナル印字	SPS 欧文ピッチ	CEX+T	プロポーショナル印字を指定します。
拡大	処理開始		
	EPS 欧文ピッチ	CEX+U	プロポーショナル印字を解除します。
	処理終了		
上つき / 下つき 文字	SSP 上つき文字開始	CEX+N	上つき文字を指定します。
	ESP 上つき文字終了	CEX+O	上つき文字を解除します。
	SSB 下つき文字開始	CEX+P	下つき文字を指定します。
	ESB 下つき文字終了	CEX+Q	下つき文字を解除します。
拡大 / 縮小	KGM 漢字拡大印字指定	CEX+P1+P2	漢字文字の拡大（縮小）印字のサイズを指定します。 SFC コマンドのスケーラブル指定が無効の場合 P1, P2 の範囲 50, 100, 200% SFC コマンドのスケーラブル指定が有効の場合 P1, P2 の範囲 1 ~ 999%
GSM	ANK 倍幅拡大印字指定	CSI+P1+P2+ +B	ANK 文字の倍幅拡大印字を指定します。 縦方向に 100%、横方向に 100、200% を指定できます。
SFC	スケーラブル文字制御	PU1+P1+P2+ ;+P3+;+P4+; P5+!+Q	スケーラブル文字を制御します。 P ₁ = 0 スケーラブル無効（初期値） 1 スケーラブル有効 P ₂ = 0 ドットフォント優先 1 アウトラインフォント優先 P ₃ = 0 固定 P ₄ = 0 固定 P ₅ = 0 200% 拡大時にアウトラインフォント使用 1 200% 拡大時にドットフォント使用
強調	HL カラー / 漢字アンダーライン指定	CEX+*+Pa	漢字アンダーライン Pa = 0 通常印字（初期値） 4 漢字アンダーライン 10 無効 13 無効 15 無効 16 無効
SGR	カラー / ANK アンダーライン指定	CSI+Pa+m	ANK アンダーラインを指定します。 Pa = 0 通常印字（初期値） 4 ANK アンダーライン 30 無効 33 無効 35 無効 36 無効

本欄の記号は次の意味を表します。

: 本プリンタで使用できる × : 本プリンタではサポートしていない

機能名称	名 称	コマンド	機 能
縦書き	VWF	漢字縦書き指定	CEX+J 漢字の縦書きを指定します。
横書き	VWF2	漢字縦書き指定2	PU1+Pa+ <u> </u> +q 漢字縦書き時の文字の回転の扱いを指定します。 Pa = 0 物理的に90度回転(初期値) 1 パターンによる最適変換
	HWF	漢字横書き指定	CEX+K 漢字の横書きを指定します。
	HVWF	半角文字縦書き指定	PU1+Pa+ <u> </u> +p 漢字縦書き時の半角文字の扱いを指定します。 Pa = 0 2 文字ペア(初期値) 1 1文字中心
その他	KC	罫線接続指定	PU1+Pa+ <u> </u> +t 罫線接続を指定します。 Pa = 0 接続しない(初期値) 1 接続する
	KUDC	漢字未定義コード	PU1+Pa+ <u> </u> +x 漢字未定義コードの扱いを指定します。 Pa = 0 印字(初期値) 1 漢字スペース
	TSS	スペース幅指定	CSI+Pa+ <u> </u> +E プロポーショナル文字のときの、スペースコードの幅を指定します。

・イメージデータ印字

機能名称	名 称	コマンド	機 能
イメージ 処理	NIMG	イメージ転送	PU1+Pa+ <u> </u> +W+ イメージを印字します。 テ'-タ
	SIMG	単密度倍幅 イメージ転送	PU1+Pa+ <u> </u> +V+ 単密度倍幅イメージを印字します。 テ'-タ
	DIMG	倍幅イメージ転送	PU1+Pa+ <u> </u> +X+ 倍幅イメージを印字します。 テ'-タ
外字登録	CPT	外字登録	CEX+2+0+P1+ 24×24ドットの、ユーザ定義文字を登録しま P2+D1+...+D144す。
	CPT2	外字登録2	CEX+2+1+P1+ 48×48ドットの、ユーザ定義文字を登録しま P2+D1+...+D576す。

【非推奨コマンド】

以下のコマンドは逆改行動作を伴います。

このプリンタは、逆改行動作に制限があります。(181ページ参照) 印字位置に誤差が生じたり、他のプリンタでは逆改行動作をできない場合がありますので、以下のコマンドは使用しないことをおすすめします。

機能名称	名 称	コマンド	機 能
逆改行 タブ	LBT	垂直逆タブ	CEX+E 印字後、受信位置を手前の垂直タブス トップの左端にします。
	VPB	相対垂直逆タブ	CSI+Pa+k 印字後、指定した行だけ逆改行して受信位置を 左端にします。
印字位置	KSM	漢字モードセット	CEX+ - +t 文字中心合わせを指定します。
	KRM	漢字モード	CEX+.+t 文字下端合わせを指定します。 リセット
	KUPF	漢字基準線指定	PU1+Pa+ <u> </u> +d 文字中心/下端/上端合わせを指定します。

本欄の記号は次の意味を表します。

: 本プリンタで使用できる × : 本プリンタではサポートしていない



キャラクタコード一覧表

ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとあります。

ANKコード表(カタカナコード)

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	'	p	—	—	—	タ	ミ	ニ	×		
1	DC1	!	1	A	Q	a	q	—	—	。	ア	チ	ム	ヒ	円	
2	DC2	"	2	B	R	b	r	—	—	「	イ	ツ	メ	ヰ	年	
3	DC3	#	3	C	S	c	s	—	—	」	ウ	テ	モ	コ	月	
4	DC4	\$	4	D	T	d	t	—	—	、	エ	ト	ヤ	▲	日	
5		%	5	E	U	e	u	■	—	・	オ	ナ	ユ	▲	時	
6		&	6	F	V	f	v	■	—	ヲ	カ	ニ	ヨ	▼	分	
7	BEL	,	7	G	W	g	w	■	—	ア	キ	ヌ	ラ	▼	秒	
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	—	「	イ	ク	ネ	リ	◆	
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	—	」	ウ	ケ	ノ	ル	♥	
A	LF	*	:	J	Z	j	z	—	—	エ	コ	ハ	レ	◆	区	
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{	—	オ	サ	ヒ	ロ	♣	町	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	!	—	ヤ	シ	フ	ワ	●	村	
D	CR	—	=	M]	m)	—	—	ユ	ス	ヘ	ン	○	人	
E	SO	.	>	N	^	n	~	—	—	ヨ	セ	ホ	^	/	■	
F	SI	/	?	O	—	o	—	+	—	ソ	マ	。	＼			

注1) <15>₁₆ を除く、<00>₁₆ ~ <7F>₁₆ はカタカナコード、拡張グラフィックコードに共通です。

注2) <23>₁₆、<24>₁₆、<5B>₁₆ ~ <5E>₁₆、<60>₁₆、<7B>₁₆ ~ <7E>₁₆ のコードは、国際文字選択によって入れ代わります。

A N K コード表 (国際文字コード)

上 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	~	p	ç	é	á	í	ñ	ú	ñ	ñ	ñ
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	í	í	í	í	í
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	æ	ó	ó	ó	ó	ó	ó
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	ú	ú	ú	ú	ú
4		DC4	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
5			%	5	E	U	e	u	à	ò	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ	ñ
6			&	6	F	V	f	v	â	û	â	â	â	â	â	â
7	BEL		'	7	G	W	g	w	ç	ù	ó	ó	ó	ó	ó	ó
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	ê	ÿ	é	é	é	é	é	é
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	ë	ö	ö	ö	ö	ö	ö	ö
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	ú	ú	ú	ú	ú	ú	ú
B	VT	ESC	+	;	K	l	k	l	í	ç	à	à	à	à	à	à
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	l	í	£	â	â	â	â	â	â
D	CR		-	=	M]	m]	í	¥	í	í	í	í	í	í
E	SO		.	>	N	^	n	^	À	Pt	«	»	»	»	»	»
F	SI		/	?	O	_	o	_	À	†	»	»	»	»	»	»

注1) <15>₁₆ を除く、<00>₁₆ ~ <7F>₁₆ はカタカナコード、拡張グラフィックコードに共通です。

注2) <23>₁₆、<24>₁₆、<5B>₁₆ ~ <5E>₁₆、<60>₁₆、<7B>₁₆ ~ <7E>₁₆ のコードは、国際文字選択によって入れ代わります。

【国際文字コード】

コード 国 16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E				
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	~	{		}	~				
フランス	#	\$	à	°	ç	§	^	~	é	ù	è	..				
ドイツ	#	\$	ß	À	Ù	Û	^	~	ä	ö	ü	ß				
イギリス	£	\$	@	[\]	^	~	{		}	~				
デンマーク I	#	\$	@	Æ	Ø	À	^	~	æ	ø	å	~				
スウェーデン	#	¤	É	À	Ù	À	Û	é	ä	ö	å	ü				
イタリア	#	\$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì				
スペイン I	Pt	\$	@	i	Ñ	é	^	~	..	ñ	í	~				
日本	#	\$	@	[¥]	^	~	{		}	~				
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	À	Û	é	æ	ø	å	ü				
デンマーク II	#	\$	É	Æ	Ø	À	Û	é	æ	ø	å	ü				
スペイン II	#	\$	á	í	Ñ	é	é	~	í	ñ	ó	ú				
デンマーク	#	\$	á	í	Ñ	é	é	ü	í	ñ	ó	ú				

FMモードキャラクタコード一覧表

(FMPR5300 の場合のみ)

FMモードのキャラクタコードは以下のとおりです。

上位 下位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	`	p	-	+		-	タ	ミ	二	×	
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	-	+	。	ア	チ	ム	卍	円
2		"	2	B	R	b	r	-	+	「	イ	ツ	メ	ヰ	年	
3		DC3	#	3	C	S	c	s	-	ト	」	ウ	テ	モ	ヰ	月
4		\$	4	D	T	d	t	■	-	、	エ	ト	ヤ	▲	日	
5		%	5	E	U	e	u	■	-	・	オ	ナ	ユ	▼	時	
6		&	6	F	V	f	v	■	।	ヲ	カ	ニ	ヨ	▼	分	
7	BEL	'	7	G	W	g	w	■	।	ア	キ	ヌ	ラ	▶	秒	
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	।	「	イ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT)	9	I	Y	i	y	।	」	ウ	ケ	ノ	ル	♥	市	
A	LF	*	:	J	Z	j	z	।	』	エ	コ	ハ	レ	◆	区	
B	VT	ESC	+	;	K	〔	k	{	』	オ	サ	ヒ	口	♣	町	
C	FF	CEX	,	<	L	¥	1	।	』	ヤ	シ	フ	ワ	●	村	
D	CR	-	=	M	】	m	}	■	』	ユ	ス	ヘ	ン	○	人	
E		.	>	N	^	n	-	■	』	ヨ	セ	ホ	、	/	▣	
F		/	?	O	_	o	DEL	+	ノ	ツ	ソ	マ	。	\		

非漢字一覽表

モードによって、コードが割り当てられている文字が異なるものがありますので、注意してください。

FM モードおよび ESC/P モード共通文字コード一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

注1)区点コードは点の部分を加算して求めます。%の区点コードは0180 + 03で0183となります。区点コードは10進数です。例えば、%のJISコードは2173と読みます。実際の使用には、“&H”をつけて、「&H2173」とします。

注2)コード表の空白部分を印字させますと、何らかの文字が出力される場合があります。

ESC/P モード文字コード一覧表

外字登録領域

点\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
\$	
77 87	※
78 88	※
点\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
区	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
\$	
77 87	
78 88	
点\$	60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
区	64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95
\$	
77 87	
78 88	※ ※

注) 部 (7720, 777F, 7820, 787F) は登録できません。

FM モード文字コード一覧表

JIS⁷⁸ モード外字登録領域

点 \$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
\$	
77 87	※
78 88	※
点 \$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
区	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
\$	
77 87	
78 88	
点 \$	60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E 7F
区	64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95
\$	
77 87	※
78 88	※

注) 部(2820,287F,2920,297F)は登録できません。

JIS-83 モード

追加文字

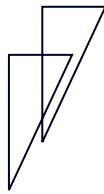
外字登録領域

点\$	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F
区\$	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
29 9	
2A 10	
点\$	40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F
区\$	32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63
29 9	
2A 10	
点\$	60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 6D 6E 6F 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B 7C 7D 7E
区\$	64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94
29 9	
2A 10	

注1) 部 (2920, 297F, 2A20, 2A7F) は登録できません。

注2) JIS⁻⁸³ の 2A21 ~ 2A7E と JIS⁻⁷⁸ の 2821 ~ 287E は同一エリアです。

半角漢字



JIS⁹⁰ 第一水準漢字一覧表

JIS コードはすべて 16 進形式

注)「茜」のJISコードは302Bと読みます。実際の使用には、“&H”つけて、「&H302B」とします。

JIS-90 第二水準漢字一覧表

ご注意

このプリンタが印字する漢字はJIS C6226-1983(情報交換用漢字符号系)に準拠していますが、JIS C6234-1983(ドットプリンタ用24ドット字形)は採用していません。したがって、コンピュータ本体の表示画面の文字および記号なども必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS C6234-1983の字体との違いはおおむね次の表の通りです。

JIS コード (区点)	カシタ	JIS	JIS コード (区点)	カシタ	JIS	JIS コード (区点)	カシタ	JIS
3022(1602)	啞	啞	3979(2589)	甌	甌	4578(3788)	禱	禱
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榦	榦	4642(3834)	瀆	瀆
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	瀝	瀝
3135(1721)	爵	爵	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	榦	榦
3139(1725)	廐	廐	3B2C(2712)	鑄	鑄	4729(3909)	禰	禰
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	囊	囊
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屢	482E(4014)	潑	潑
316B(1775)	焰	焰	3D2B(2911)	繡	繡	4830(4016)	醜	醜
322A(1810)	鷗	鷗	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頰	頰
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蔣	4B70(4380)	鱈	鱈
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醬	醬	4C4D(4445)	麵	麵
337A(1990)	嚙	嚙	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餅	餅
3442(2034)	潤	潤	4066(3270)	蟬	蟬	4D32(4518)	獸	獸
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	憎	憎	4D69(4573)	萊	萊
3622(2202)	俠	俠	4169(3373)	瘦	瘦	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驛	驛	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	軀	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蠟
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屏	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	簾	簾	5960(5764)	捩	捩
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	摑	摑	5A39(5825)	攢	攢
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	緜	緜
3834(2420)	鹹	鹹	4536(3722)	墳	墳			
396D(2577)	麴	麴	453F(3731)	顛	顛			

第一水準と第二水準が入れ替わった文字

コード (区点)	新第1 水準	新第2 水準	コード (区点)	コード (区点)	新第1 水準	新第2 水準	コード (区点)
3083 (1619)	鯸	鯸	724D (8245)	4128 (3308)	賤	賤	6C4D (7645)
3229 (1809)	鳶	鳶	7274 (8284)	445B (3659)	壺	壺	5464 (5268)
3342 (1934)	蛎	蠣	695A (7358)	4557 (3755)	砾	礪	626A (6674)
3349 (1941)	攬	攬	5978 (5788)	456E (3778)	栴	栴	5B6D (5977)
3376 (1986)	竈	竈	635E (6762)	4573 (3783)	濤	濤	5E39 (6225)
3443 (2035)	灌	灌	5E75 (6285)	4676 (3886)	迹	邇	6D6E (7778)
3452 (2050)	諫	諫	6B5D (7561)	4768 (3972)	蠅	蠅	6A24 (7404)
375B (2359)	頸	頸	7074 (8084)	4930 (4116)	桧	檜	5B58 (5956)
395C (2560)	礮	礪	6268 (6672)	4B79 (4389)	僕	僕	5056 (4854)
3C49 (2841)	蕊	蘂	6922 (7302)	4C79 (4489)	藪	藪	692E (7314)
3F59 (3157)	勒	靉	7057 (8055)	4F36 (4722)	籠	籠	6446 (6838)

第二水準に追加された文字

コード (区点)	追加文字	コード (区点)	追加文字
7421 (8401)	堯	7424 (8404)	瑤
7422 (8402)	楨	7425 (8405)	凜
7423 (8403)	遙	7426 (8406)	熙

注) 「凜」と「熙」の2文字はESC/Pモードではサポートされていません。

索引

C

CSF モード 66

CSF モード設定 77

E

ESC/P モード

 キャラクタコード一覧表 190

 コマンド一覧表 181

 の設定項目 68

 初期状態 179

ESC/P ランプ 65

F

FM モード

 キャラクタコード一覧表 192

 コマンド一覧表 185

 の設定項目 71

 初期状態 180

H

HEX ダンプ 154

P

Plug&Play 27

W

Windows 98/95

 設定画面 42

 ダイアログ一覧 44

 プリンタドライバのインストール 26

Windows NT4.0

 設定画面 49

 ダイアログ一覧 53

 プリンタドライバのインストール 35

ア

厚み

 一般連続帳票用紙 103

 事務用上質紙 119

 宅配伝票 117, 128

 タック用紙 111

 トラクタユニット 131

 はがき 123

 はがき用紙 108

 封筒 126

 封筒用紙 114

 アフターサービス 157

イ

一般連続帳票用紙 102

インクリボンの交換 142

印刷の向き 54, 60

印刷品質 48, 54

印字圧 54

印字ヘッド 8

印字モード設定 74

印字領域

 一般連続帳票用紙 106

 事務用上質紙 121

 タック用紙 112

 トラクタユニット 132

 はがき 123

 はがき用紙 109

 封筒 127

 封筒用紙 116

インストール

 Plug&Play 27

 Windows 98/95 26

 Windows NT4.0 35

 代替ドライバのインストール 39

 通常のインストール 29

 ネットワークインストール 33, 40

 インタフェース仕様 175

ウ

後トラクタフィーダ 53, 46
裏カーボン紙 103, 119, 131

エ

エラーメッセージ 148

オ

オプションの種類 160
オフライン状態 65
オンライン状態 65
オンラインスイッチ 65, 79
オンラインランプ 65

力

改行スイッチ 65, 79
解像度 47, 54
改ページスイッチ 65, 79
片方向印字 48
カットシートフィーダ 46, 53
　　で使用できる用紙 129
カバー 8
紙厚設定スイッチ 67
漢字一覧表
　　JIS第一水準漢字一覧表 193, 200
　　JIS第二水準漢字一覧表 203
緩衝材の取り外し 10

キ

機能切換えスイッチ 66
機能設定 68, 79
機能設定モード 79
キャラクタコード一覧表
　　ESC/P モード 190
　　FM モード 192
給紙方法 46, 53, 54
　　と用紙の割り当て 57
共有 45, 56

ク

形式

タック用紙 113
はがき用紙 110
封筒用紙 114

コ

交換

インクリボンの交換 142
リボンカセットの交換 140
高速印字モード 66
高速スイッチ 66
高速ランプ 65
高品質 48
高複写スイッチ 66, 79
高複写モード 66
高複写ランプ 65
後方排出 46, 54
誤差拡散法 47
コマンド一覧表
　　ESC/P モード 181
　　FM モード 185
コマンド機能設定 73

サ

サブカセット 15, 140

シ

自動紙厚調整ランプ 65
自動排出 46, 54
事務用上質紙 118
仕様
　　インターフェース仕様 175
　　プリンタの概略仕様 168
詳細 45, 54
　　オプション 46
上質紙 118

情報	44	タ	
初期状態	179	ダイアログ一覧	
初期値に戻す	84	Windows 98/95	44
		Windows NT4.0	53
		第一水準漢字一覧表	193, 200
		代替ドライバのインストール	39
		第二水準漢字一覧表	203
		宅配伝票	117, 128
		タック用紙	111
		ダブルギャザー	104
		単票テーブル	9
		単票モード	66
		単票用紙	118
		がつまたとき	147
		のセット	93
		連続帳票用紙を外さずにセット	97
		チ	
清掃のしかた	155	千鳥とじ	104
セキュリティ	57	調整のしかた	83
設置	10	調整メニュー	82
設置場所	6		
設定画面		ツ	
Windows 98/95	42	通常印字モード	67
Windows NT4.0	49	通常スイッチ	67
設定項目			
ESC/P モードの設定項目	68	テ	
FM モードの設定項目	71	ディザリング	47
セット		テキストをグラフィックスとして印刷	54
単票用紙のセット	93	手差し	46, 53
連続帳票用紙のセット	87	手差しモード設定	76
接続	13	テスト印字	153
電源コードの接続	14	サンプル	173
パソコンとの接続	13	デバイスオプション	48
全般	44, 55	デバイスの設定	57
		手前排出	46, 54
		手前排出ランプ	65
		電源	7
		を入れる	22
		を切る	24
		ソ	
操作パネル	8		
の機能	64		

電源コード

- の接続 14
- 電源コネクタ 9
- 電源スイッチ 8
- 電源ランプ 65

ト

- 動作モード 26
- ドキュメントのオプション 54
- ドキュメントの既定値 51
- 特殊用紙について 136

とじ穴

- のあけ方 107, 133

とじ方

- 一般連続帳票用紙 104
- オプション 130
- 事務用上質紙 120
- 封筒用紙 115

トップカバー 8

トラクタユニット

- 装着時のご注意 131

取り付け

- リアスタッカ 12
- リボンカセット 15

取り外し

- 緩衝材 10
- 輸送用固定材 10
- リボンカセット 141

ナ

中カーボン紙 103, 131

ネ

ネットワークインストール 33, 39, 40

ノ

濃度 47

ノンカーボン紙 103, 119, 131

八

- ハードウェア設定 74
- ハーフトーンカラーの調整 54
- 排出方向スイッチ 67
- はがき 123
- はがきスイッチ 67
- はがきモード 67
- はがき用紙 108
- パワーセーブ機能 3

ヒ

- 微小改行 65
- 微小スイッチ 67
- 表示パネル 8

フ

- 封筒 126
- 封筒用紙 114
- 複写紙 122
- 複写枚数 103, 131
- プラテンノブ 8
- プリンタケーブル 5
- 接続コネクタ 9
- プリンタ設定のプロパティ 42
- プリンタドライバ

 - のインストール 26
 - の設定 42

- プリンタのプロパティ 43, 52
- プレプリント用紙 134

- プロパティ

 - ドキュメントの既定値 51
 - プリンタ設定のプロパティ 42, 50
 - プリンタのプロパティ 43, 52

- フロントカバー 8
- フロントトラクタ 91
- フロントトラクタモード 66
- フロントモード設定 78

ヘ

- ページ設定 53

木	余白領域	61
ポート	55	
マ	ラ	
枚数	ラインアート	47
一般連続帳票用紙の枚数	ラベルの貼り付け強度	111
事務用上質紙	ランプ	65
トラクタユニット	リ	
はがき用紙	リアカバー	9
封筒用紙	リアスタッカ	9
前トラクタフィーダ	の取り付け	12
ミ	リアトラクタ	91
ミシン目の入れ方	リアトラクタモード	66
メ	リアモード設定	78
メタファイルスプリング	リボンカセット	8
メニュー/スイッチ	の交換	140
ユ	の取り付け	15
ユーザー定義サイズ	の取り外し	141
輸送する	両方向印字	48
輸送用固定材の取り外し	レ	
ヨ	連続帳票用紙	102
用紙	がつまつたとき	145
について	の置きかた	91
の保管、取り扱いについて	のセット	86
用紙厚	を外さずに単票用紙をセット	97
設定のレンジ	連帳モード	66
を調整する	連量	103
用紙位置設定スイッチ	の組み合わせ	103, 120, 131
用紙ガイド		
用紙カットスイッチ		
用紙吸入 / 排出スイッチ		
用紙切れランプ		
用紙サイズ		
用紙 / 出力		
用紙選択モード		
用紙モードスイッチ		
余白の編集		

FMPR5000series
水平漢字プリンタ-15 (FMPR5300/5300E)

B1WY-4521-02-00

発行日 2003年12月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願いいいたします。

本書は、改善のため予告なしに変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



Trademark of American Soybean Association

大豆インキで印刷しています。



T4988618884563